

第2次厚木市文化芸術振興計画に係る意向調査
報 告 書

厚 木 市

もくじ

I	調査概要	1
II	調査結果（市民対象調査）	2
III	調査結果（小中学生対象調査）	80
IV	調査票	89

I 調査概要

1. 調査の目的

本市では、心豊かな市民生活と活力に満ちた地域社会の実現のため、「厚木市文化芸術振興条例」及び「第2次厚木市文化芸術振興計画 第1期基本計画」に基づき、文化芸術活動を推進しています。同計画が令和8年度に終了時期を迎えることから、更なる文化芸術の振興を図るため、令和9年度を始期とする「第2次厚木市文化芸術振興計画 第2期基本計画」の策定に向けて、市民の皆様の文化芸術についての関わりやニーズを把握するための意向調査を行いました。

2. 調査の設計

■ 市民対象調査

- (1) 調査地域 厚木市全域
- (2) 調査対象 厚木市在住の15歳以上の男女（外国籍市民含む）
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送または電子申請による回収
- (6) 調査期間 令和7年10月2日～11月13日

■ 小中学生対象調査

- (1) 調査地域 厚木市全域
- (2) 調査対象 市立23小学校に通学する小学5年生及び市立13中学校に通学する中学2年生
- (3) 対象者数 3,498人（小学5年生：1,745人、中学2年生：1,753人）
- (4) 抽出方法 当該学年の全児童・生徒
- (5) 調査方法 各学校にて配布・電子申請による回収
- (6) 調査期間 令和7年11月7日～11月21日

3. 回収結果

調査種別	対象数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
市民 対象調査	3,000人	1,031票 (郵送545票・電子申請486票)	2票	1,029票	34.3%
小中学生 対象調査	3,498人	2,123票 (小学生683票・中学生1,440票)	0票	2,123票	60.7%

※市民対象調査は、調査票に個人を特定しない形のIDを掲載するとともに、このIDを電子申請による回答時にも入力していただくことで、回収終了後、郵送回収分と電子申請回収分でIDが重複していないかを確認しています。

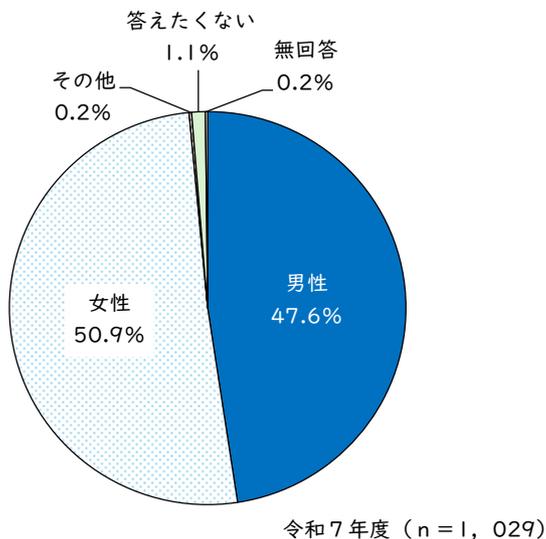
4. 報告書の見方

- ・当該質問に回答した人の実数（回答母数）を表記する場合は「n」と表示しています。
- ・集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるため、構成比の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答できる質問の場合は、すべての構成比の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。
- ・中学生調査においては問1として所属している部活動について聞いているため、小学生調査と中学生調査では問番号が異なりますが、ここでは中学生調査の問番号を使用しています。
- ・スペースの関係上、選択肢を省略している箇所があります。

II 調査結果（市民対象調査）

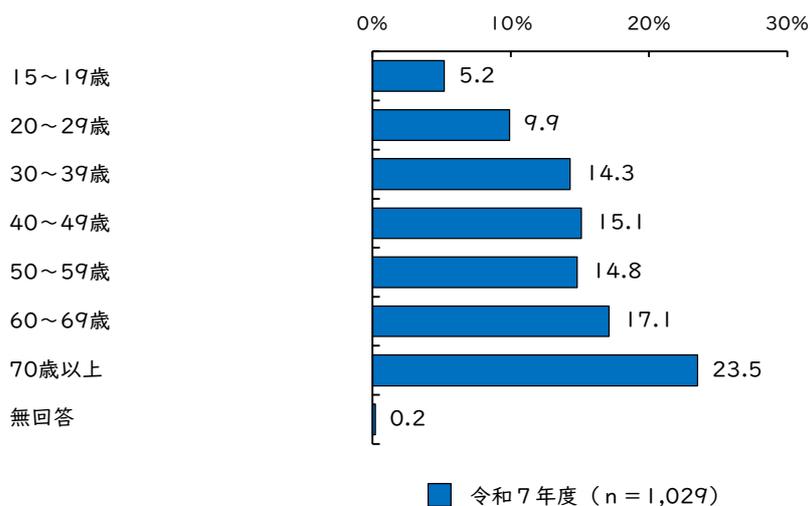
Q1 あなたご自身についておうかがいします。

■ 性別（単数回答）



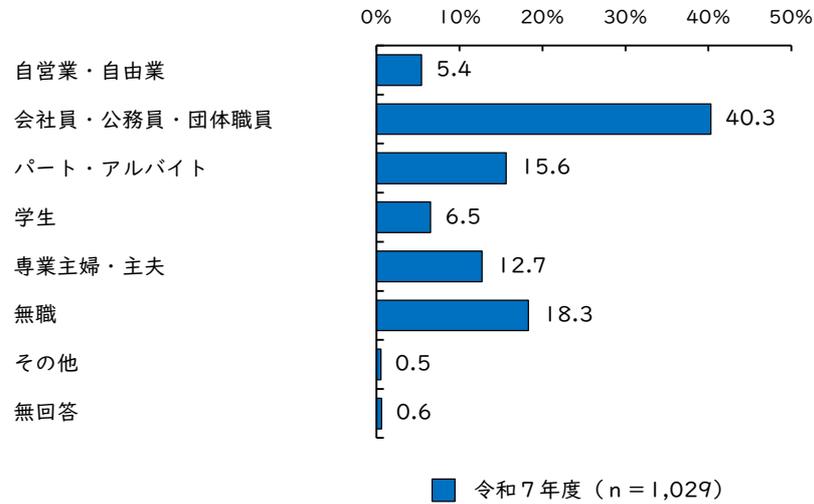
性別は、「女性」が50.9%と最も多く、次いで「男性」が47.6%、「答えたくない」が1.1%などとなっています。

■ 年代（単数回答）



年代は、「70歳以上」が23.5%と最も多く、次いで「60～69歳」が17.1%、「40～49歳」が15.1%などとなっています。

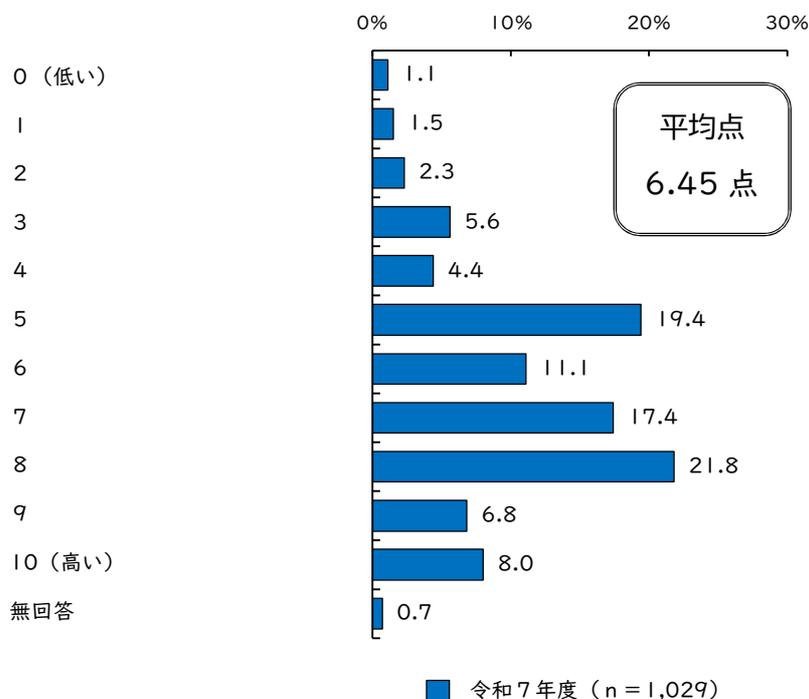
■ 職業（単数回答）



職業は、「会社員・公務員・団体職員」が40.3%と最も多く、次いで「無職」が18.3%、「パート・アルバイト」が15.6%などとなっています。

以下の3項目（幸福度、健康状態、社会とのつながり）は、ウェルビーイング（well-being）※の主要な要素の状況を把握するための設問です。

■ 幸福度（単数回答）

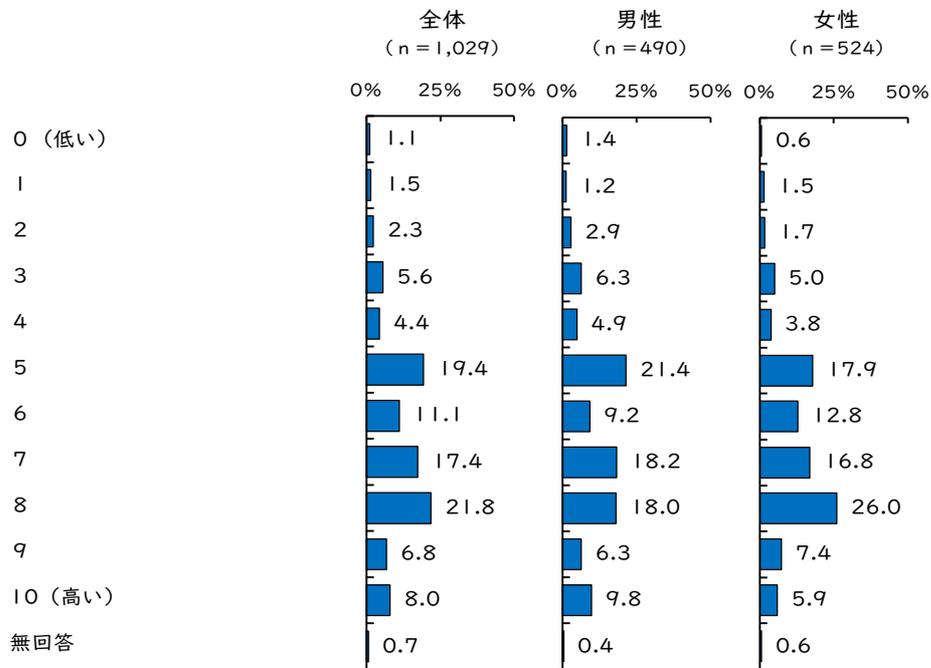


幸福度は、「8」が21.8%と最も多く、次いで「5」が19.4%、「7」が17.4%などとなっています。平均点は、6.45点となっています。

また、問3、問4の“文化芸術の鑑賞（観賞）”や問5、問6の“文化芸術の活動”との相関関係を分析するため、便宜上、上記の数値について「0～3」を低い層、「4～7」を中間層、「8～10」を高い層と分類します。

※ ウェルビーイング（well-being） … 世界保健機関(WHO)の憲章による「健康の定義」において、“病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(well-being)にあること”(日本 WHO 協会訳)として使われたことによって広まった概念です。

《全体・性別》

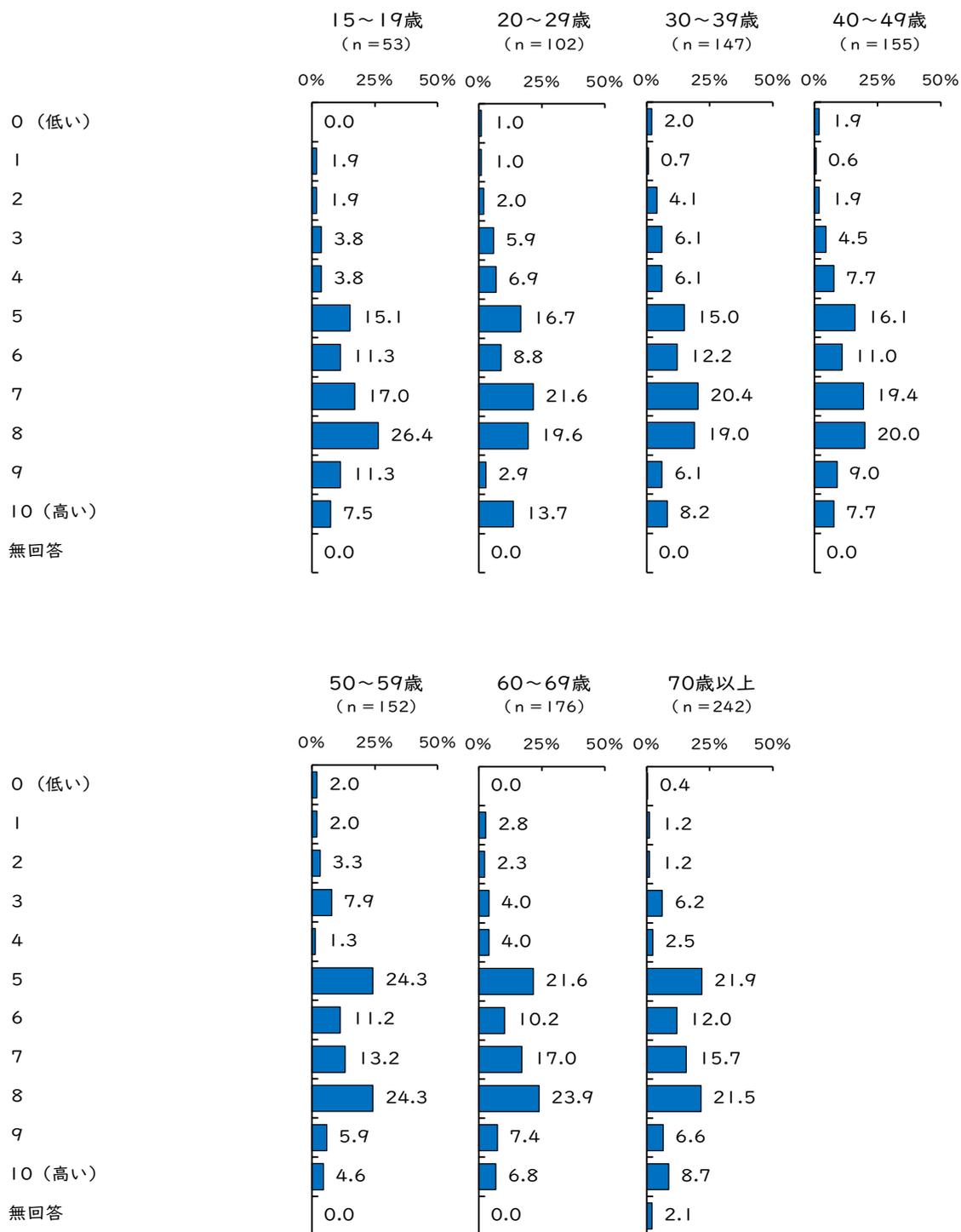


性別で見ると、女性において「8」が男性より多くなっています。

(参考) 性別・年代別・職業別 平均点

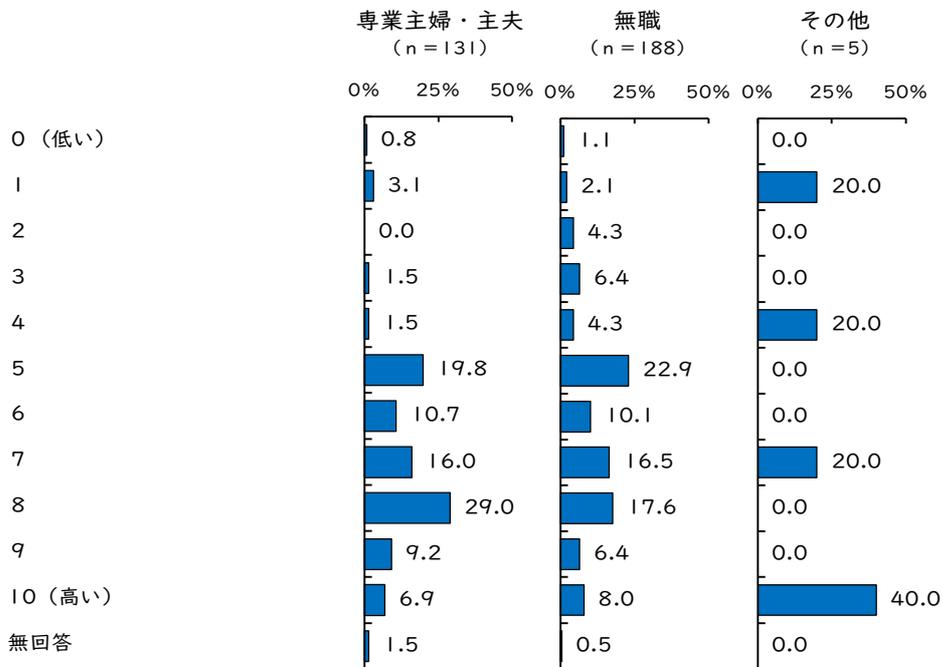
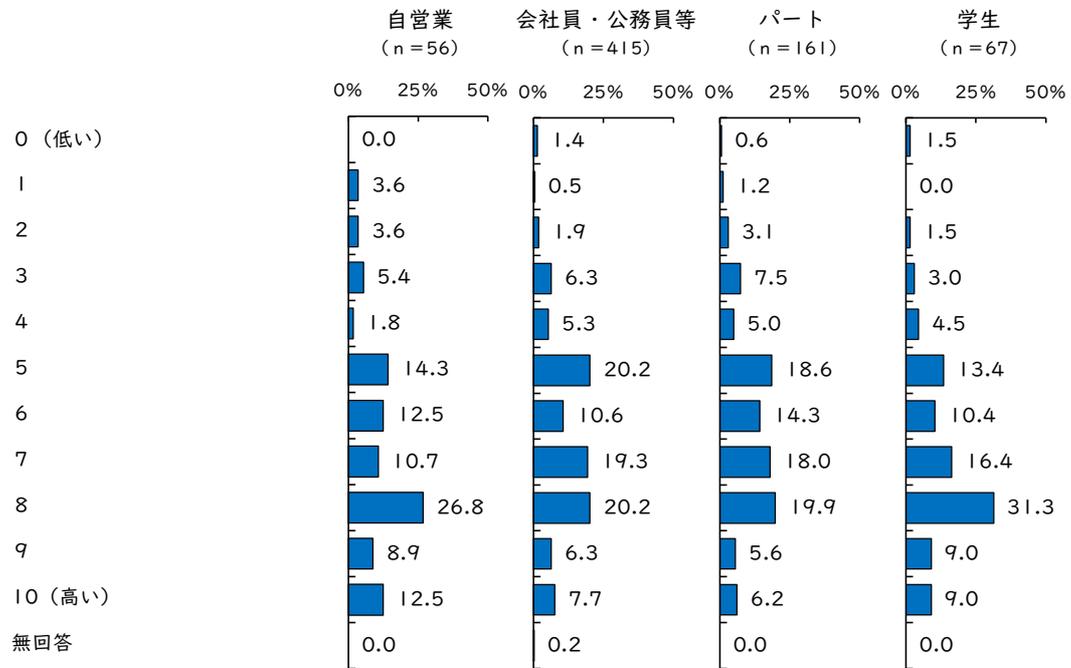
性別	平均点	年代別	平均点	職業別	平均点
男性	6.36 点	15～19 歳	6.83 点	自営業	6.75 点
女性	6.57 点	20～29 歳	6.58 点	会社員・公務員等	6.41 点
		30～39 歳	6.32 点	パート	6.26 点
		40～49 歳	6.50 点	学生	6.96 点
		50～59 歳	6.13 点	専業主婦・主夫	6.83 点
		60～69 歳	6.49 点	無職	6.18 点
		70 歳以上	6.55 点	その他	6.40 点

《年代別》



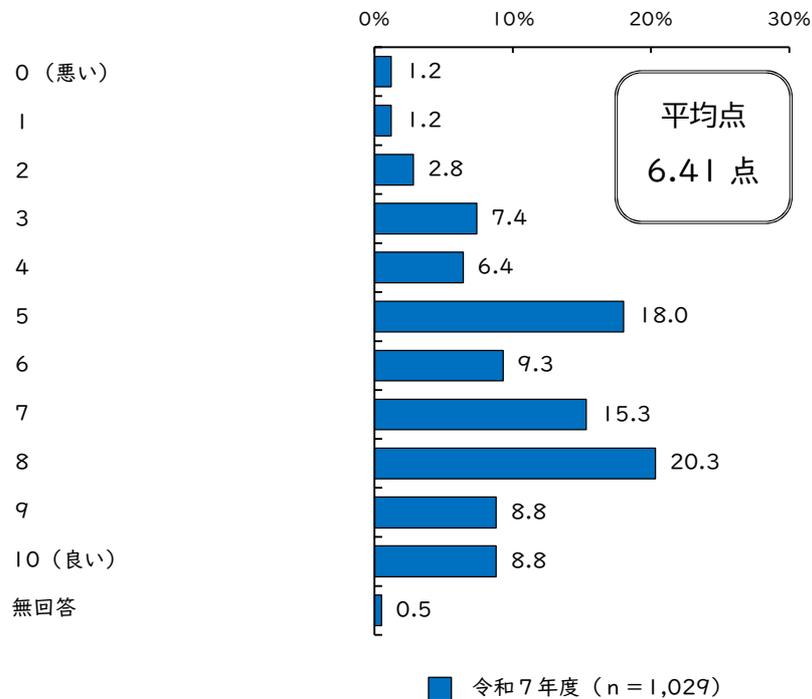
年代別で見ると、20～29歳において「10(高い)」が1割を超えて他の年代より多くなっています。

《職業別》



職業別で見ると、自営業において「10 (高い)」が1割を超えて他の職業より多くなっています。

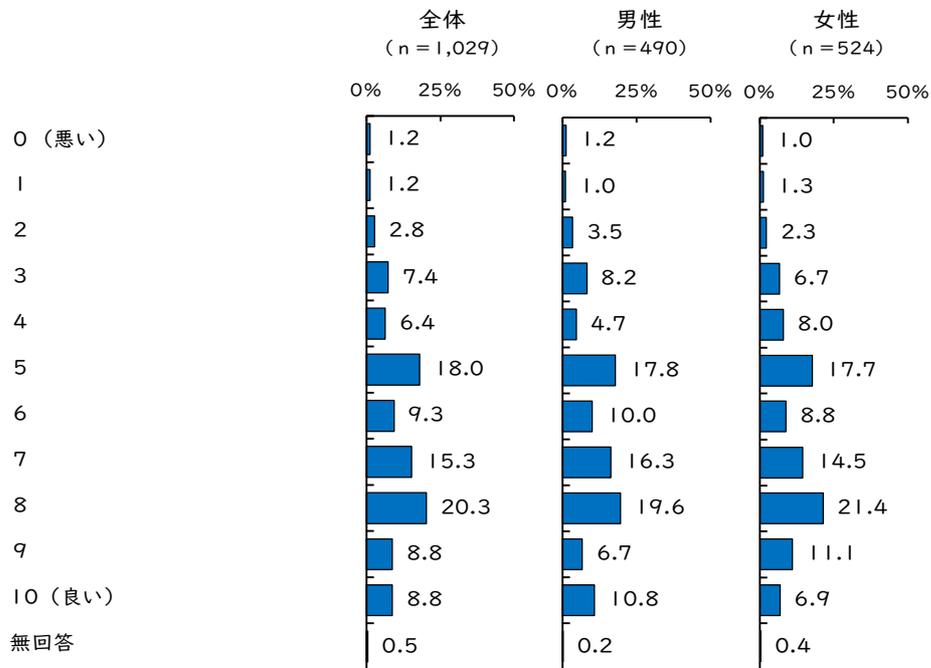
■ 健康状態（単数回答）



健康状態は、「8」が20.3%と最も多く、次いで「5」が18.0%、「7」が15.3%などとなっています。平均点は、6.41点となっています。

また、問3、問4の“文化芸術の鑑賞（観賞）”や問5、問6の“文化芸術の活動”との相関関係を分析するため、便宜上、上記の数値について「0～3」を悪い層、「4～7」を中間層、「8～10」を良い層と分類します。

《全体・性別》



性別でみると、大きな差異はみられません。

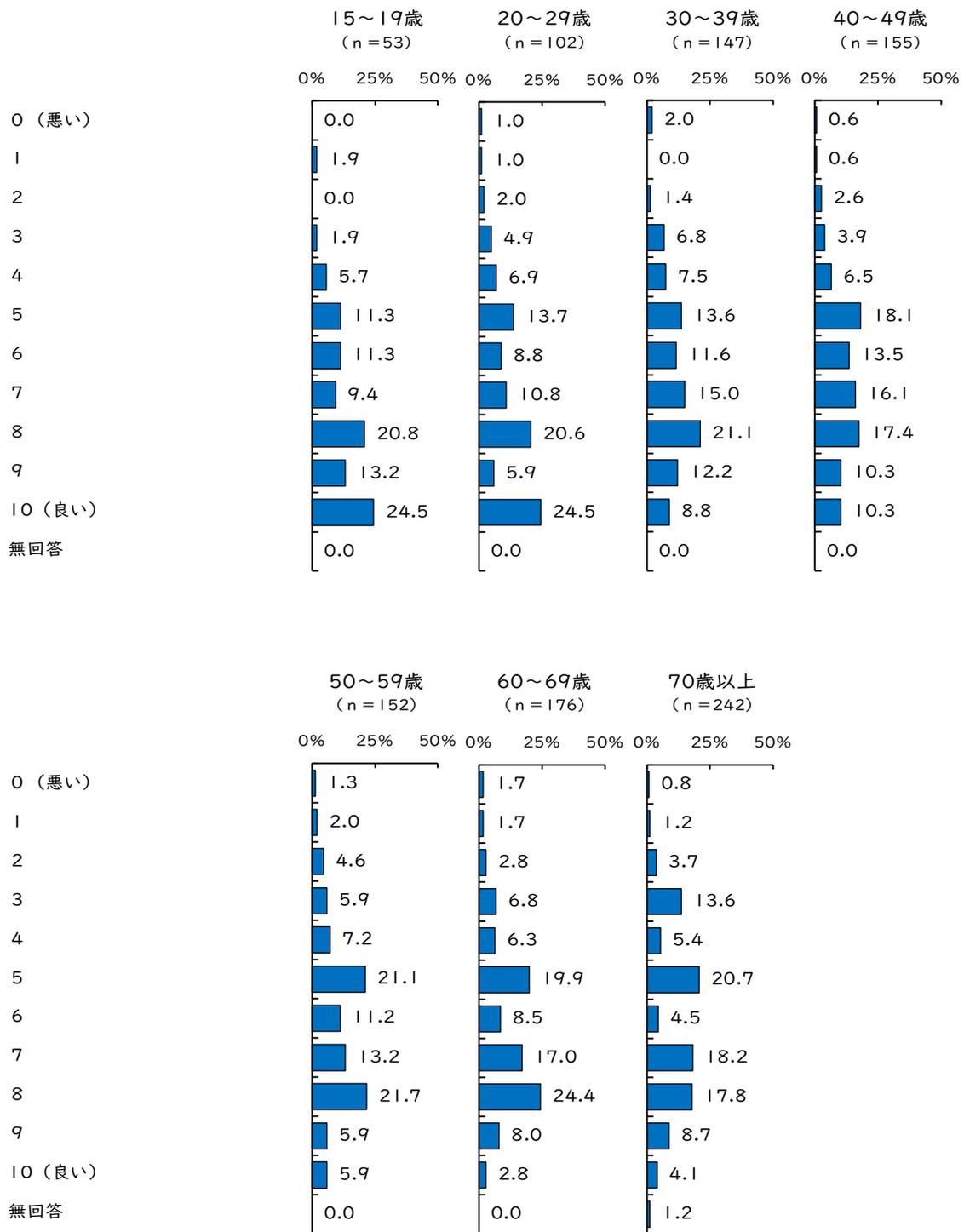
(参考) 性別・年代別・職業別 平均点

性別	平均点
男性	6.41 点
女性	6.43 点

年代別	平均点
15～19 歳	7.51 点
20～29 歳	7.07 点
30～39 歳	6.63 点
40～49 歳	6.63 点
50～59 歳	6.09 点
60～69 歳	6.18 点
70 歳以上	5.98 点

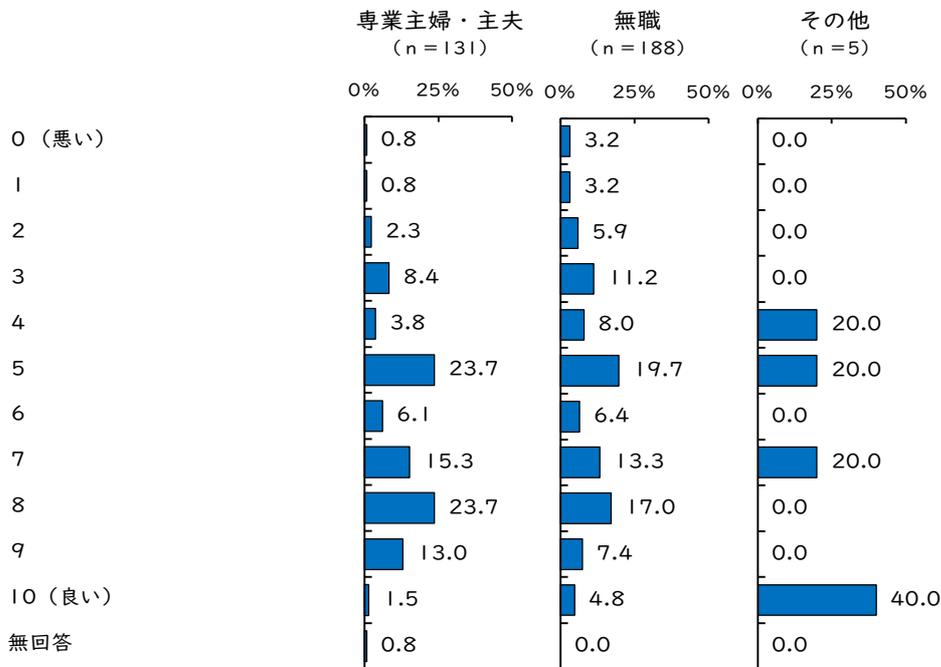
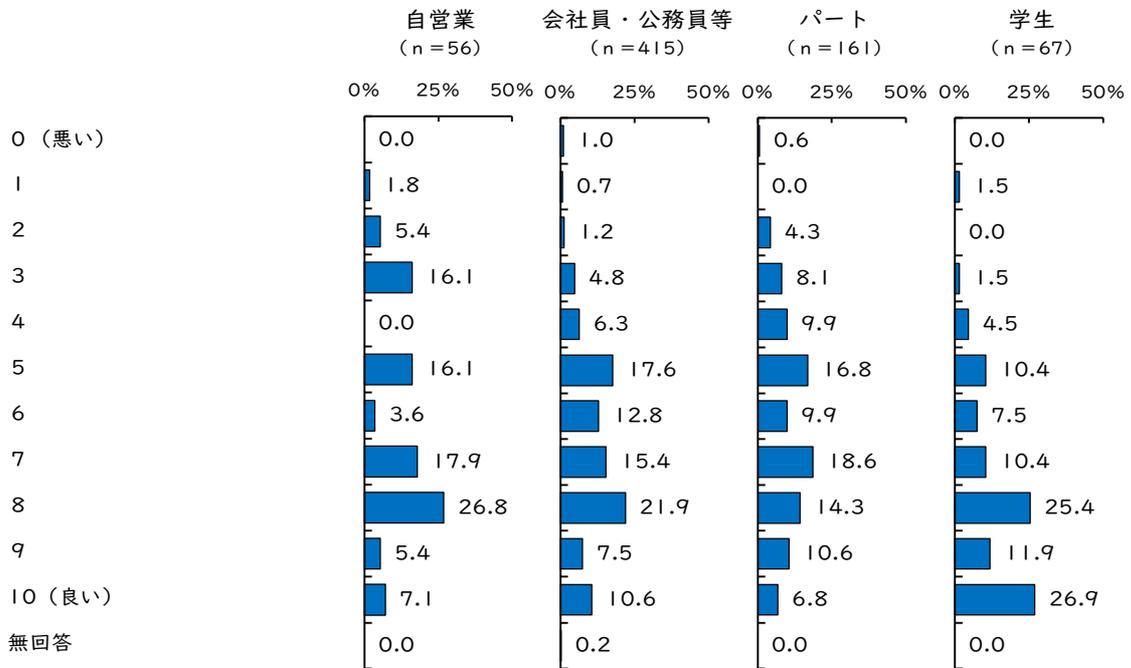
職業別	平均点
自営業	6.21 点
会社員・公務員等	6.65 点
パート	6.24 点
学生	7.73 点
専業主婦・主夫	6.34 点
無職	5.61 点
その他	7.20 点

《年代別》



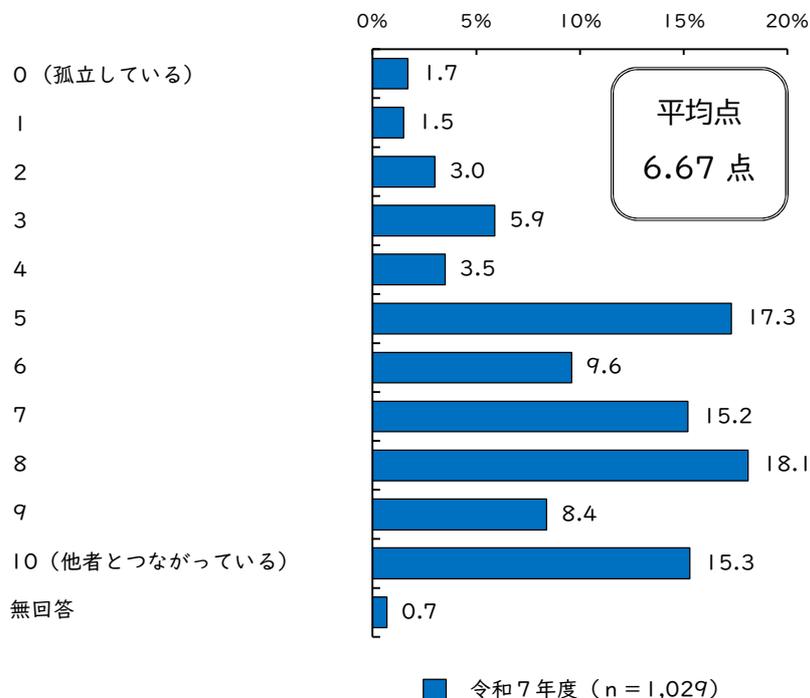
年代別で見ると、30歳未満において「10(良い)」が2割を超えて他の年代より多くなっています。

《職業別》



職業別で見ると、学生において「10（良い）」が2割を超えて他の職業より多くなっています。

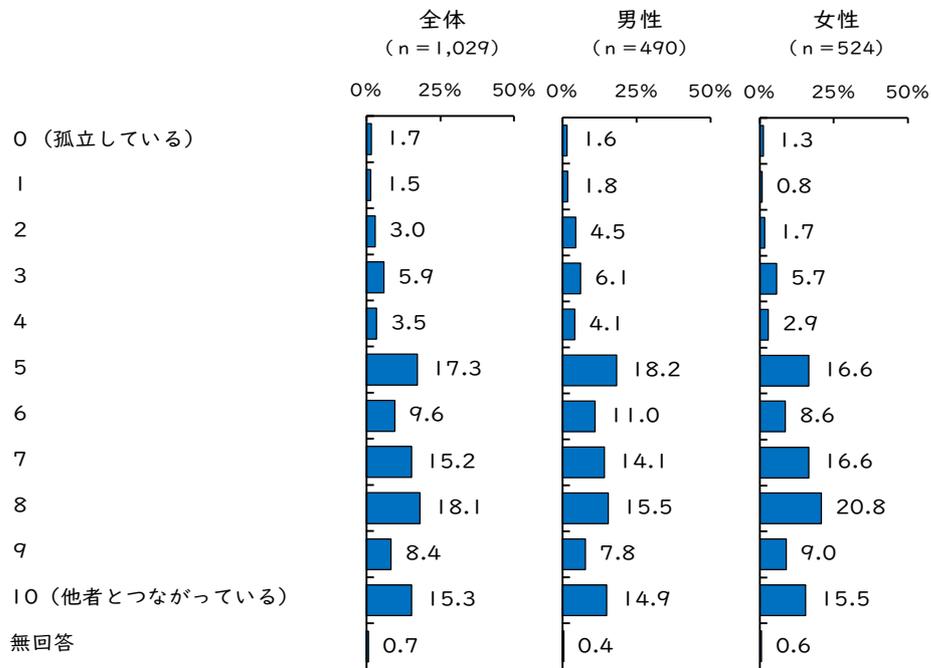
■ 社会とのつながり（単数回答）



社会とのつながりは、「8」が18.1%と最も多く、次いで「5」が17.3%、「10（他者につながっている）」が15.3%などとなっています。平均点は、6.67点となっています。

また、問3、問4の“文化芸術の鑑賞（観賞）”や問5、問6の“文化芸術の活動”との相関関係を分析するため、便宜上、上記の数値について「0～3」を薄い層、「4～7」を中間層、「8～10」を強い層と分類します。

《全体・性別》



性別で見ると、女性において「8」が男性より多くなっています。

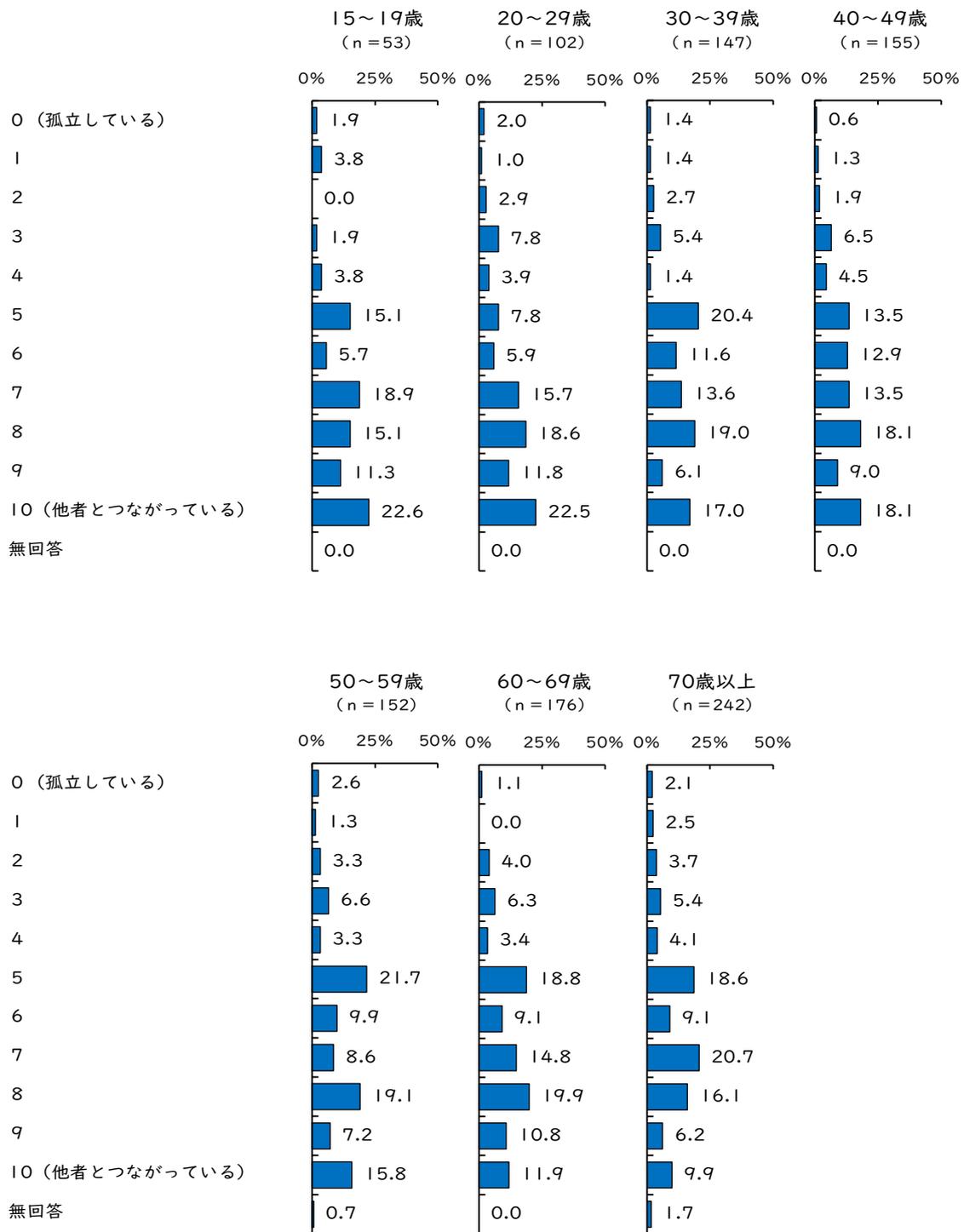
(参考) 性別・年代別・職業別 平均点

性別	平均点
男性	6.47 点
女性	6.89 点

年代別	平均点
15～19 歳	7.15 点
20～29 歳	7.11 点
30～39 歳	6.73 点
40～49 歳	6.89 点
50～59 歳	6.48 点
60～69 歳	6.68 点
70 歳以上	6.29 点

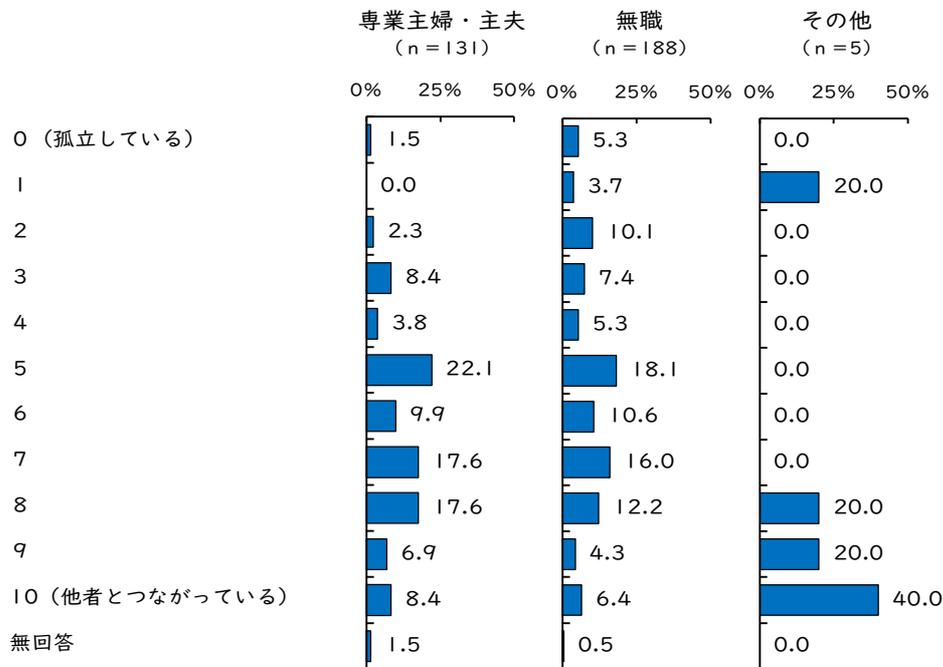
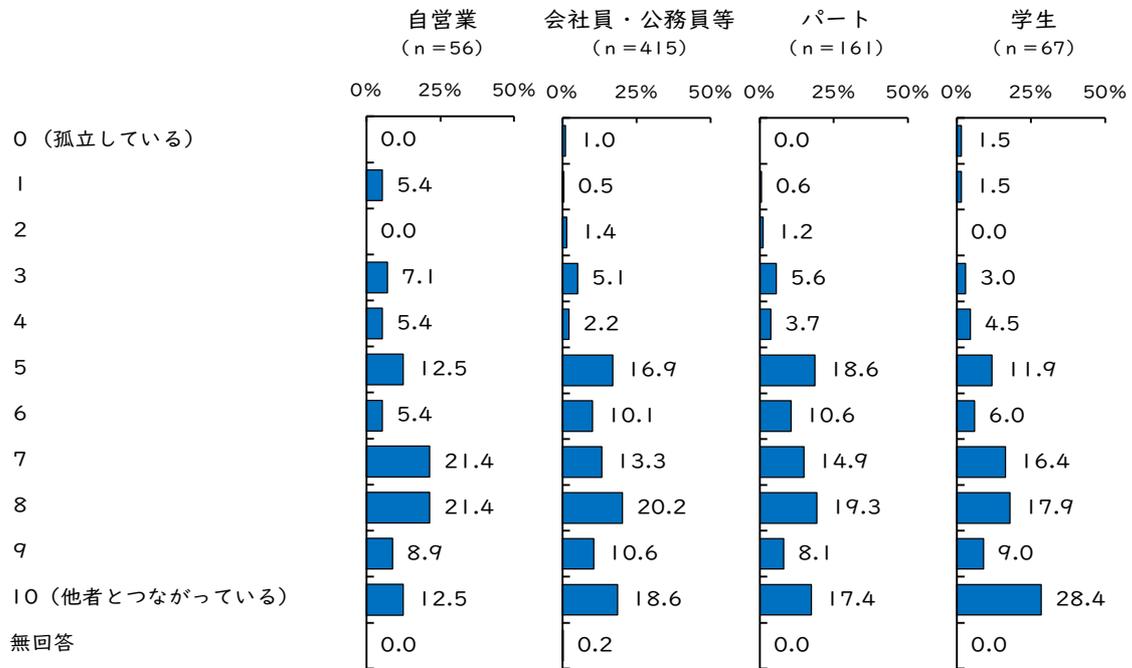
職業別	平均点
自営業	6.70 点
会社員・公務員等	7.10 点
パート	6.96 点
学生	7.46 点
専業主婦・主夫	6.34 点
無職	5.36 点
その他	7.60 点

《年代別》



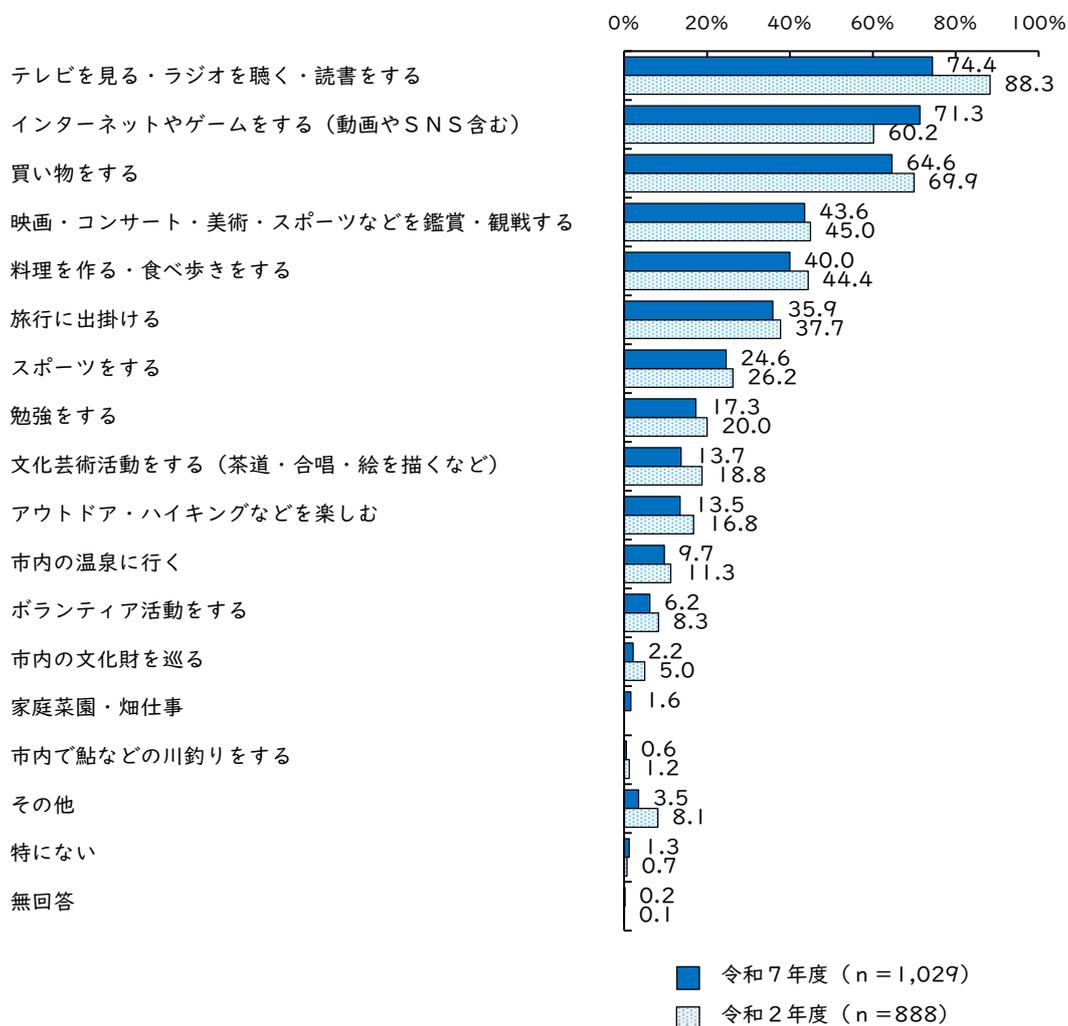
年代別で見ると、70歳以上において「10 (他者とつながっている)」が1割を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》



職業別で見ると、学生において「10（他者とつながっている）」が2割を超えて他の職業より多くなっています。

Q2 あなたは、どのように余暇を過ごしていますか。(複数回答可)

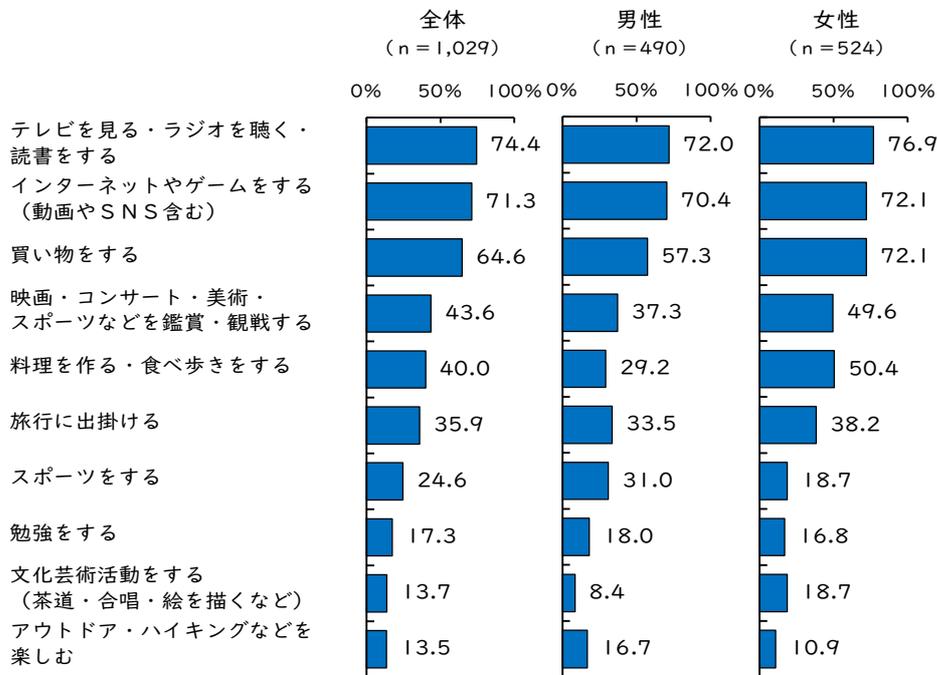


※「家庭菜園・畑仕事をする」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢です。

余暇の過ごし方は、「テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする」が74.4%と最も多く、次いで「インターネットやゲームをする (動画やSNS含む)」が71.3%、「買い物をする」が64.6%などとなっています。

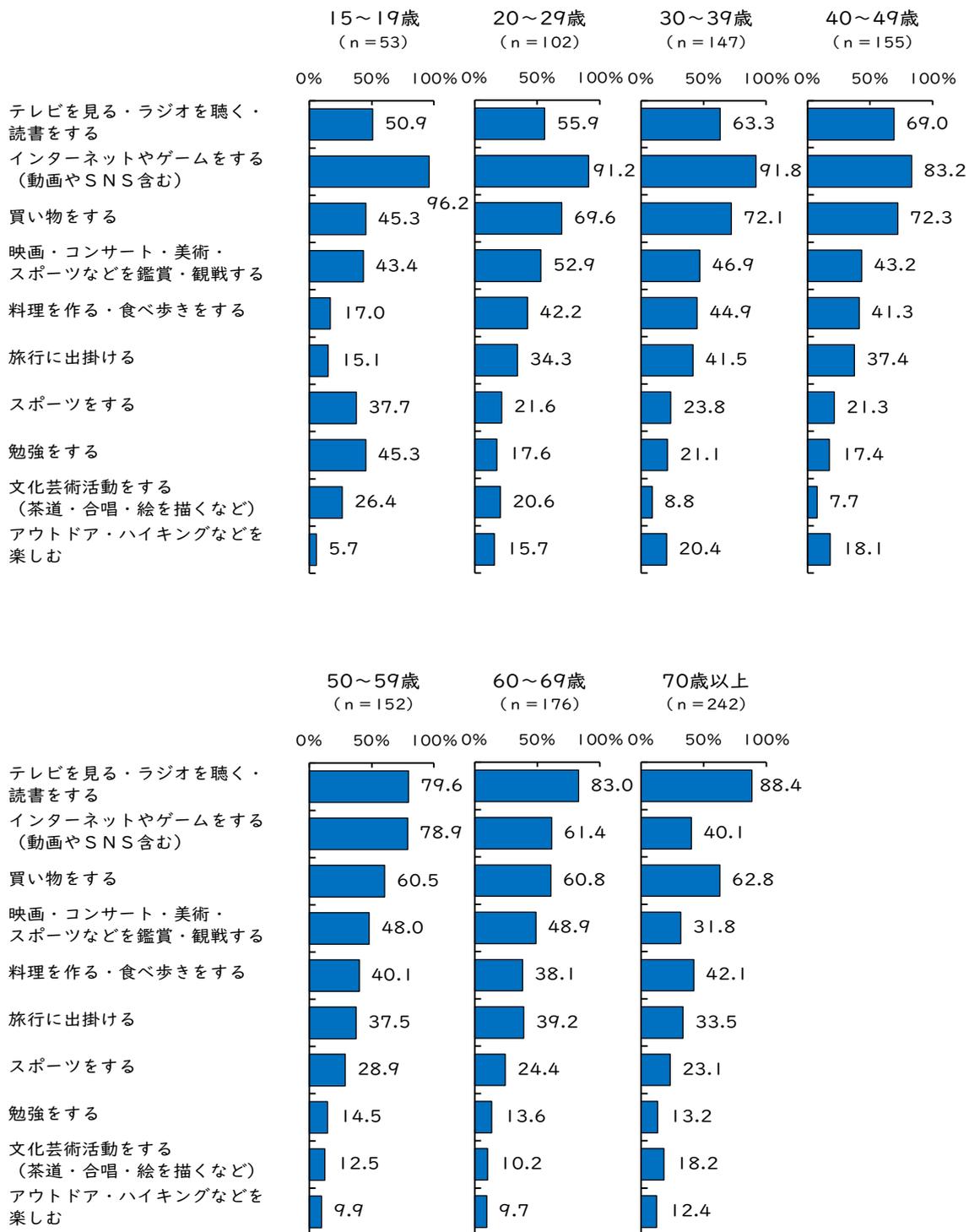
経年比較すると、令和7年度において「インターネットやゲームをする (動画やSNS含む)」が令和2年度より多く、「テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする」、「買い物をする」、「文化芸術活動をする (茶道・合唱・絵を描くなど)」などが令和2年度より少なくなっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



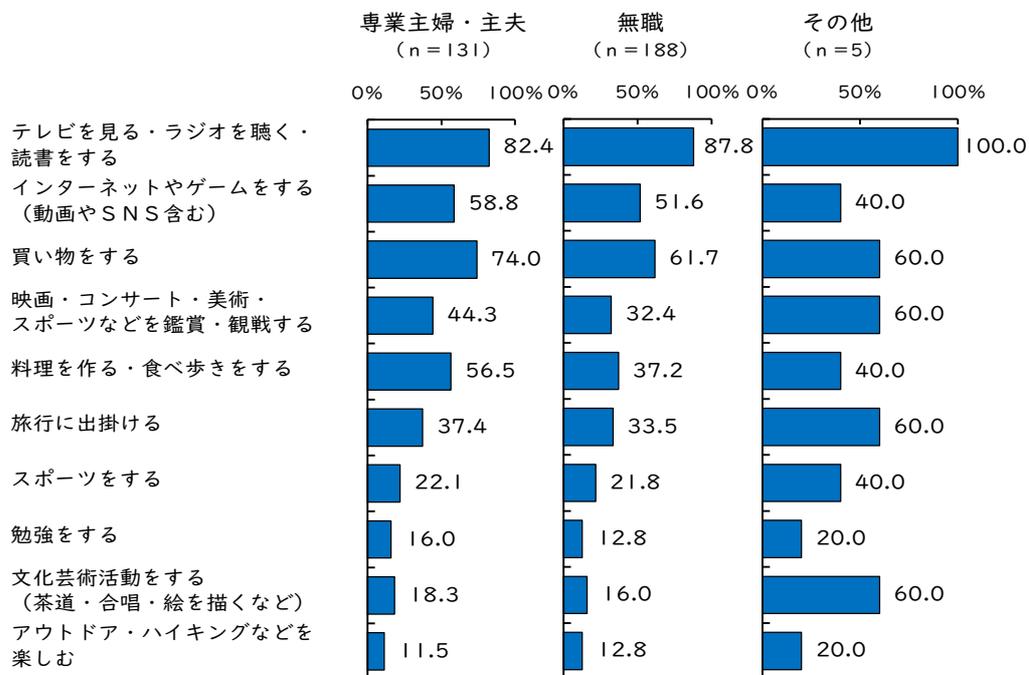
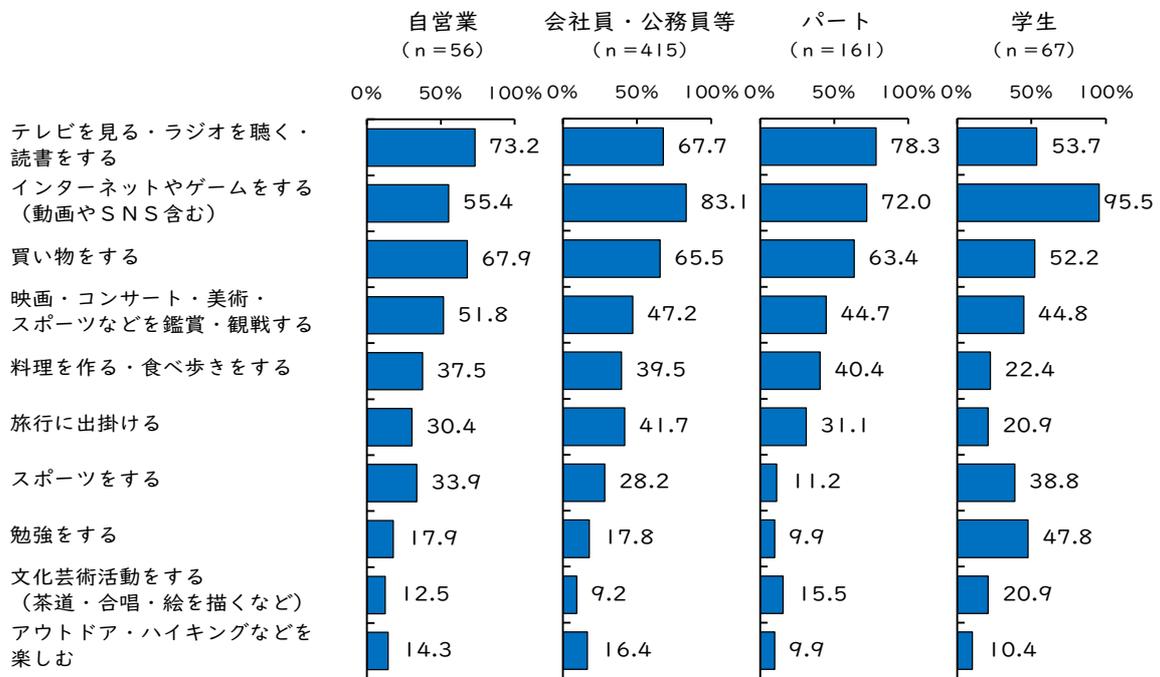
性別で見ると、男性において「スポーツをする」、「アウトドア・ハイキングなどを楽しむ」などが女性より多く、女性において「買い物をする」、「映画・コンサート・美術・スポーツなどを鑑賞・観戦する」、「文化芸術活動をする（茶道・合唱・絵を描くなど）」、「料理を作る・食べ歩きをする」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



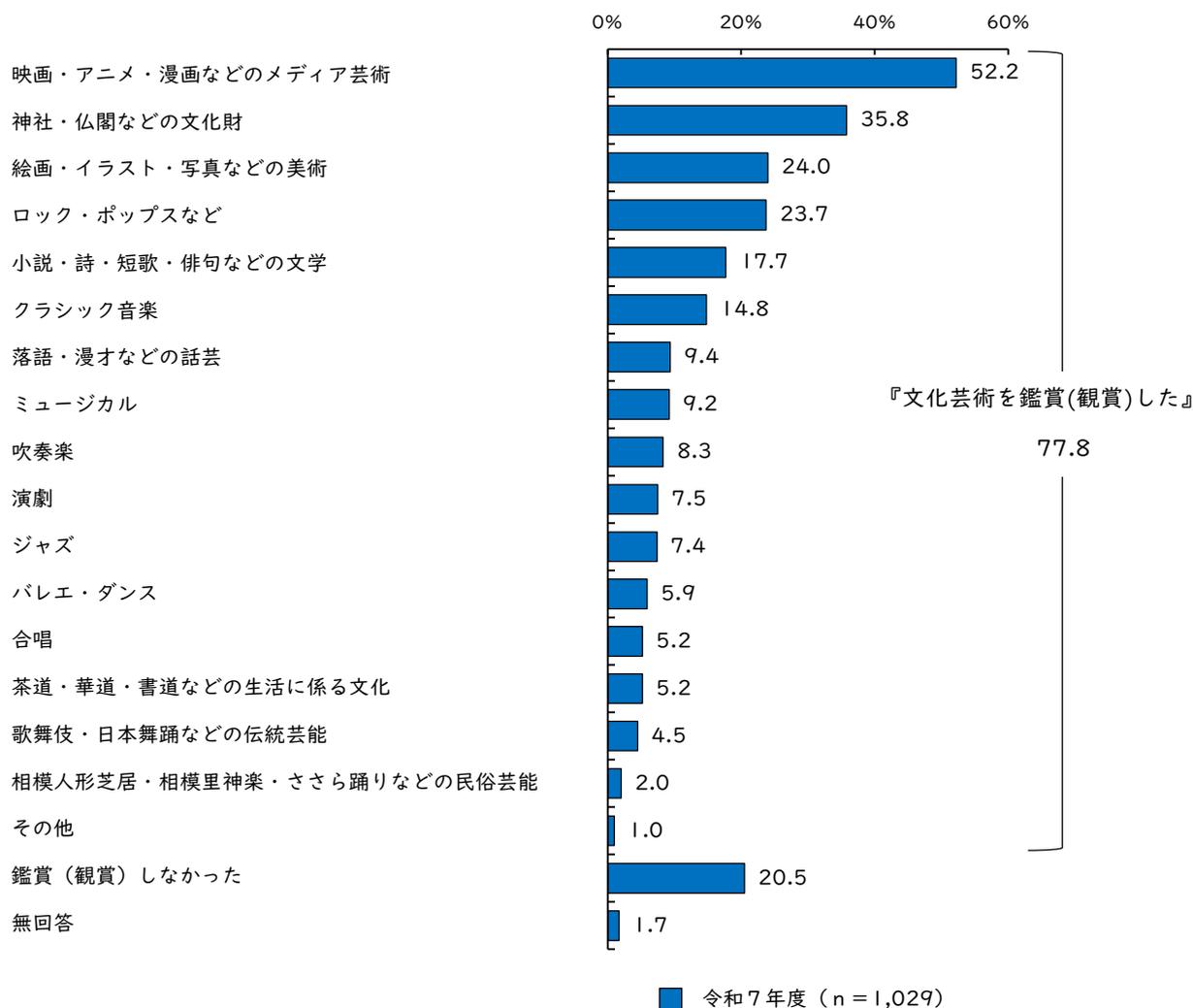
年代別で見ると、年代が高くなるほど「テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする」が多くなる傾向がみられます。また、15～19歳において「勉強をする」が4割を超えて他の年代より多く、70歳以上において「インターネットやゲームをする（動画やSNS含む）」が半数を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



職業別で見ると、学生において「インターネットやゲームをする（動画やSNS含む）」、「勉強をする」などが他の職業より多く、「テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする」、「料理を作る・食べ歩きをする」などが他の職業より少なくなっています。

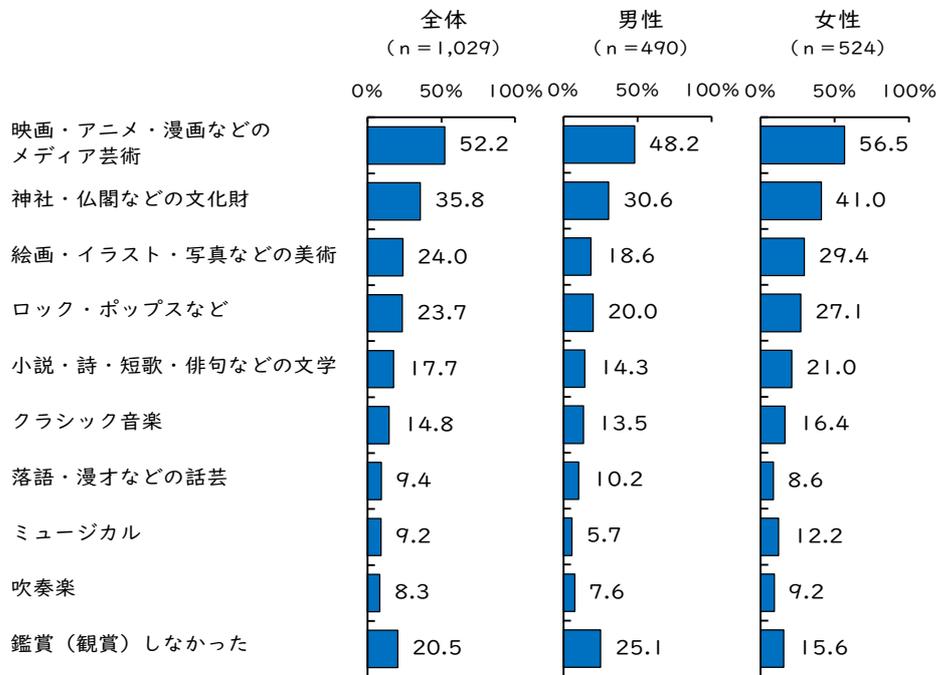
Q3 あなたは、この1年間でどのような文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。
（複数回答可）



この1年間に鑑賞（観賞）した文化芸術は、「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」が52.2%と最も多く、次いで「神社・仏閣などの文化財」が35.8%、「絵画・イラスト・写真などの美術」が24.0%などとなっています。

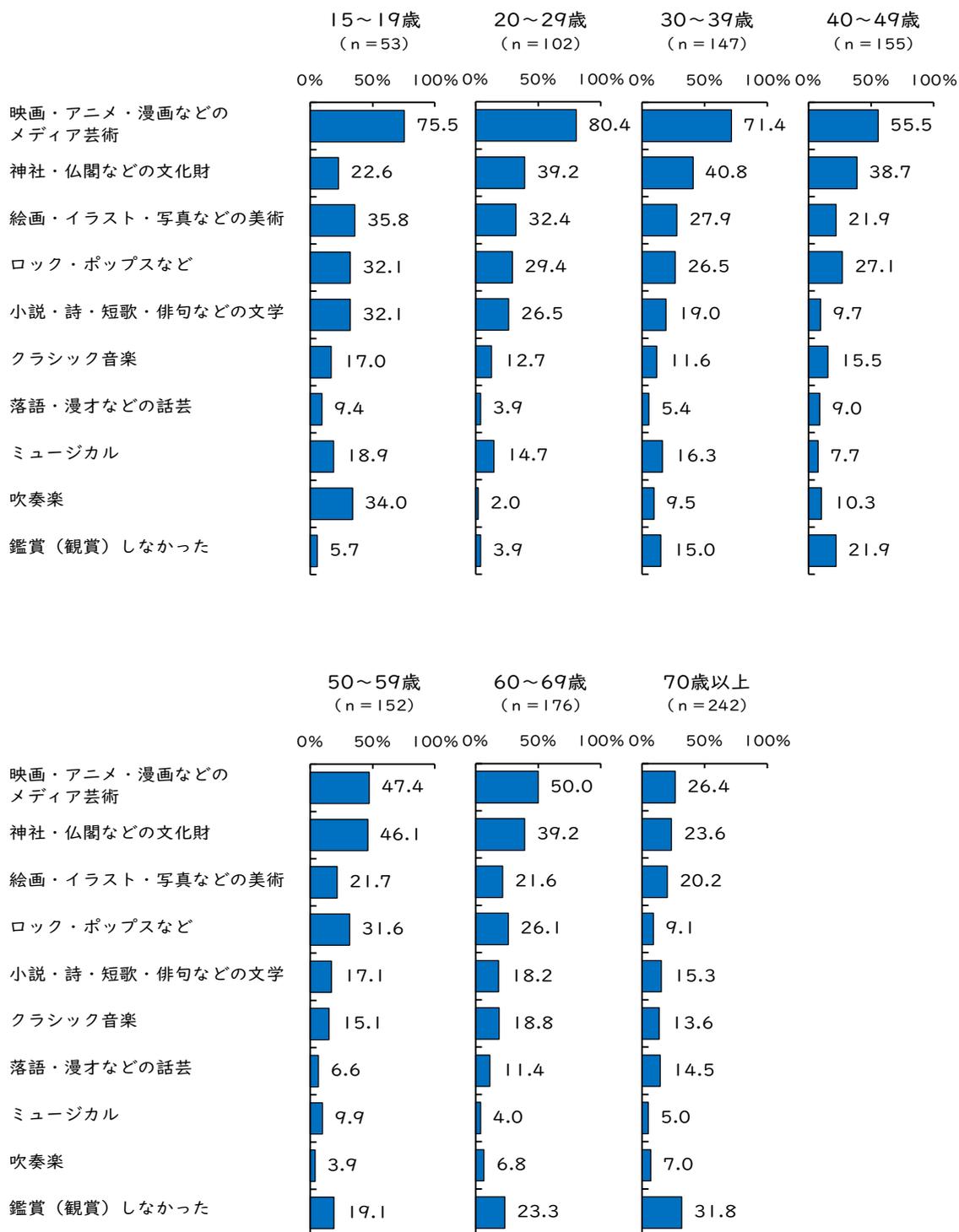
また、いずれかの文化芸術を鑑賞（観賞）した割合は、全体から「鑑賞（観賞）しなかった」と「無回答」を引いた77.8%となっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



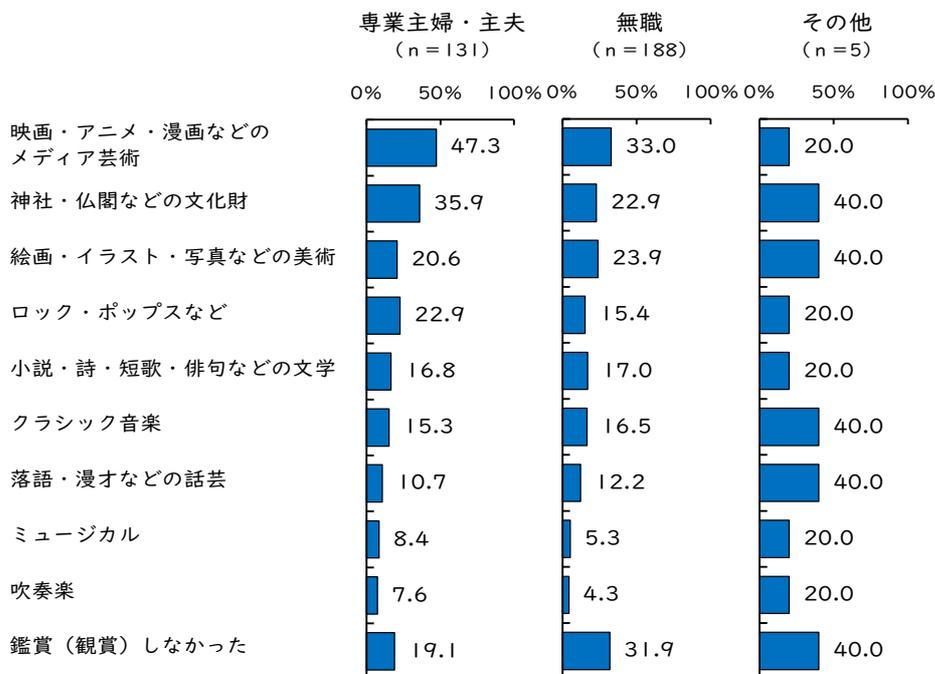
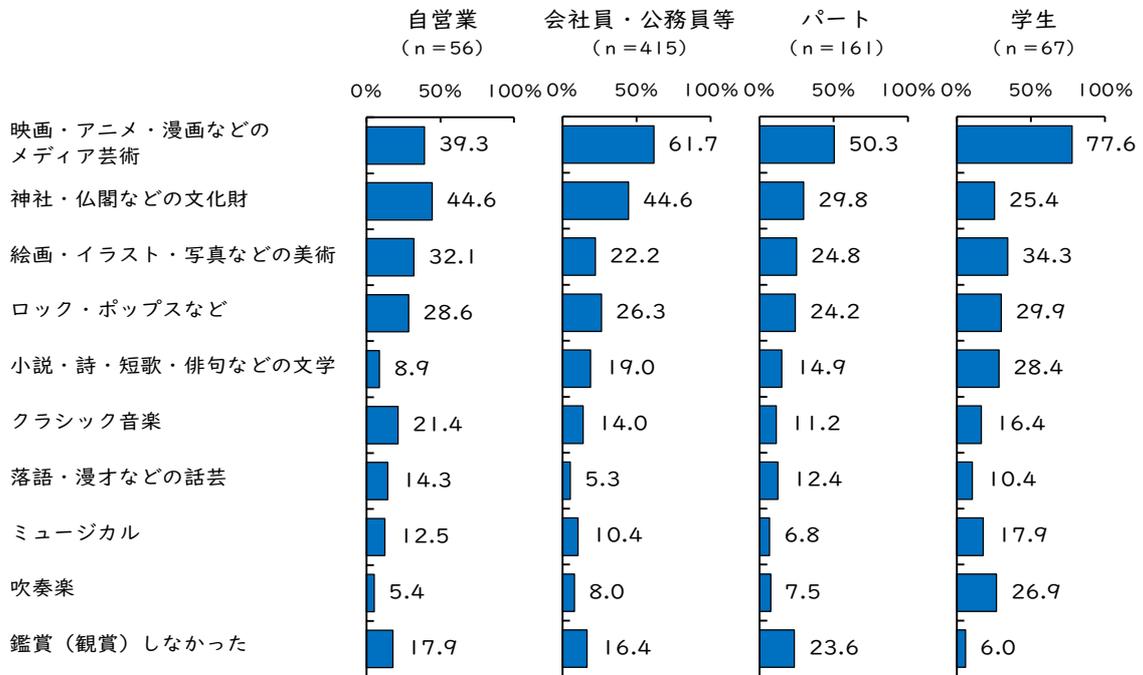
性別で見ると、男性において「鑑賞（観賞）しなかった」などが女性より多く、女性において「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」、「神社・仏閣などの文化財」、「絵画・イラスト・写真などの美術」、「ロック・ポップスなど」、「小説・詩・短歌・俳句などの文学」、「ミュージカル」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



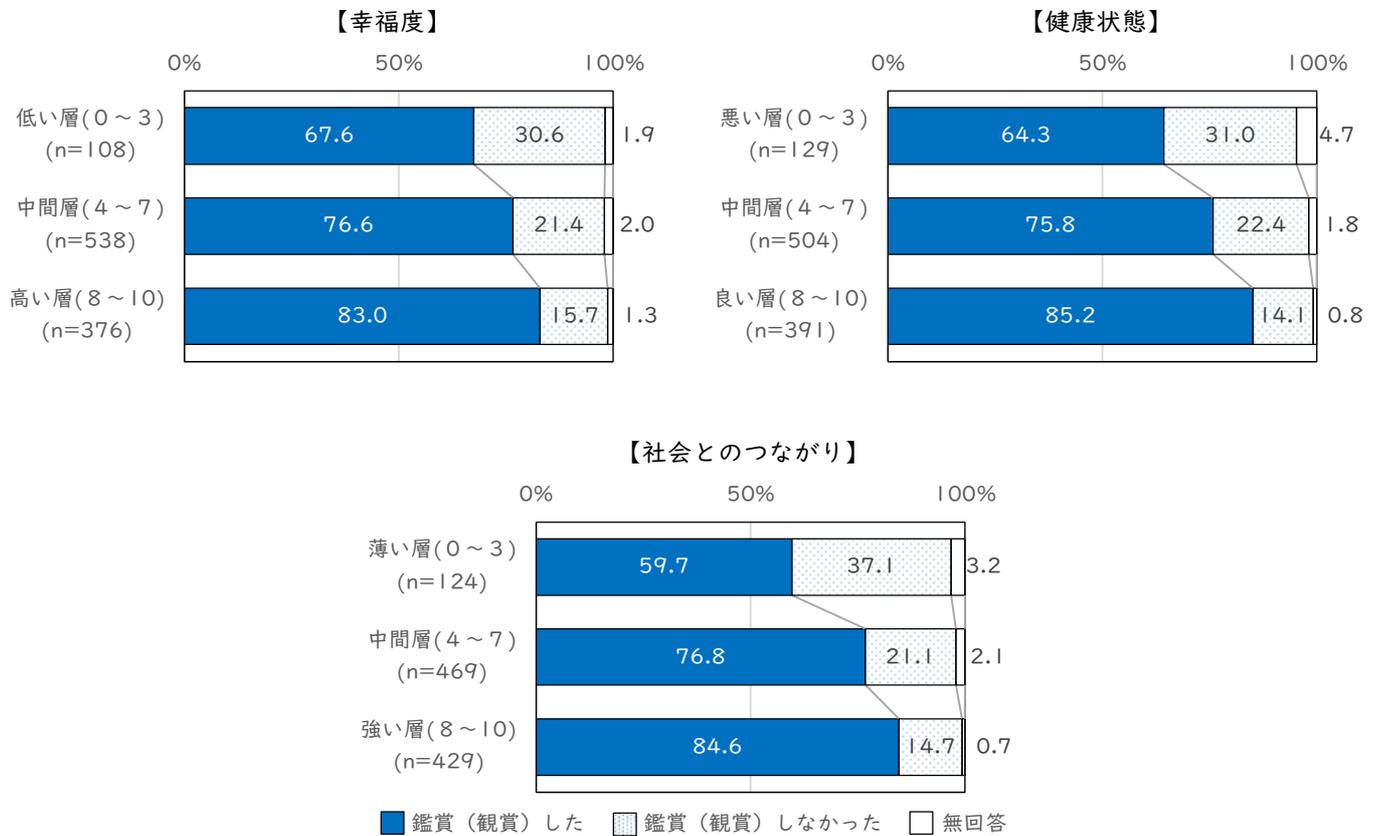
年代別でみると、年代が高くなるほど「絵画・イラスト・写真などの美術」が少なくなる傾向がみられます。また、15～19歳において「吹奏楽」が3割を超えて他の年代より多く、20～29歳において「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」が8割を超えて他の年代より多くなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



職業別でみると、学生において「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」、「吹奏楽」などが他の職業より多く、「鑑賞（観賞）しなかった」が1割を下回って他の職業より少なくなっています。

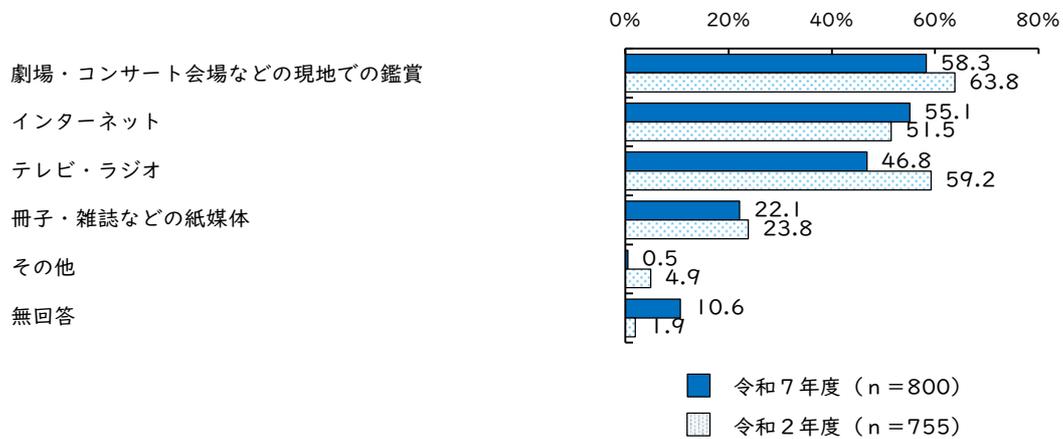
《幸福度別 / 健康状態別 / 社会とのつながり別》



ウェルビーイング (well-being) の3要素との関係を見ると、いずれの要素においても、点数が高い層ほど「鑑賞（観賞）した」が多くなっており、正の相関関係が顕著に見られます。

Q3で「クラシック音楽」～「その他」とお答えの方におうかがいします。

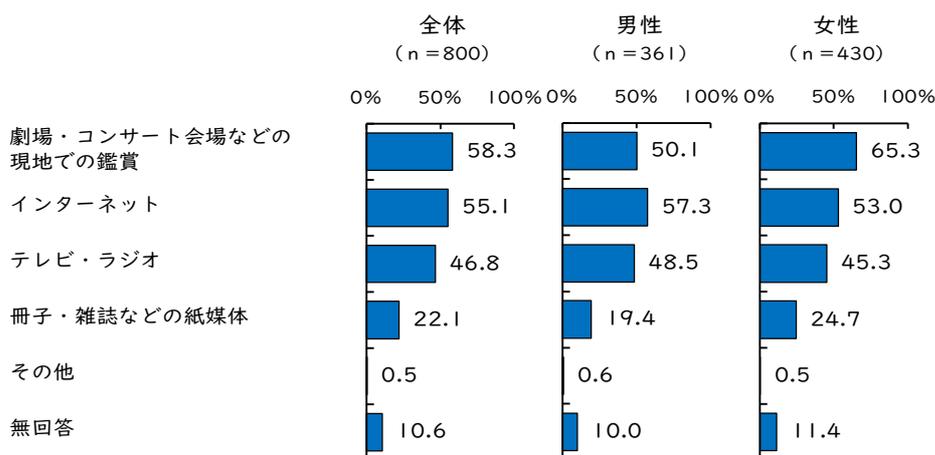
Q3-1 あなたは、この1年間でどのような媒体・手段を通じて文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。（複数回答可）



この1年間に文化芸術を鑑賞（観賞）をした媒体・手段は、「劇場・コンサート会場などの現地での鑑賞」が58.3%と最も多く、次いで「インターネット」が55.1%、「テレビ・ラジオ」が46.8%などとなっています。

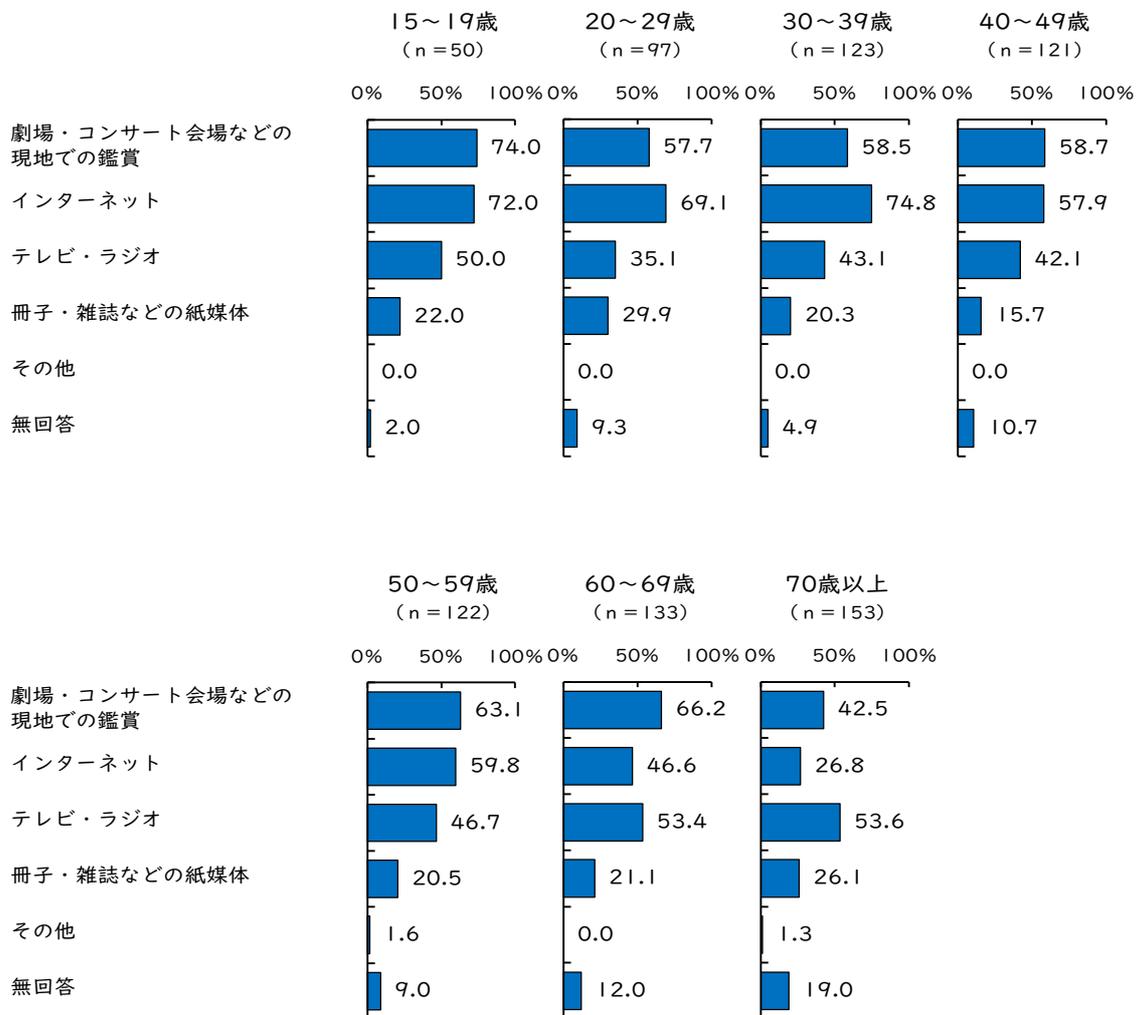
経年比較すると、令和7年度において「劇場・コンサート会場などの現地での鑑賞」、「テレビ・ラジオ」などが令和2年度より少なくなっています。

《全体・性別》



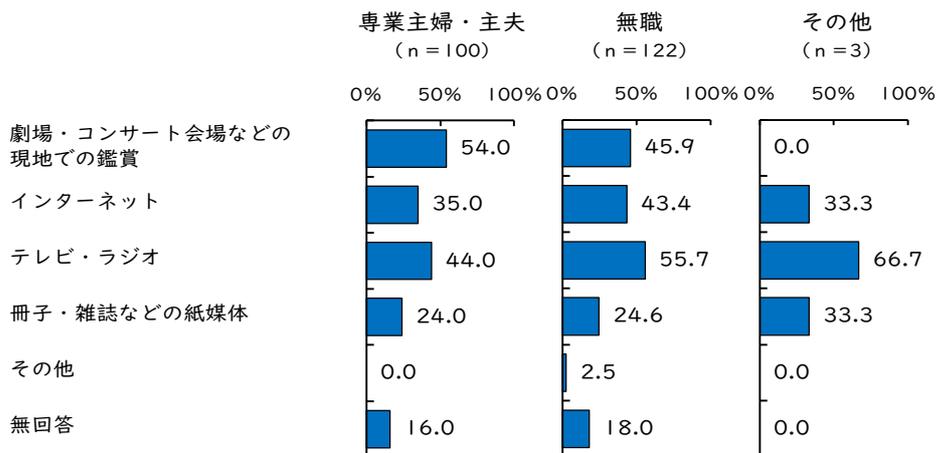
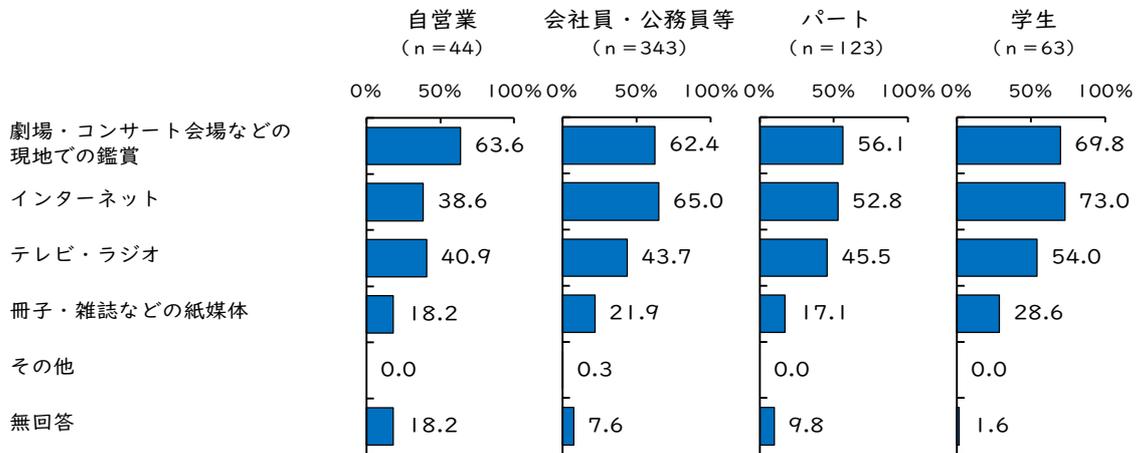
性別でみると、女性において「劇場・コンサート会場などの現地での鑑賞」、「冊子・雑誌などの紙媒体」が男性より多くなっています。

《年代別》



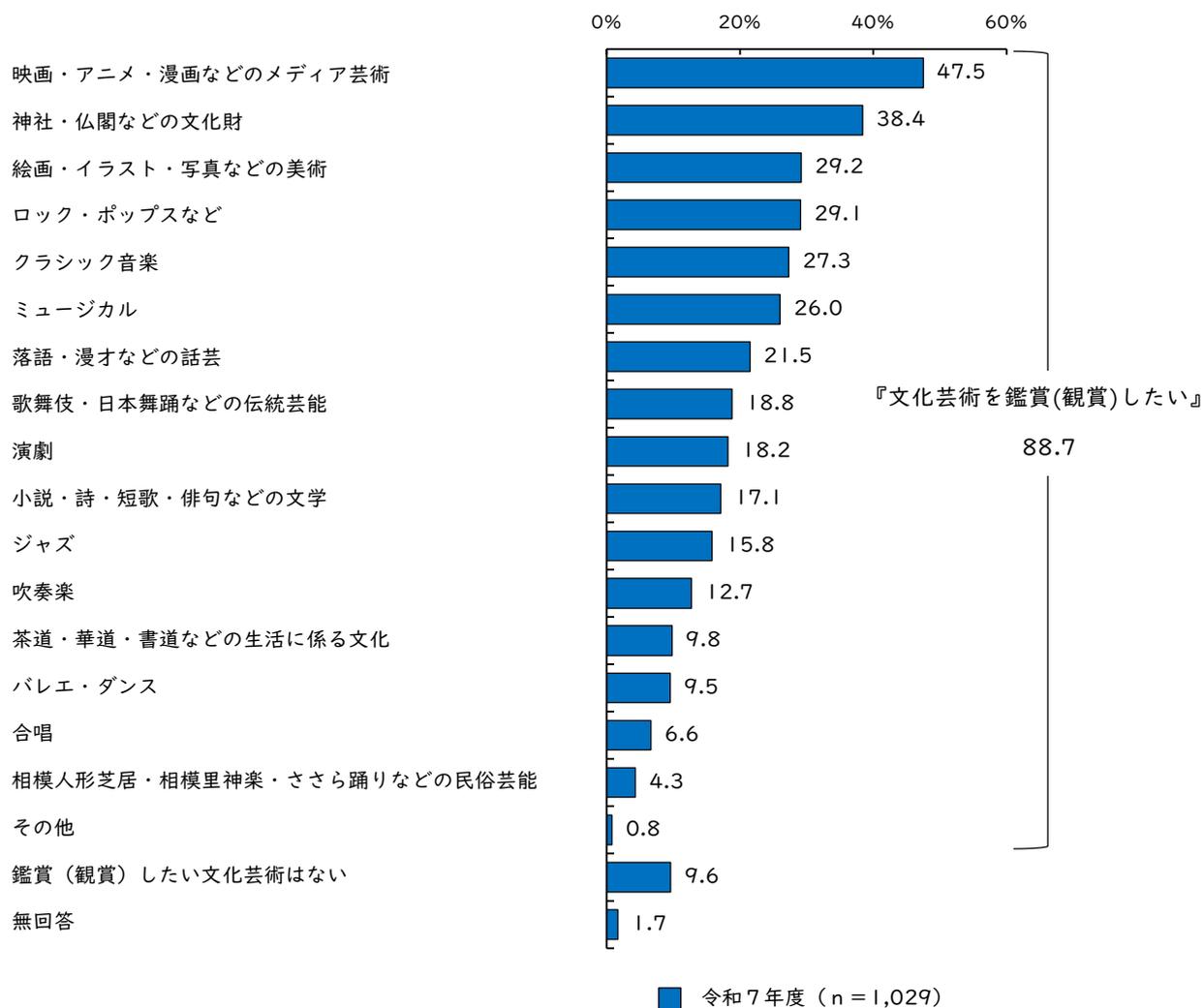
年代別で見ると、20~29歳において「テレビ・ラジオ」が4割を下回って他の年代より少なく、70歳以上において「劇場・コンサート会場などの現地での鑑賞」、「インターネット」が他の年代より少なくなっています。

《職業別》



職業別でみると、学生において「インターネット」が7割を超えて他の職業より多く、無職において「劇場・コンサート会場などの現地での鑑賞」が半数を下回って他の職業より少なくなっています。

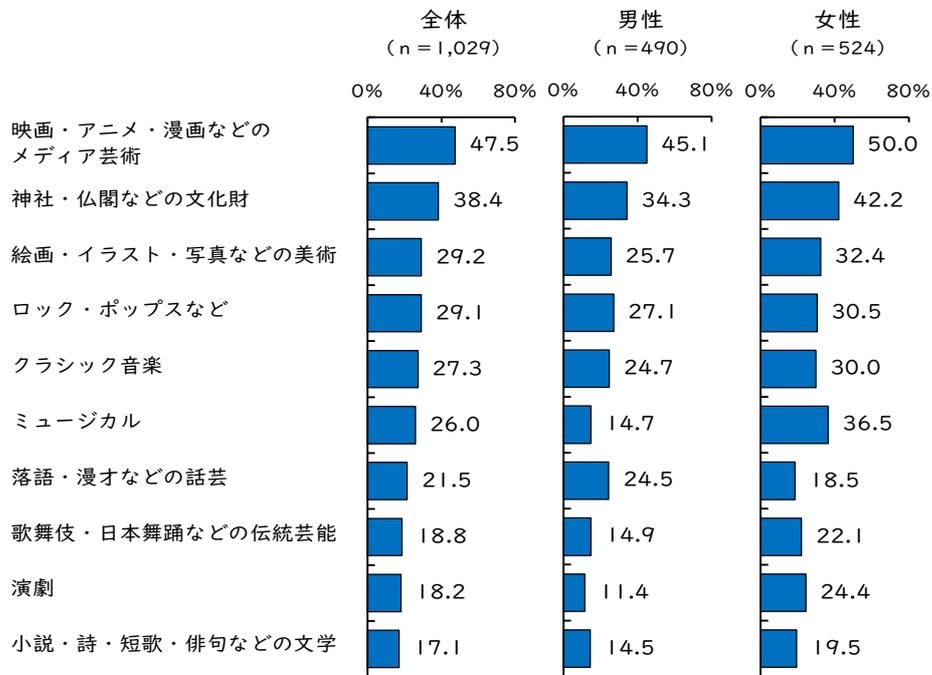
Q4 あなたは、これからどのような文化芸術を鑑賞（観賞）してみたいと思いますか。
（複数回答可）



鑑賞（観賞）してみたい文化芸術は、「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」が47.5%と最も多く、次いで「神社・仏閣などの文化財」が38.4%、「絵画・イラスト・写真などの美術」が29.2%などとなっています。

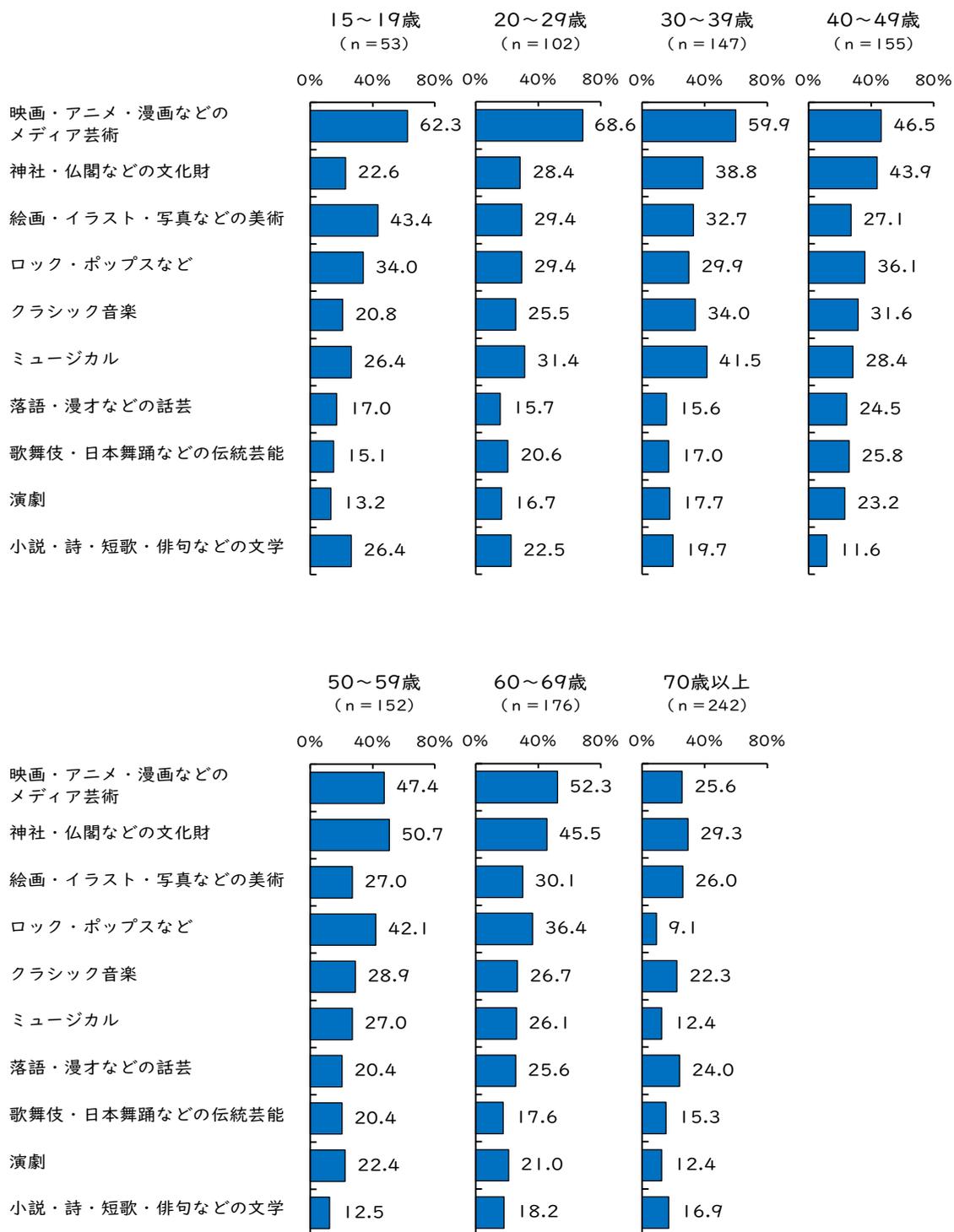
また、何かしらの文化芸術を鑑賞（観賞）したい割合は、全体から「鑑賞（観賞）したい文化芸術はない」と「無回答」を引いた88.7%となっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



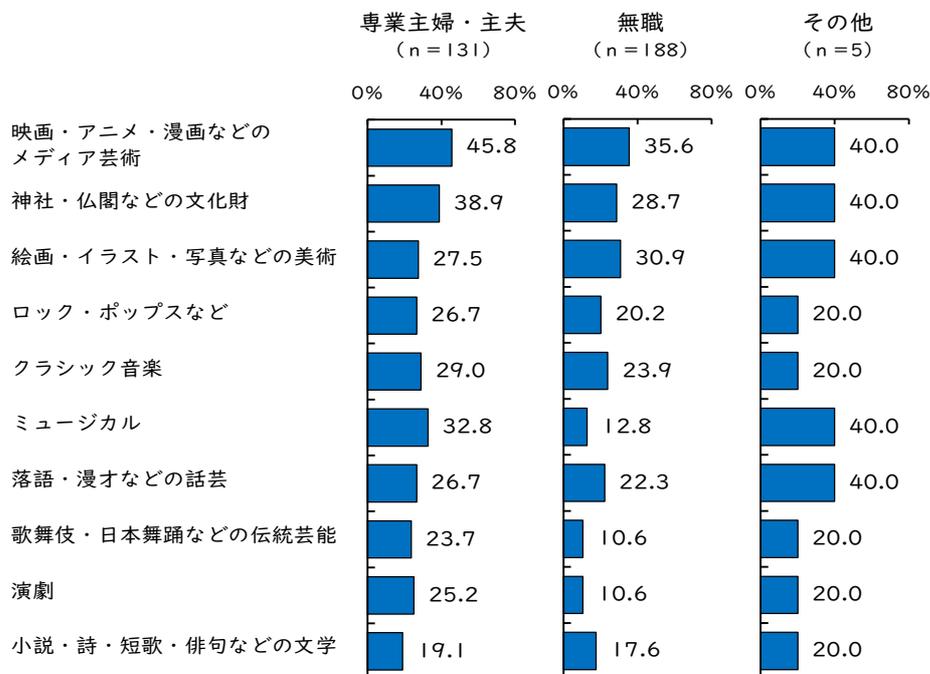
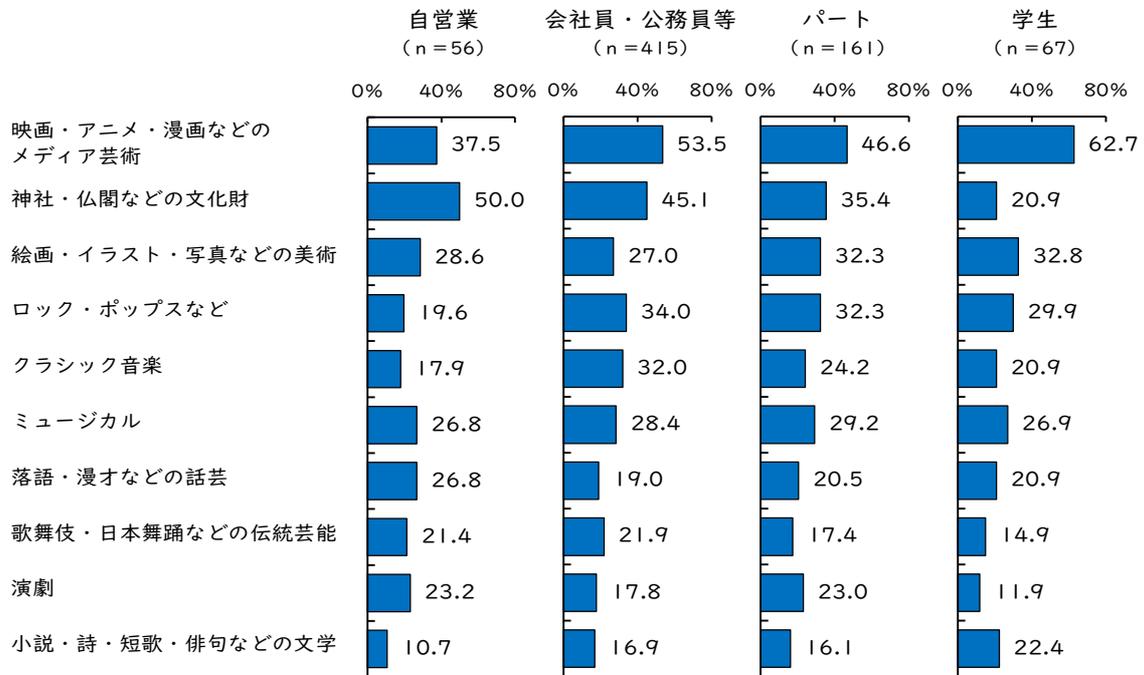
性別で見ると、男性において「落語・漫才などの話芸」が女性より多く、女性において「神社・仏閣などの文化財」、「絵画・イラスト・写真などの美術」、「クラシック音楽」、「ミュージカル」、「歌舞伎・日本舞踊などの伝統芸能」、「演劇」、「小説・詩・短歌・俳句などの文学」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



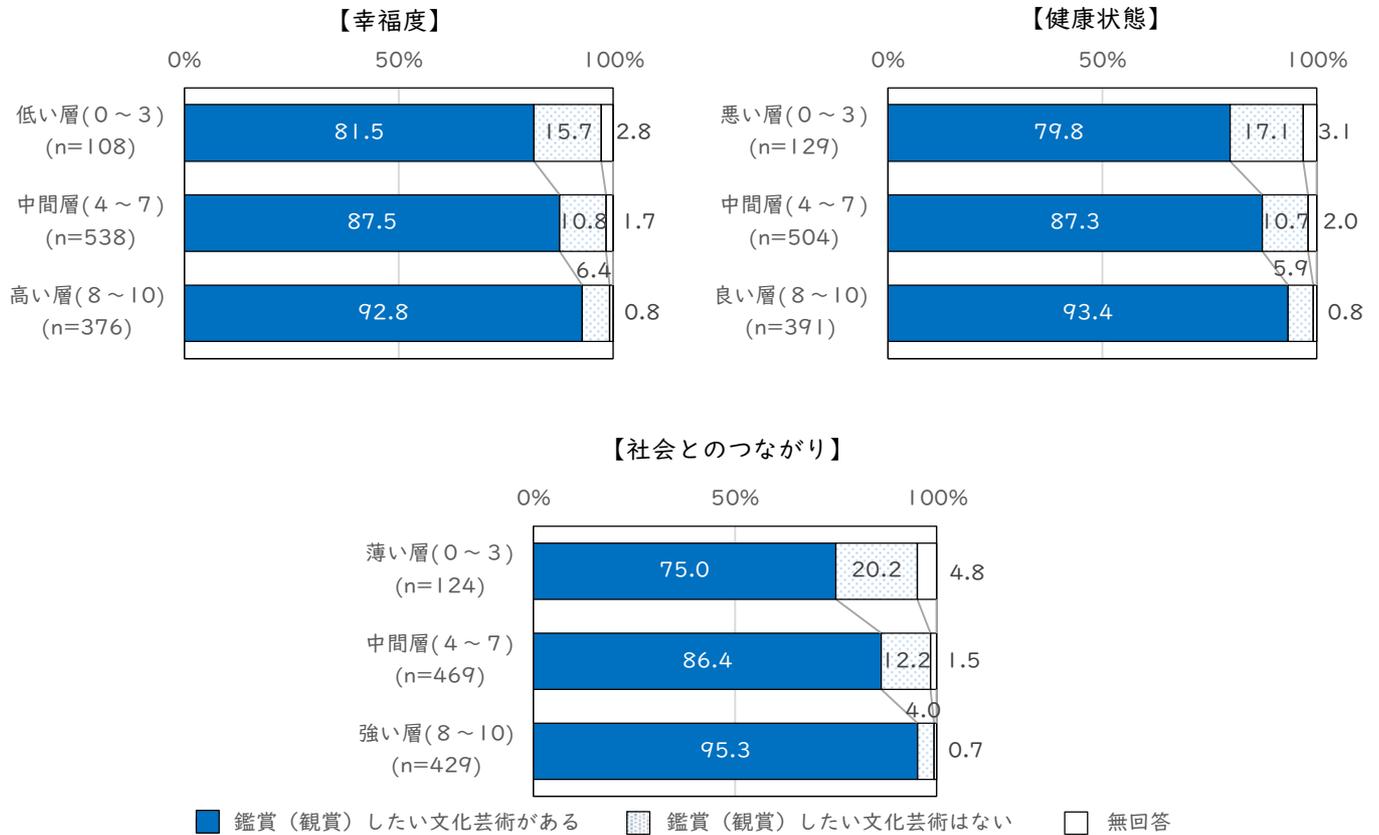
年代別でみると、30～39歳において「ミュージカル」が4割を超えて他の年代より多く、70歳以上において「ロック・ポップスなど」、「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」などが他の年代より少なくなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



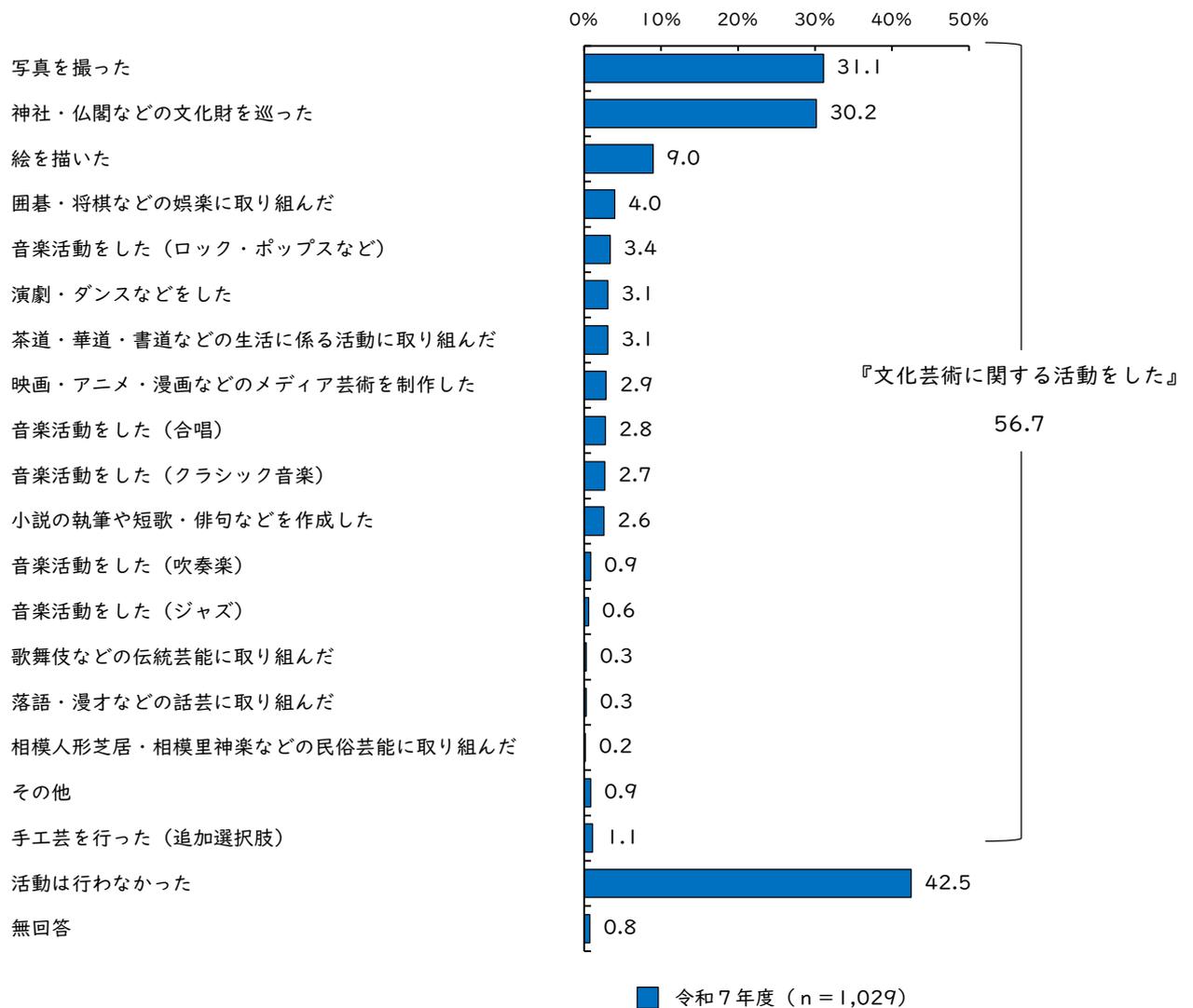
職業別でみると、自営業において「神社・仏閣などの文化財」が半数で他の職業より多く、学生において「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術」が6割を超えて他の職業より多くなっています。

《幸福度別 / 健康状態別 / 社会とのつながり別》



ウェルビーイング (well-being) の3要素との関係を見ると、いずれの要素においても、数値が高い層ほど「鑑賞（観賞）したい文化芸術がある」が多くなっており、正の相関関係が顕著に見られます。

Q5 あなたは、この1年間でどのような文化芸術に関する活動を行いましたか。
（複数回答可）

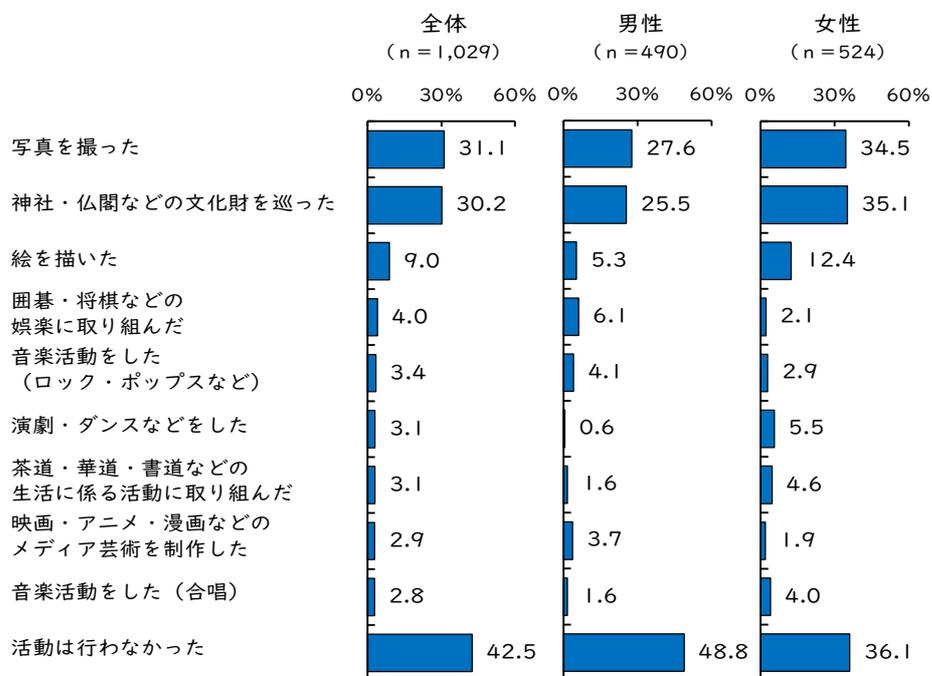


※「手工芸を行った」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢です。

この1年間に行った文化芸術に関する活動は、「活動は行わなかった」が42.5%と最も多く、次いで「写真を撮った」が31.1%、「神社・仏閣などの文化財を巡った」が30.2%などとなっています。

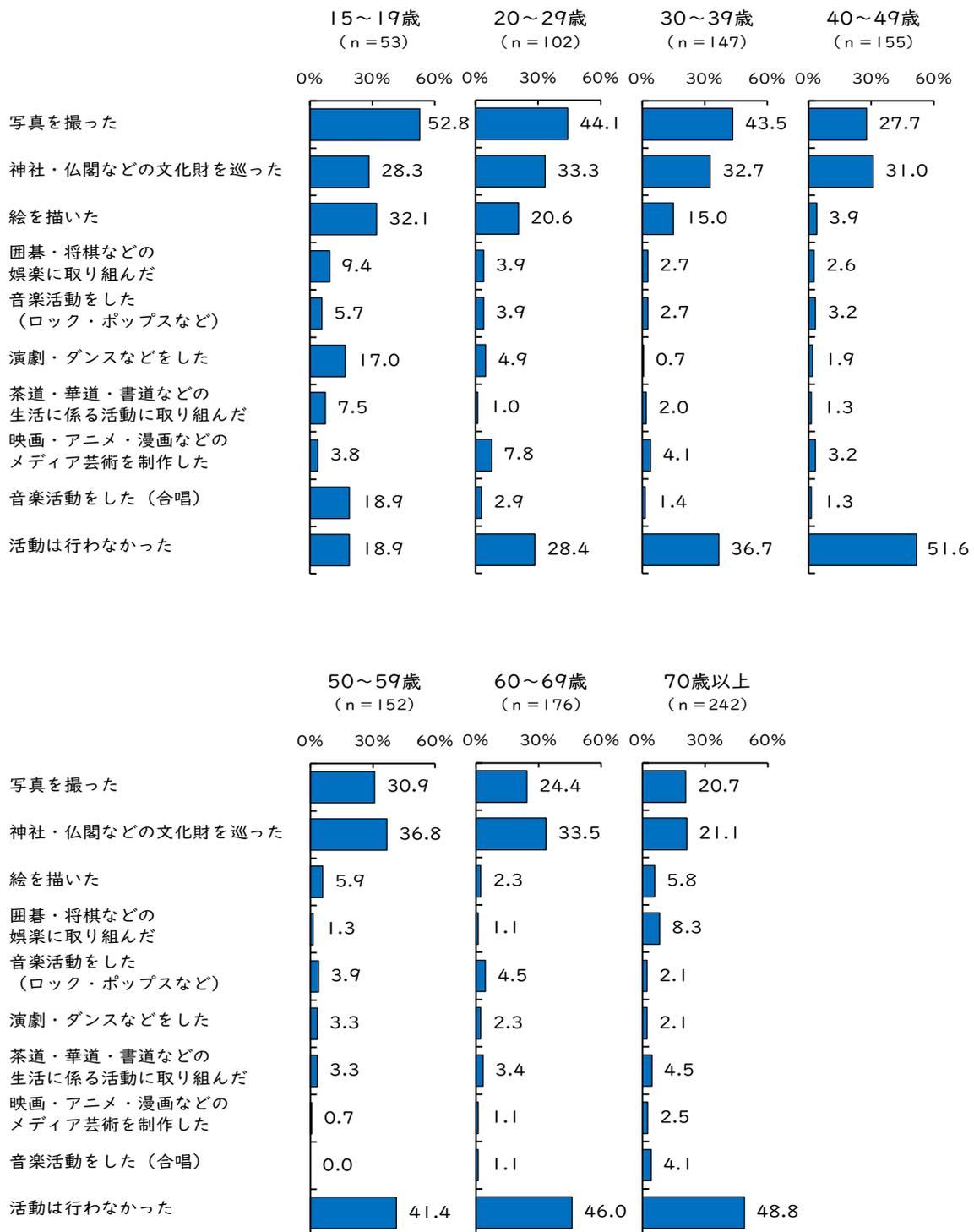
また、いずれかの文化芸術に関する活動を行った割合は、全体から「活動は行わなかった」と「無回答」を引いた56.7%となっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



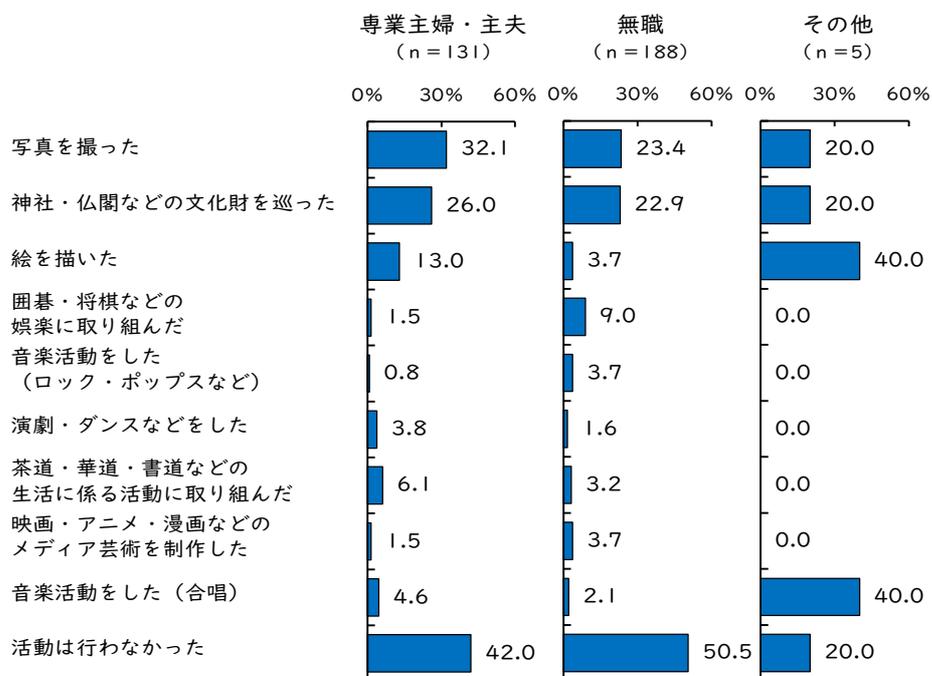
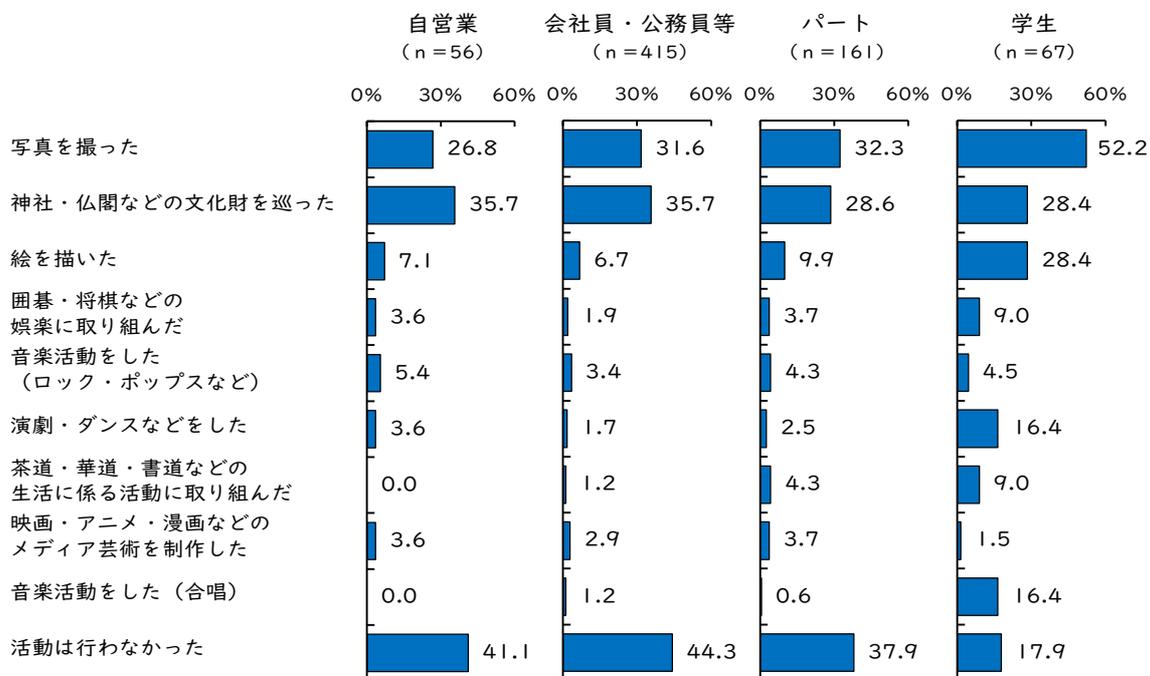
性別で見ると、男性において「活動は行わなかった」などが女性より多く、女性において「写真を撮った」、「神社・仏閣などの文化財を巡った」、「絵を描いた」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



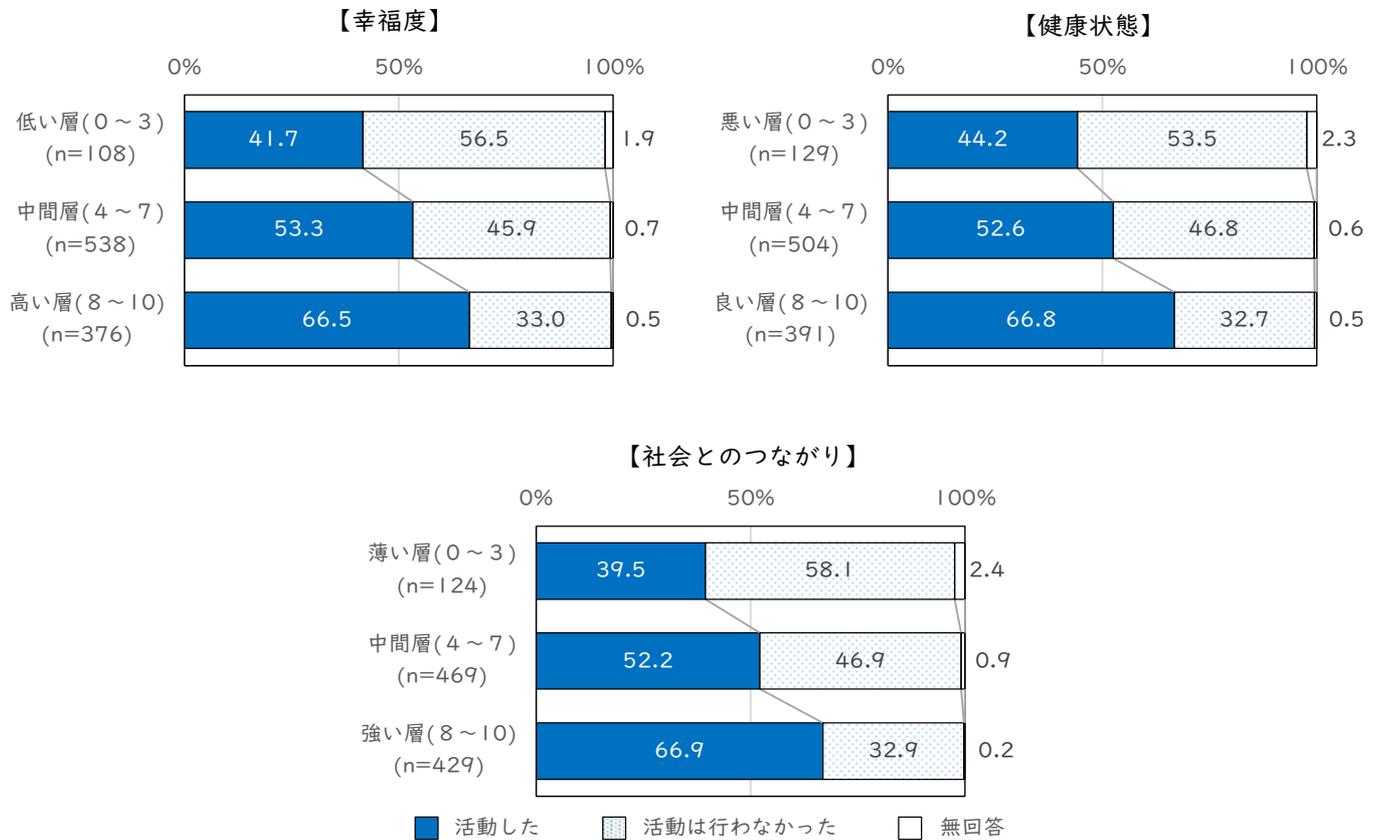
年代別で見ると、15～19歳において「写真を撮った」、「絵を描いた」、「演劇・ダンスなどをした」、「音楽活動をした（合唱）」などが他の年代より多く、「活動は行わなかった」が2割を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



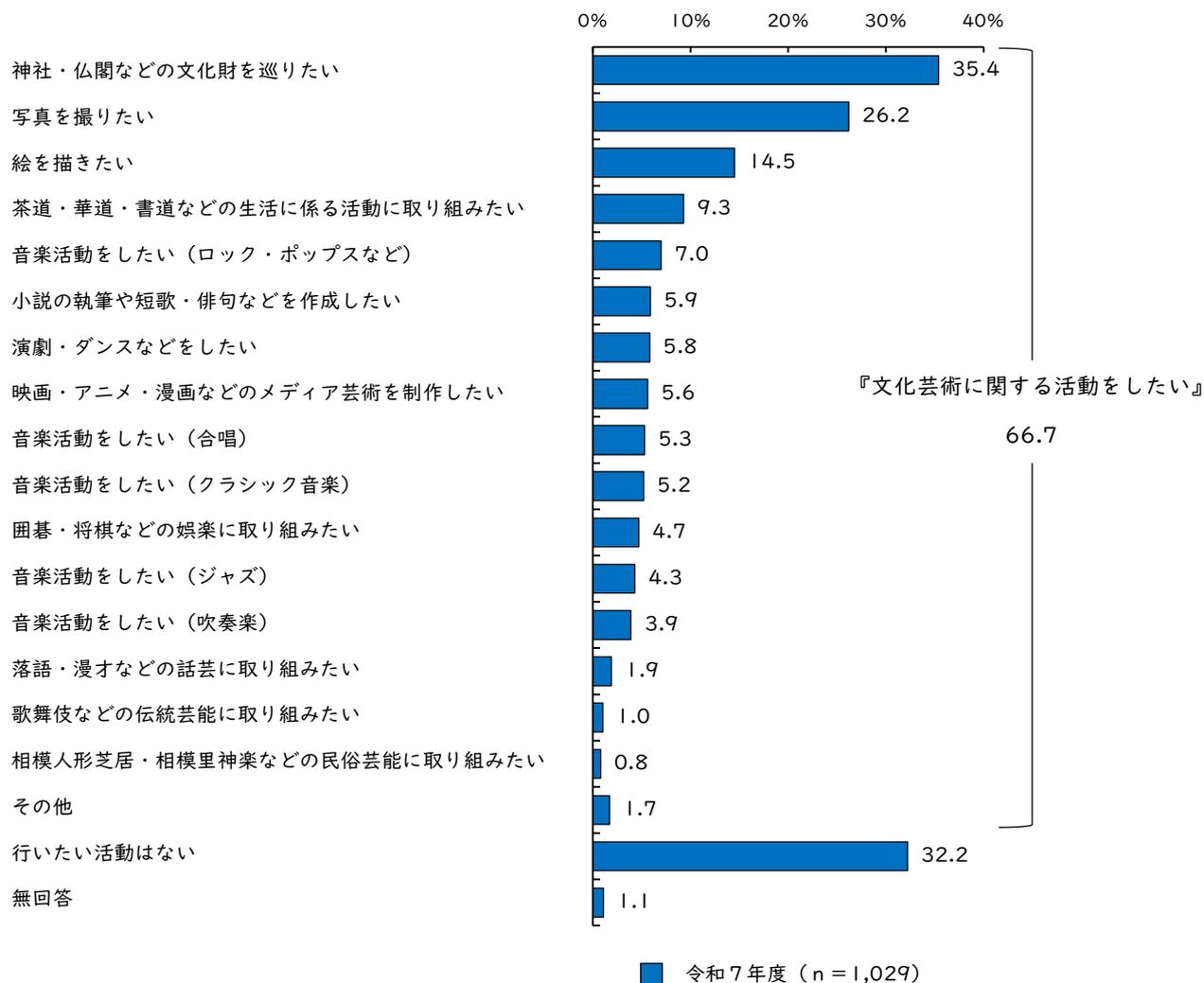
職業別でみると、学生において「写真を撮った」、「絵を描いた」、「演劇・ダンスなどをした」、「音楽活動をした (合唱)」などが他の職業より多く、「活動は行わなかった」が2割を下回って他の職業より少なくなっています。

《幸福度別 / 健康状態別 / 社会とのつながり別》



ウェルビーイング (well-being) の3要素との関係を見ると、いずれの要素においても、数値が高い層ほど「活動した」が多くなっており、正の相関関係が顕著に見られます。

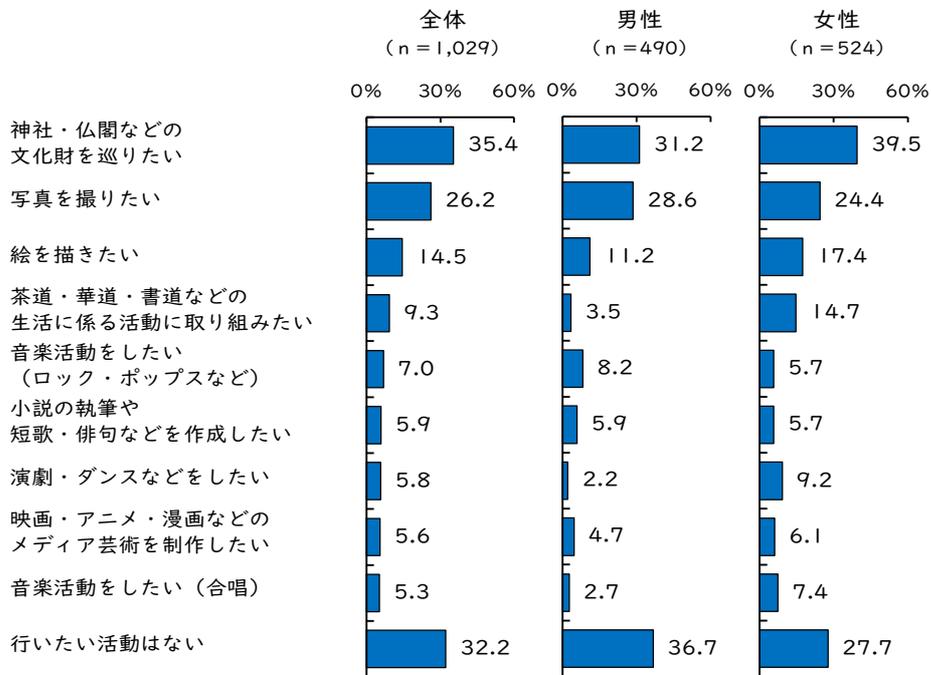
Q6 あなたは、これからどのような文化芸術に関する活動を行いたいと思いますか。
(複数回答可)



行いたい文化芸術に関する活動は、「神社・仏閣などの文化財を巡りたい」が35.4%と最も多く、次いで「行いたい活動はない」が32.2%、「写真を撮りたい」が26.2%などとなっています。

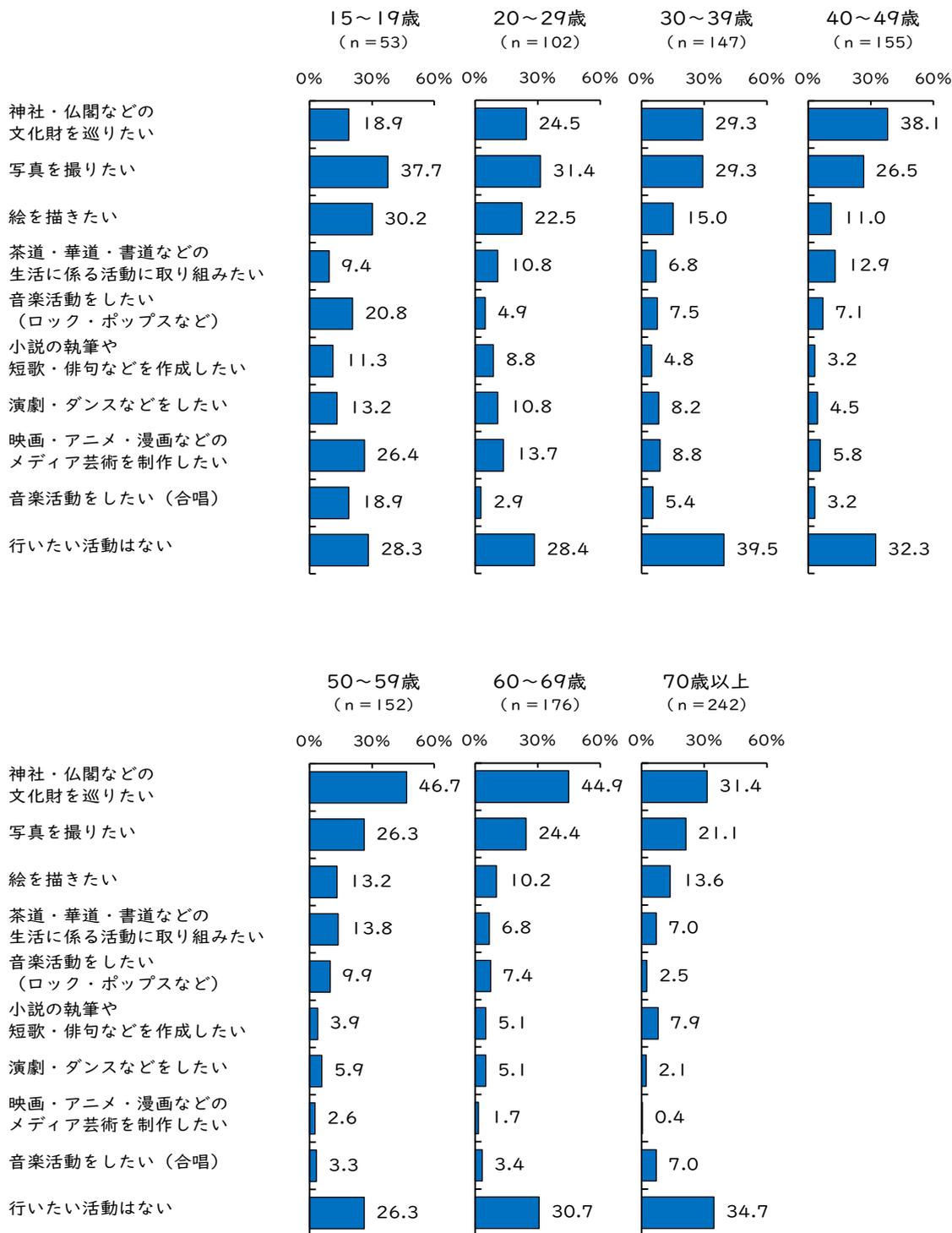
また、いずれかの文化芸術に関する活動を行いたい割合は、全体から「行いたい活動はない」と「無回答」を引いた66.7%となっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



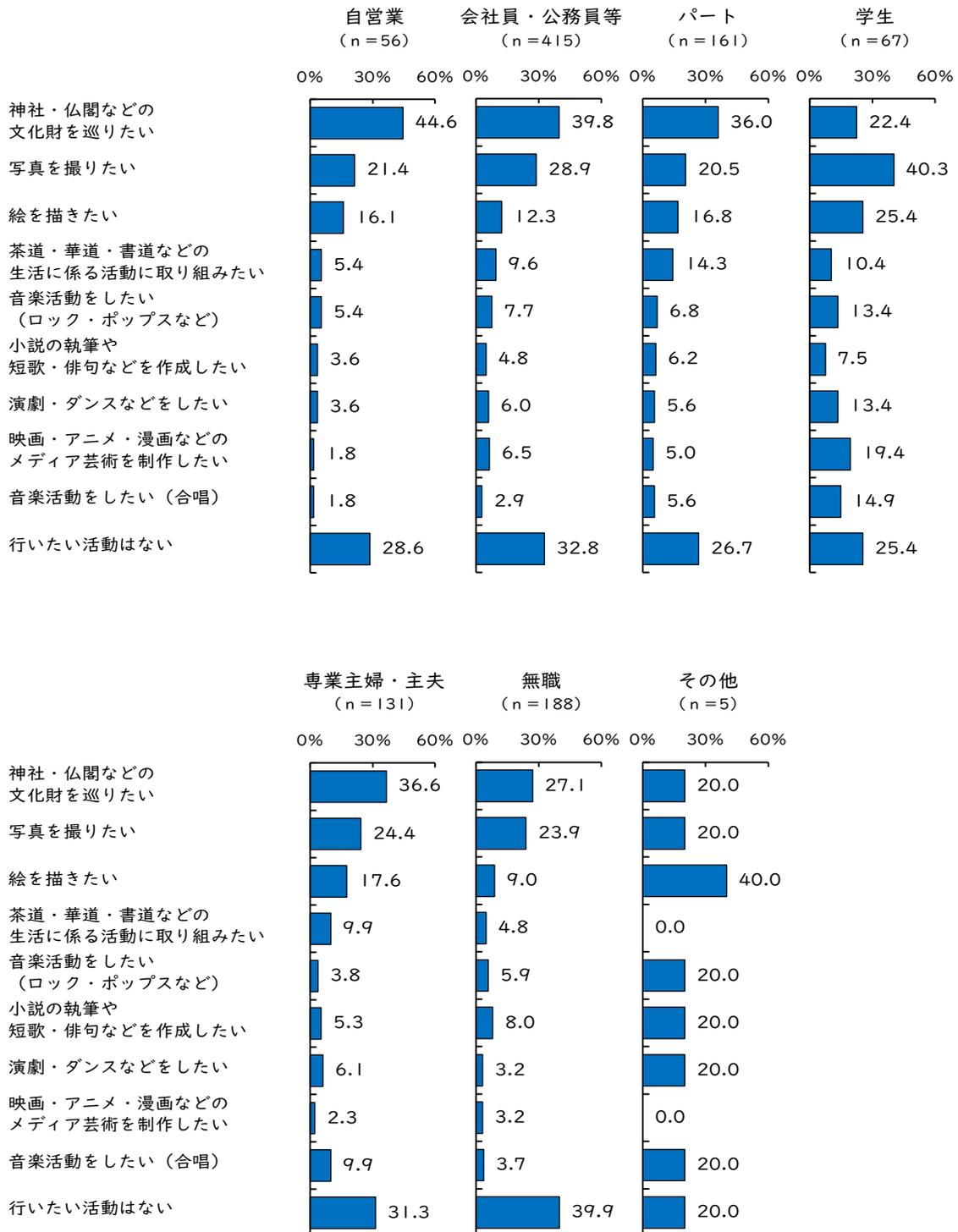
性別で見ると、男性において「行いたい活動はない」などが女性より多く、女性において「神社・仏閣などの文化財を巡りたい」、「絵を描きたい」、「茶道・華道・書道などの生活に係る活動に取り組みたい」、「演劇・ダンスなどをしたい」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



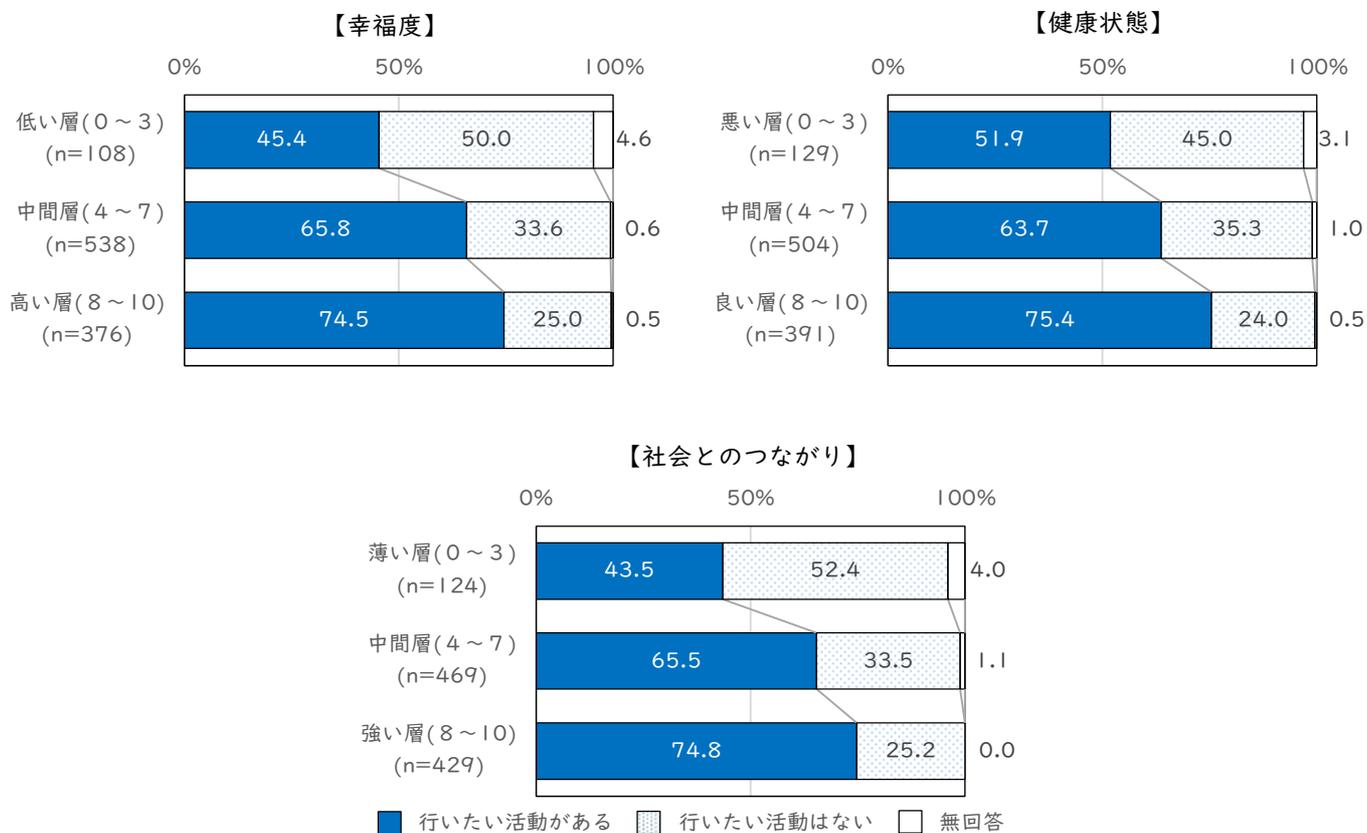
年代別で見ると、年代が高くなるほど「写真を撮りたい」、「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術を制作したい」が少なくなる傾向がみられます。また、15～19歳において「絵を描きたい」、「音楽活動をしたい（ロック・ポップスなど）」、「音楽活動をしたい（合唱）」などが他の年代より多く、「神社・仏閣などの文化財を巡りたい」が2割を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



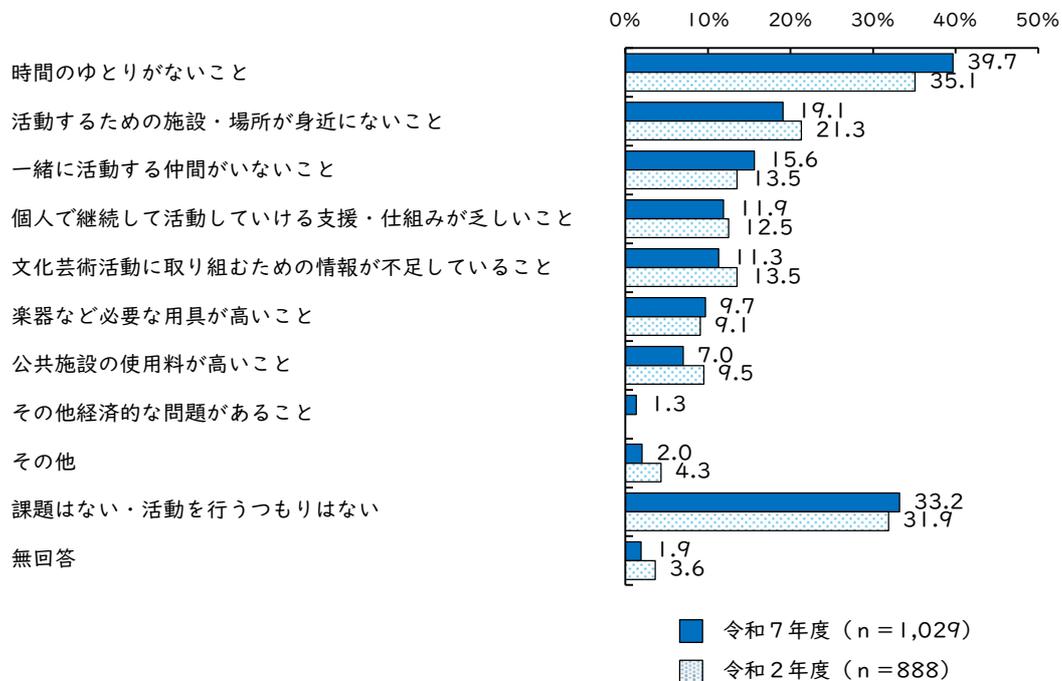
職業別でみると、自営業において「神社・仏閣などの文化財を巡りたい」が4割を超えて他の職業より多く、学生において「写真を撮りたい」、「絵を描きたい」、「映画・アニメ・漫画などのメディア芸術を制作したい」などが他の職業より多くなっています。

《幸福度別 / 健康状態別 / 社会とのつながり別》



ウェルビーイング (well-being) の3要素との関係を見ると、いずれの要素においても、数値が高い層ほど「行いたい活動がある」が多くなっており、正の相関関係が顕著に見られます。

Q7 あなたが、文化芸術に関する活動をこれから始める、または、現在行っている上での課題はどのようなことですか。（複数回答可：3つまで）

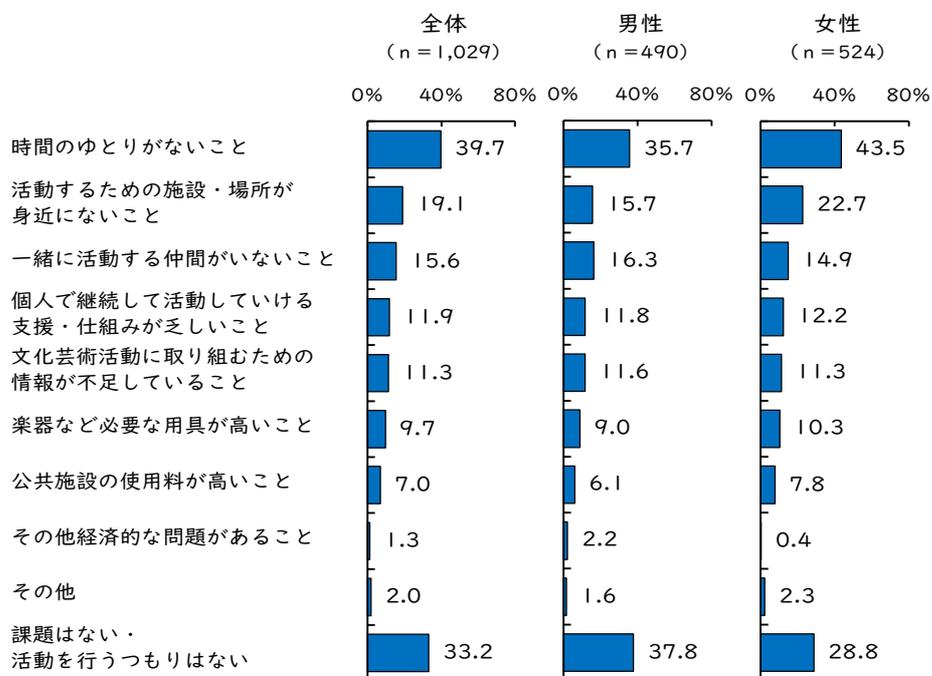


※「その他経済的な問題があること」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢です。

文化芸術に関する活動をこれから始める、または、現在行っている上での課題は、「時間のゆとりがないこと」が39.7%と最も多く、次いで「課題はない・活動を行うつもりはない」が33.2%、「活動するための施設・場所が身近にないこと」が19.1%などとなっています。

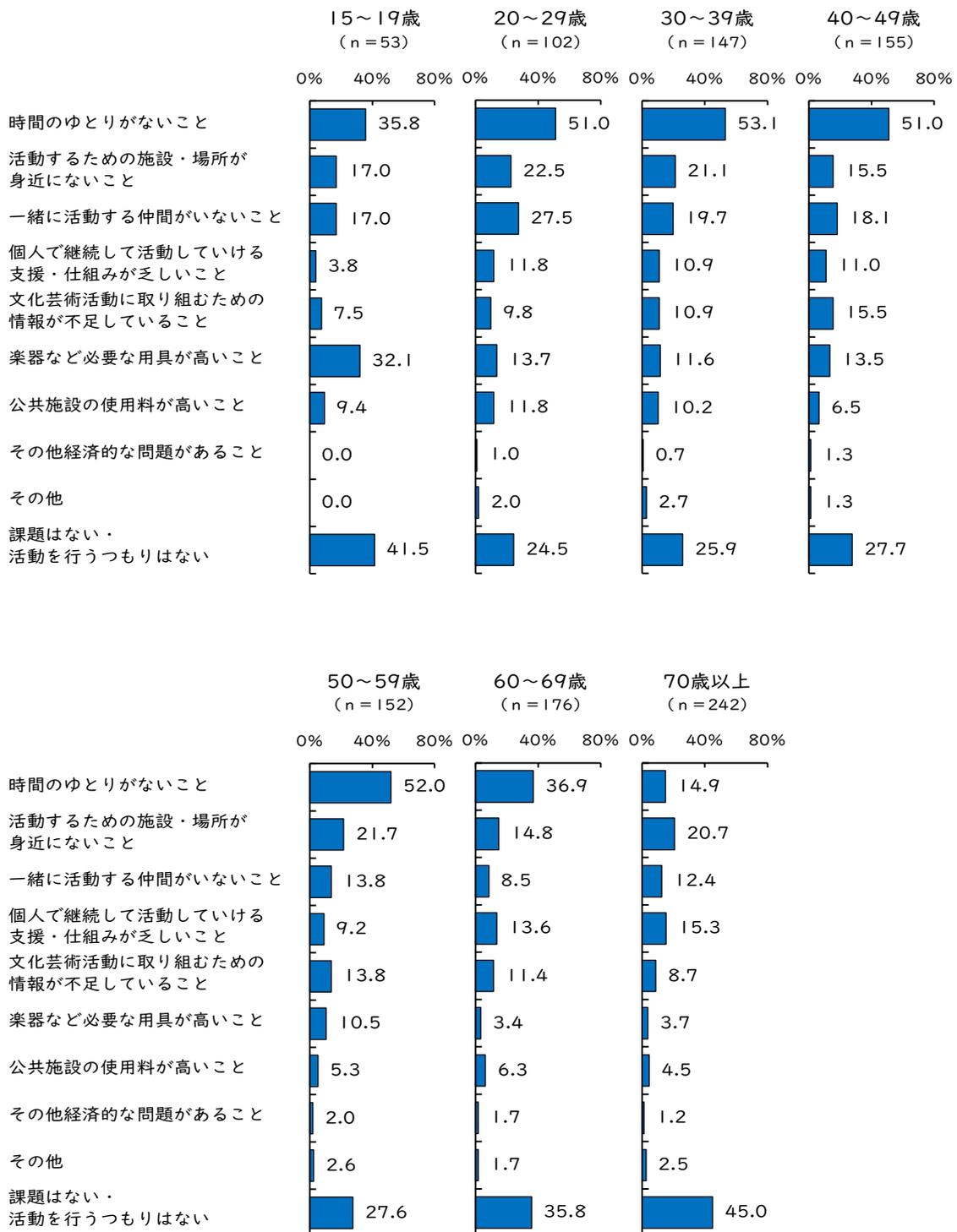
経年比較すると、大きな差異はみられません。

《全体・性別》（無回答を除く全項目）



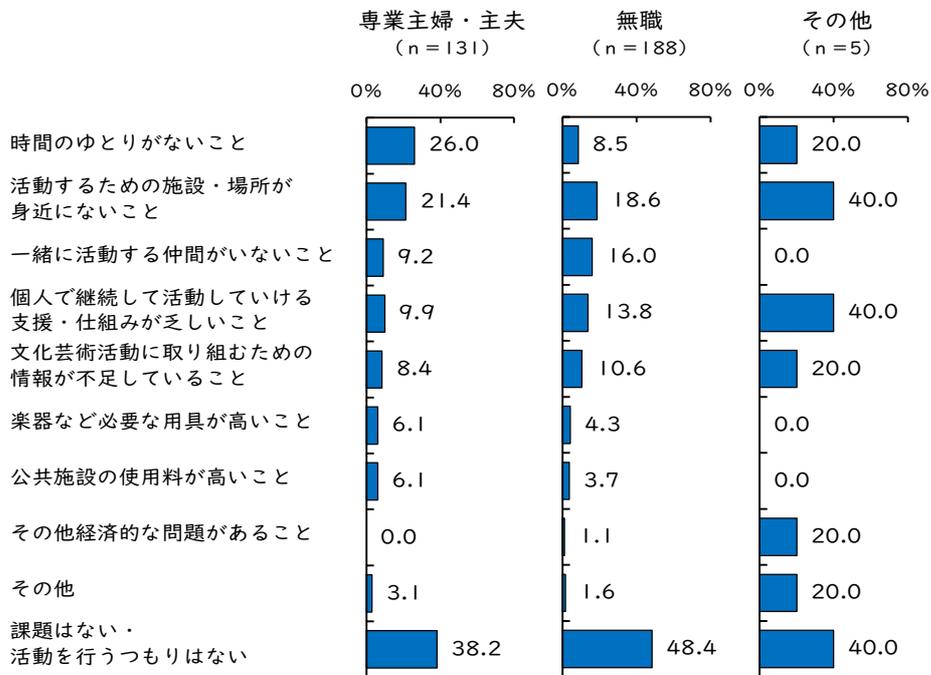
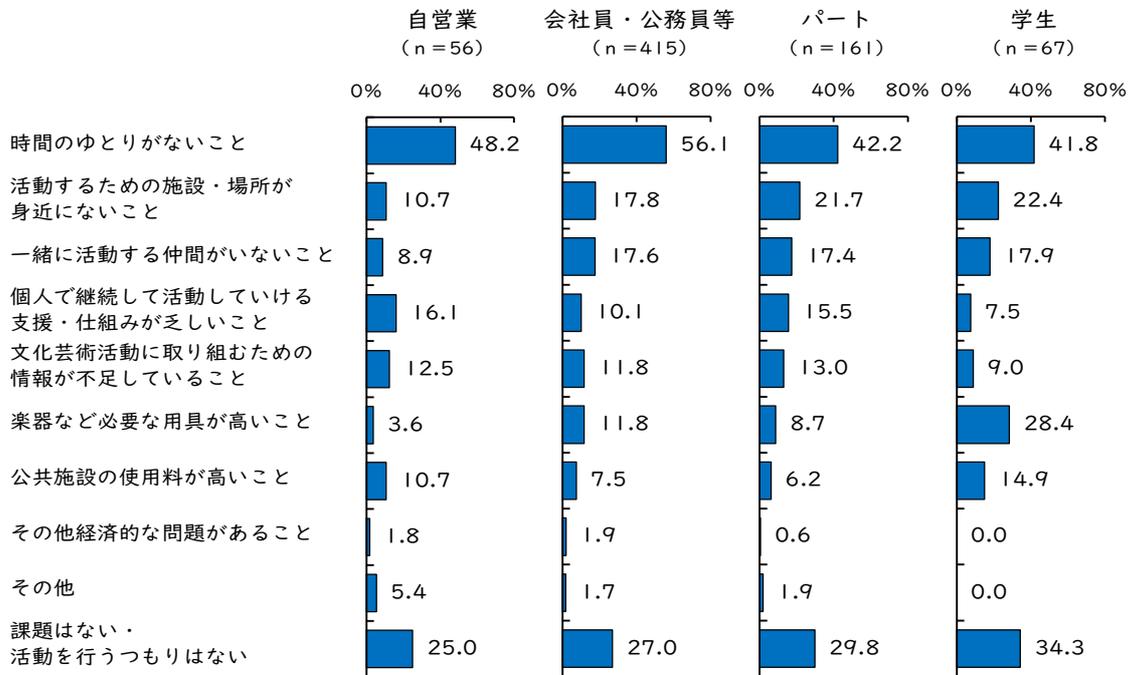
性別で見ると、男性において「課題はない・活動を行うつもりはない」などが女性より多く、女性において「時間のゆとりがないこと」、「活動するための施設・場所が身近にないこと」などが男性より多くなっています。

《年代別》（無回答を除く全項目）



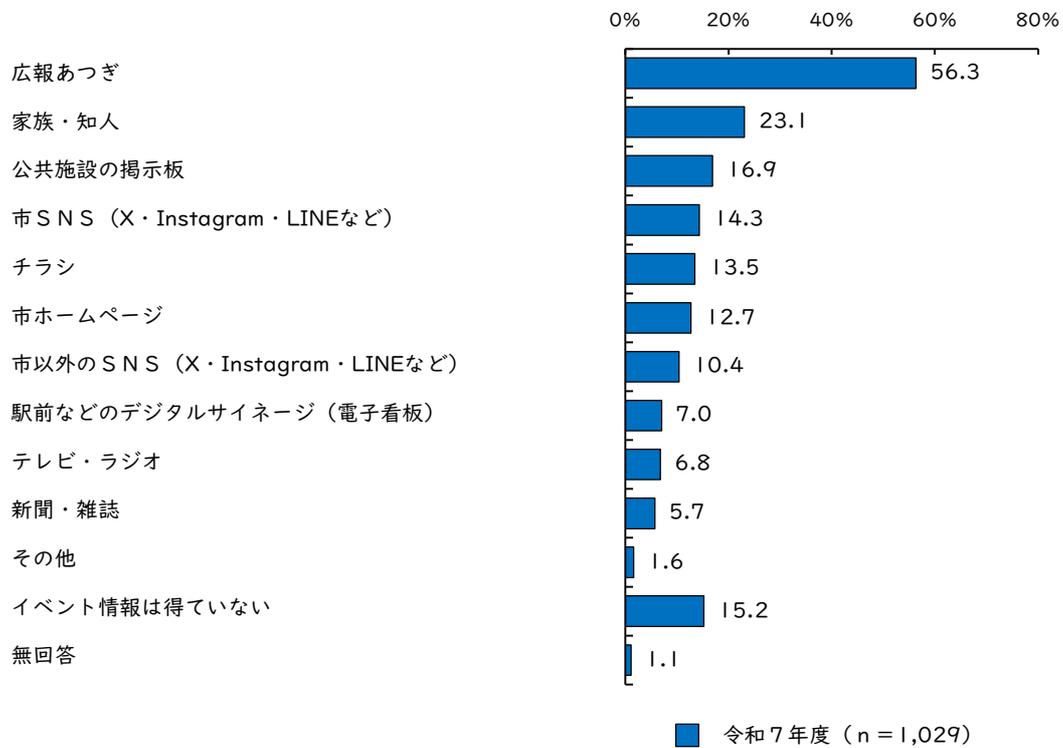
年代別でみると、15～19歳において「楽器など必要な用具が高いこと」が3割を超えて他の年代より多く、70歳以上において「時間のゆとりがないこと」が2割を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》（無回答を除く全項目）



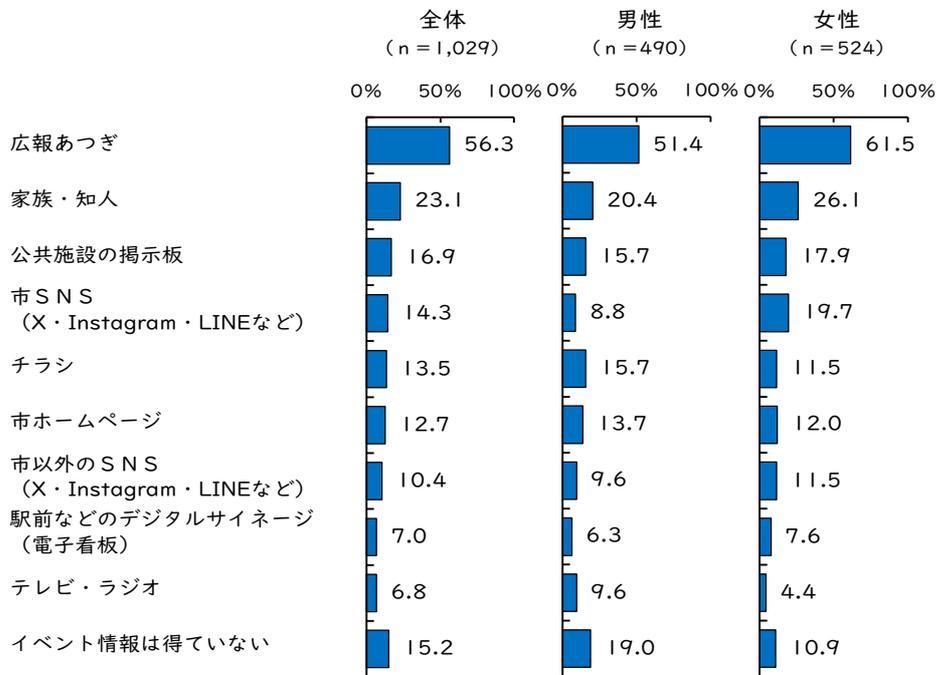
職業別でみると、学生において「楽器など必要な用具が高いこと」が2割を超えて他の職業より多く、無職において「時間のゆとりがないこと」が1割を下回って他の職業より少なくなっています。

Q8 あなたは、厚木市内で開催される文化芸術に関するイベント情報を、どこで得ていますか。（複数回答可：3つまで）



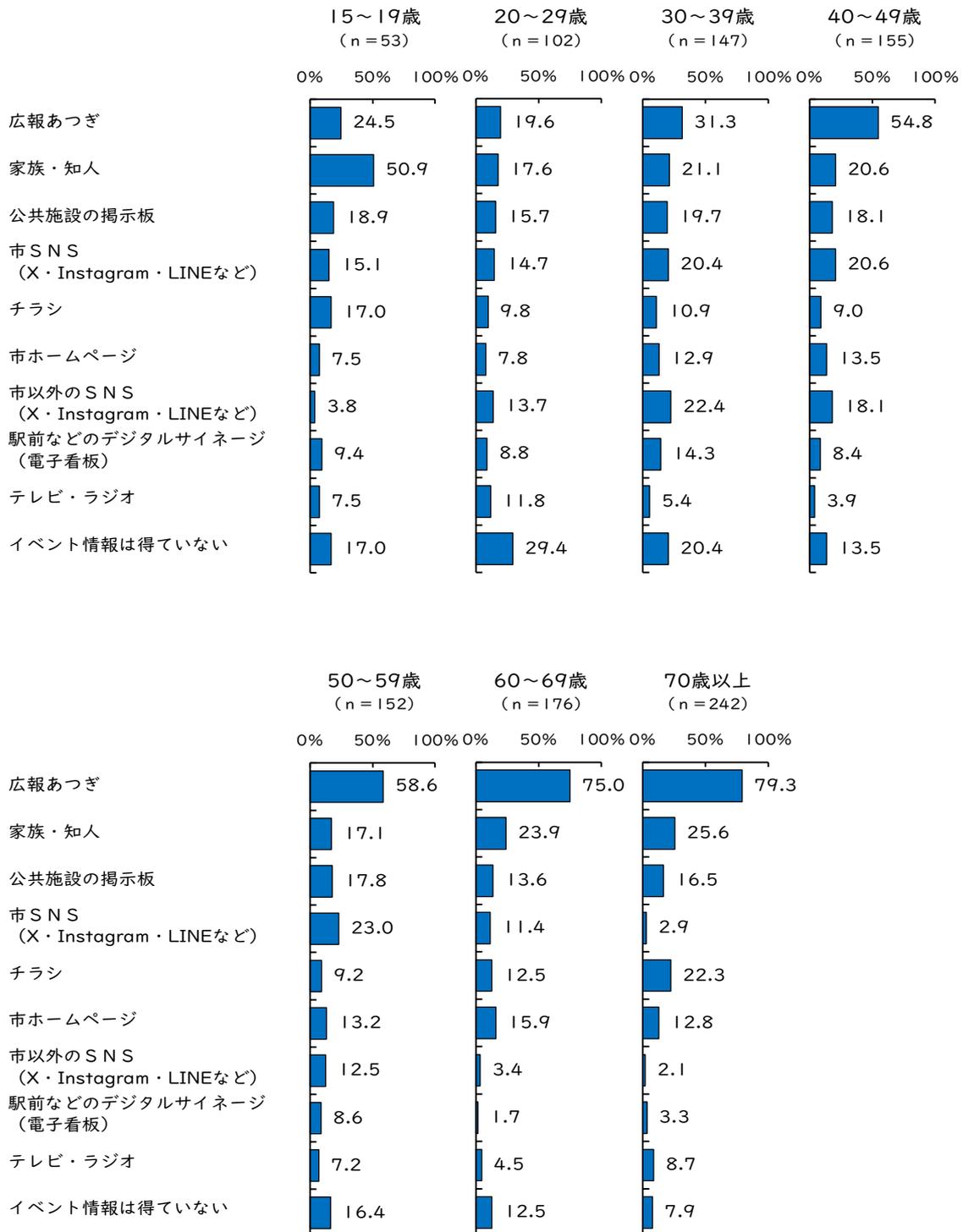
厚木市内で開催される文化芸術に関するイベント情報の入手手段は、「広報あつぎ」が56.3%と最も多く、次いで「家族・知人」が23.1%、「公共施設の掲示板」が16.9%などとなっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



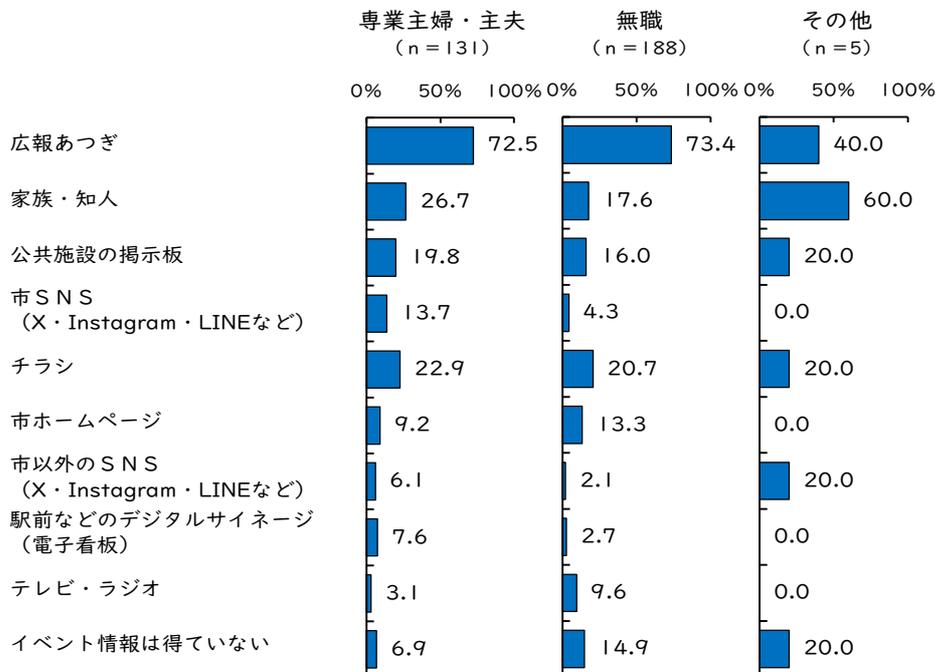
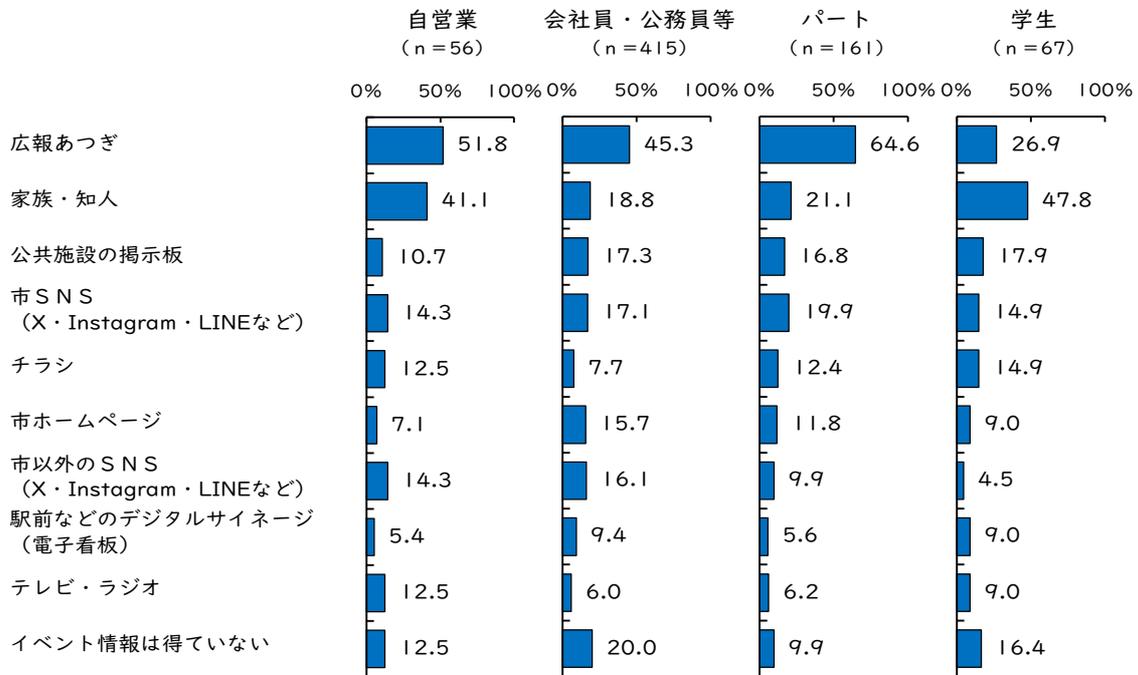
性別で見ると、男性において「テレビ・ラジオ」、「イベント情報は得ていない」などが女性より多く、女性において「広報あつぎ」、「市SNS (X・Instagram・LINEなど)」、「家族・知人」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



年代別でみると、15～19歳において「家族・知人」が半数を超えて他の年代より多く、20～29歳において「広報あつぎ」が2割を下回って他の年代より少なくなっています。

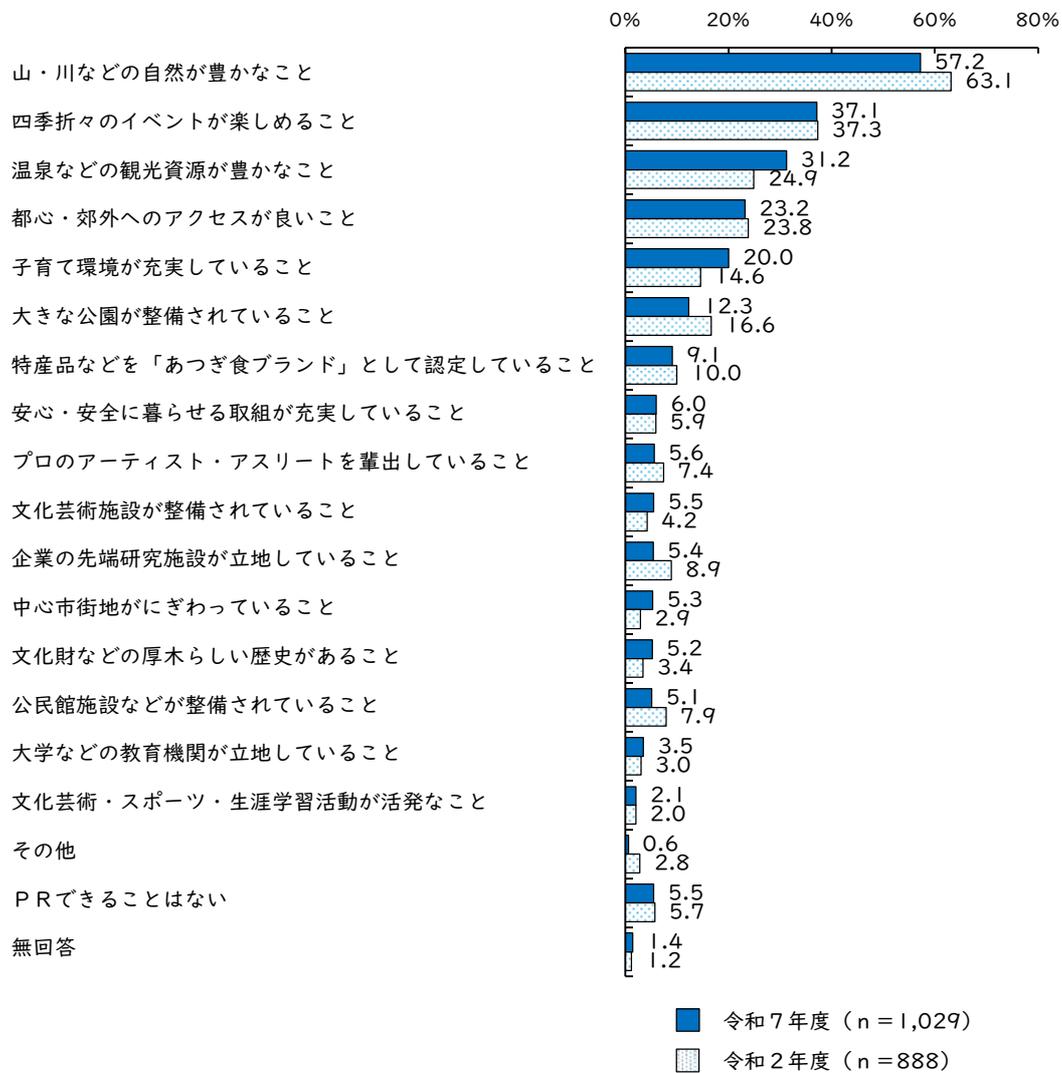
《職業別》（上位10項目のみ）



職業別でみると、自営業、学生において「家族・知人」が4割を超えて他の職業より多く、学生において「広報あつぎ」が3割を下回って他の職業より少なくなっています。

Q9 あなたは、厚木市はどのようなことをPRできると思いますか。

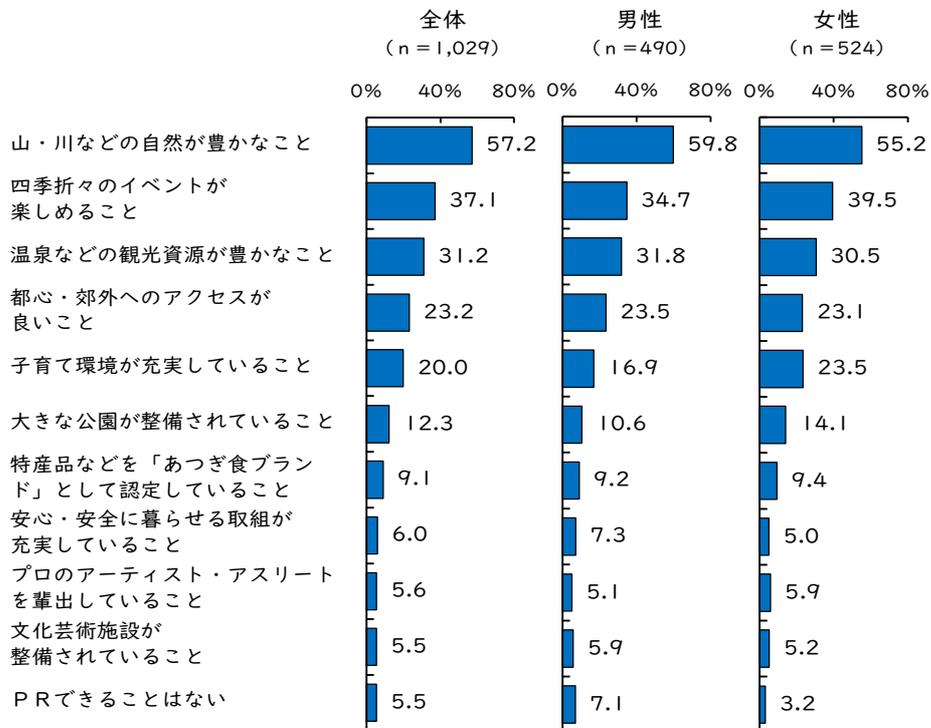
（複数回答可：3つまで）



厚木市がPRできることは、「山・川などの自然が豊かなこと」が57.2%と最も多く、次いで「四季折々のイベントが楽しめること」が37.1%、「温泉などの観光資源が豊かなこと」が31.2%などとなっています。

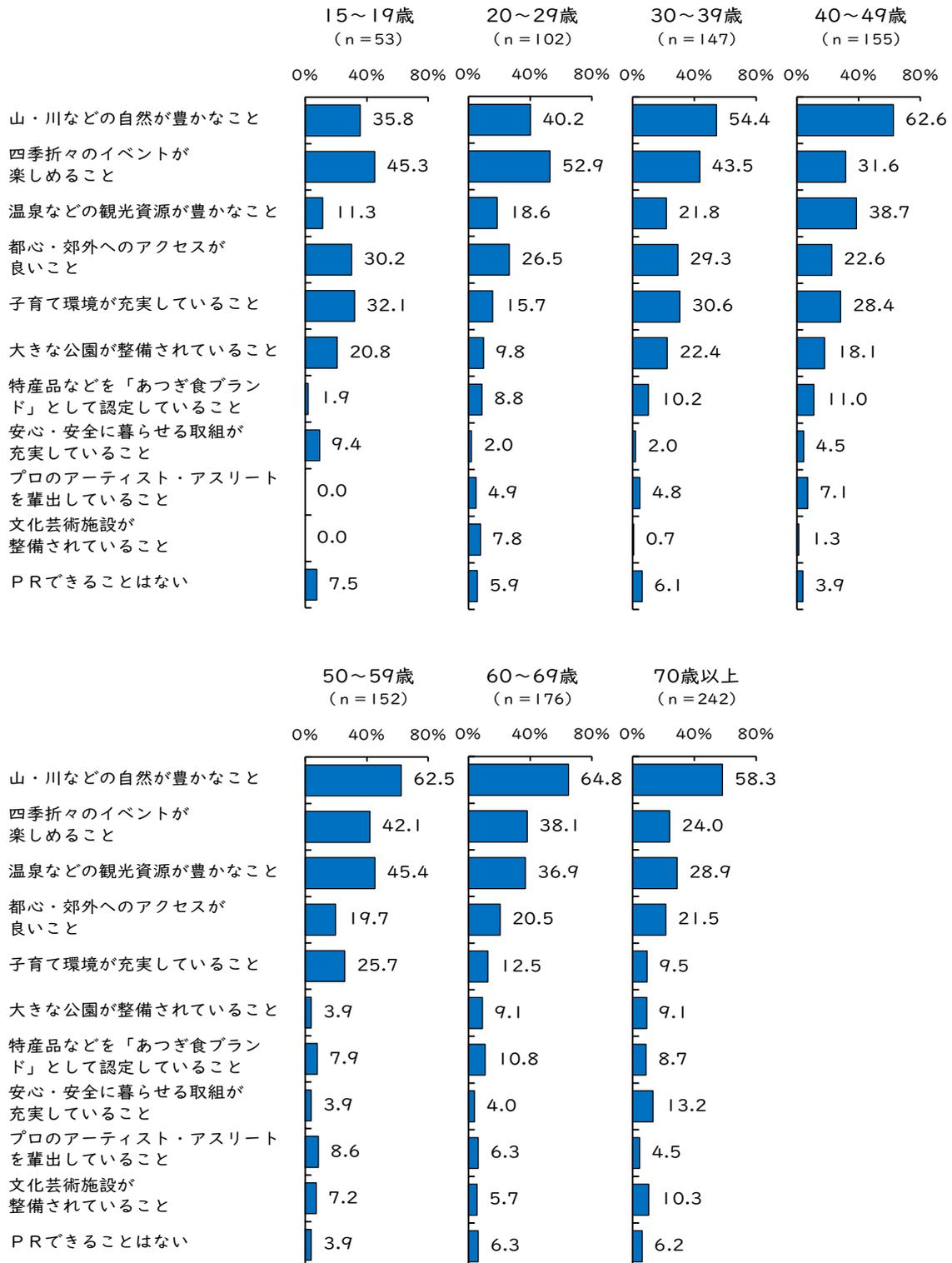
経年比較すると、令和7年度において「温泉などの観光資源が豊かなこと」、「子育て環境が充実していること」などが令和2年度より多く、「山・川などの自然が豊かなこと」などが令和2年度より少なくなっています。

《全体・性別》（上位11項目のみ）



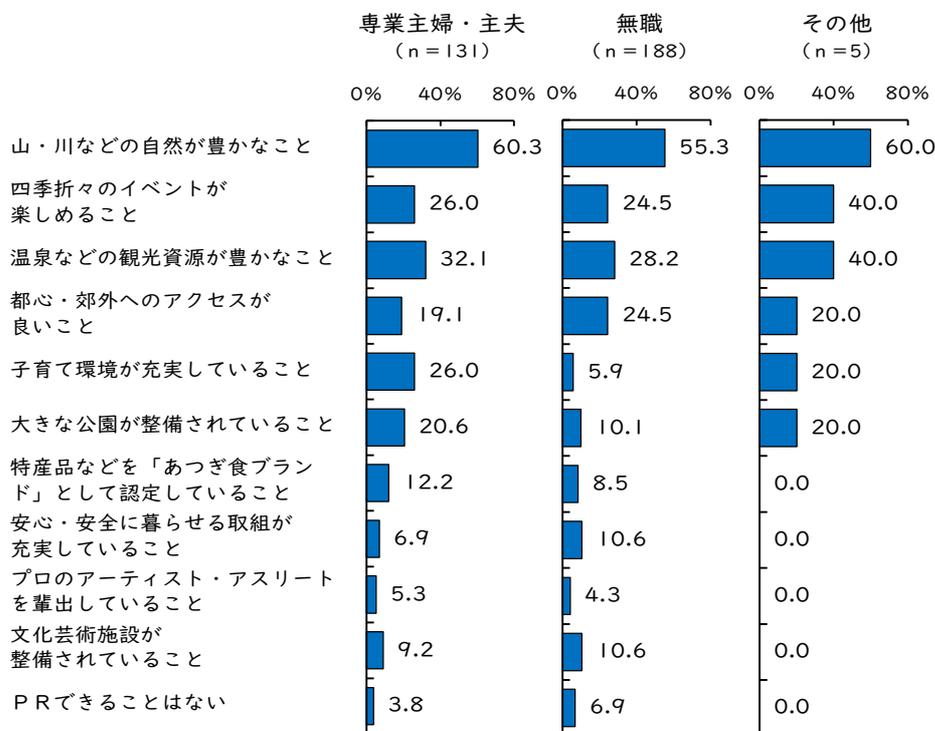
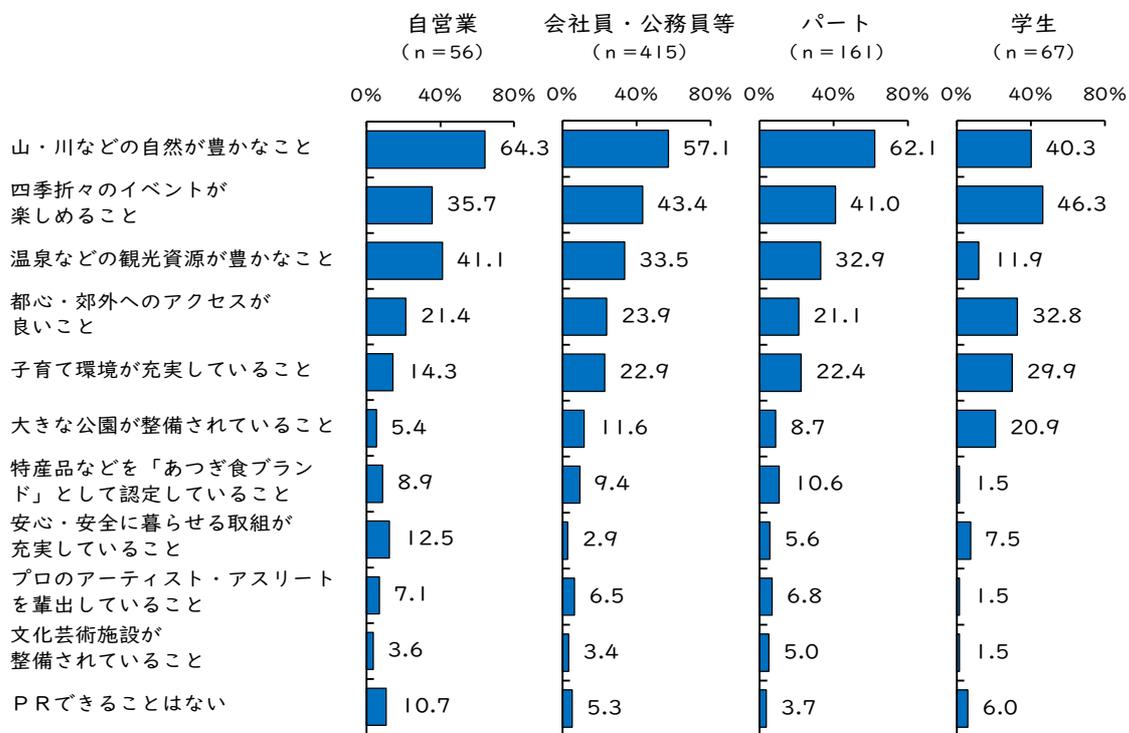
性別で見ると、女性において「子育て環境が充実していること」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位11項目のみ）



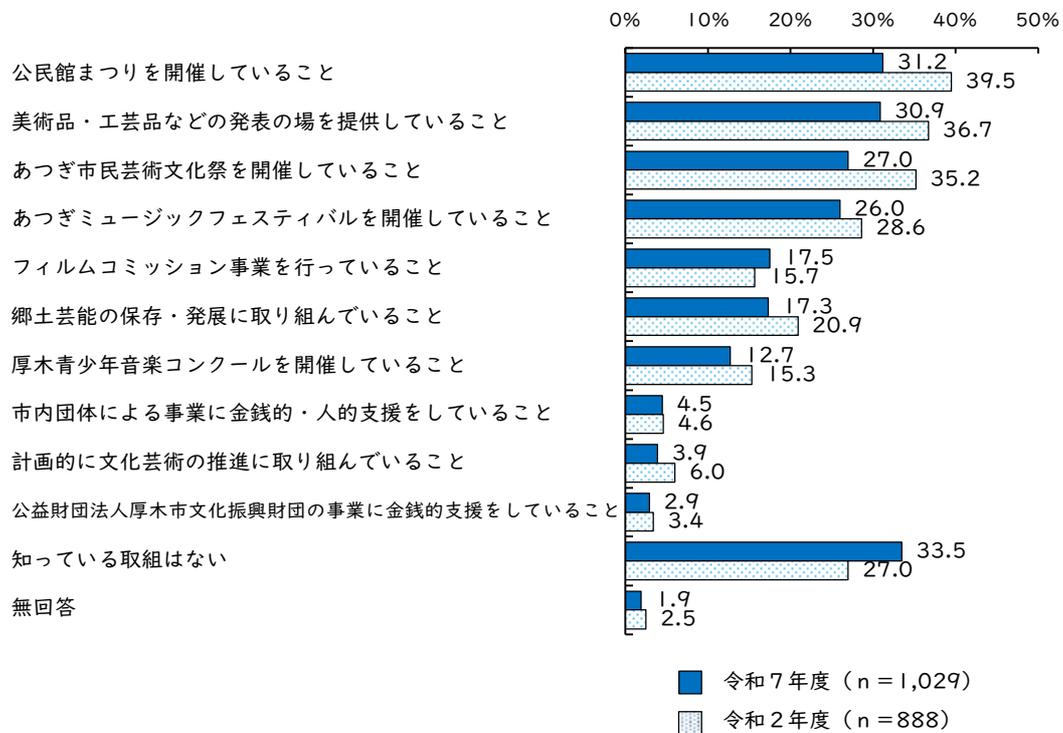
年代別で見ると、15～19歳において「山・川などの自然が豊かなこと」が4割を下回って他の年代より少なく、50～59歳において「温泉などの観光資源が豊かなこと」が4割を超えて他の年代より多くなっています。

《職業別》（上位11項目のみ）



職業別で見ると、学生において「山・川などの自然が豊かなこと」、「温泉などの観光資源が豊かなこと」などが他の職業より少なく、無職において「子育て環境が充実していること」などが1割を下回って他の職業より少なくなっています。

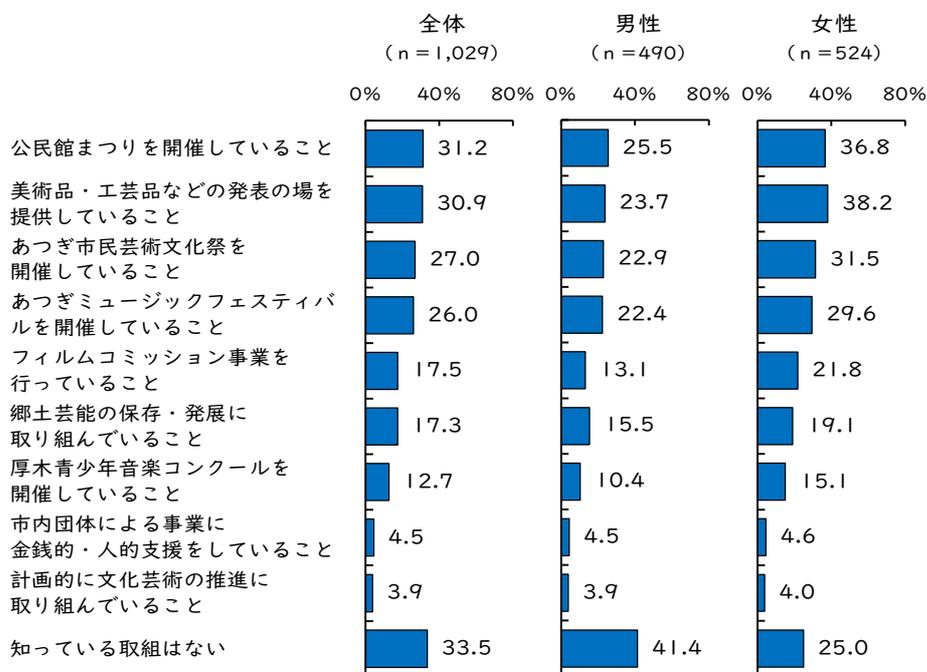
Q10 厚木市で行われている文化芸術に関する取組のうち、あなたはどの取組を知っていますか。（複数回答可）



厚木市で行われている文化芸術に関する取組について、「知っている取組はない」が33.5%と最も多く、次いで「公民館まつりを開催していること」が31.2%、「美術品・工芸品などの発表の場を提供していること」が30.9%などとなっています。

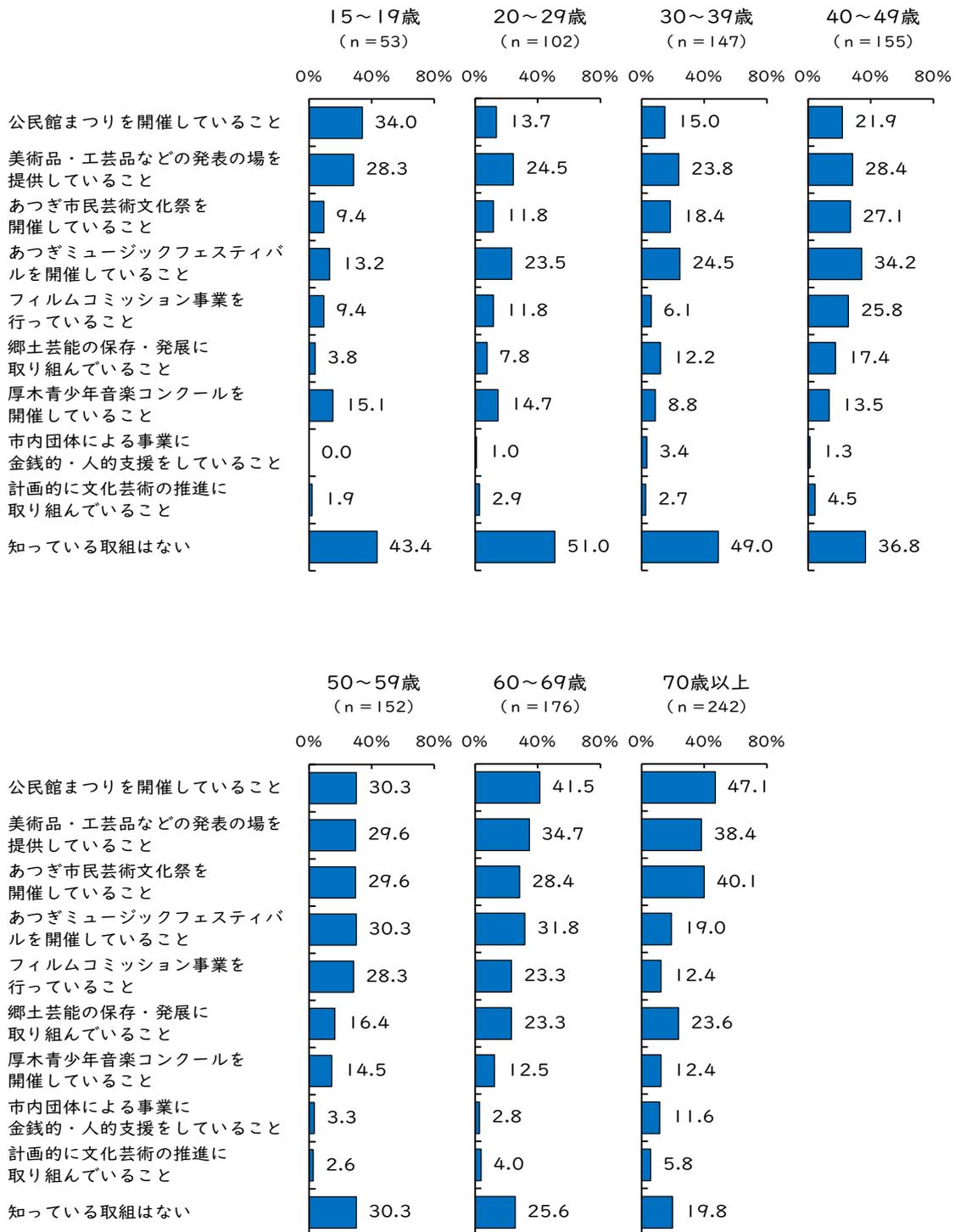
経年比較すると、「フィルムコミッション事業を行っている」以外は、令和2年度よりも認知度が低下しており、「知っている取組はない」が多くなっています。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



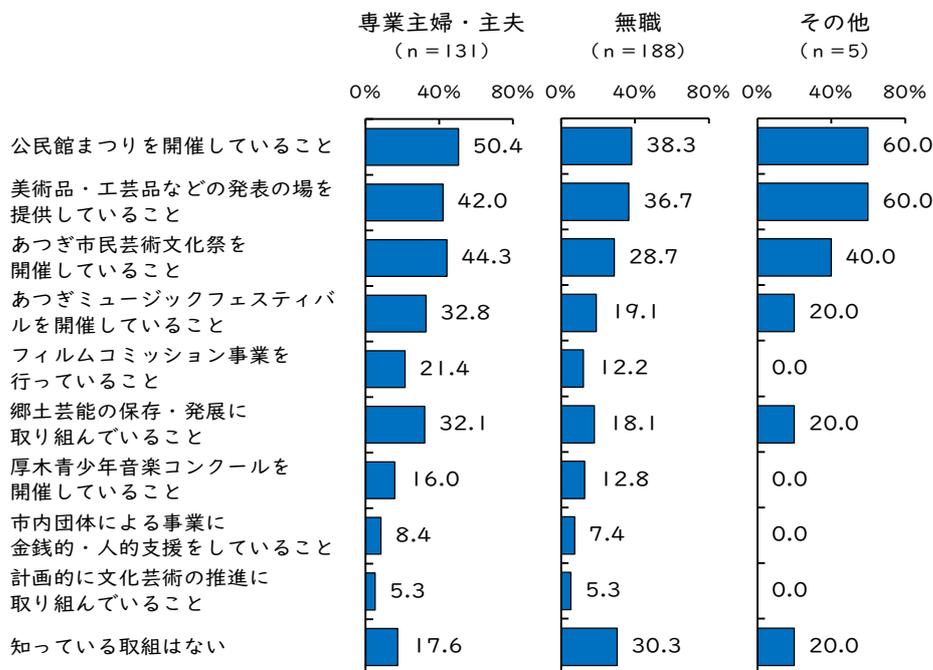
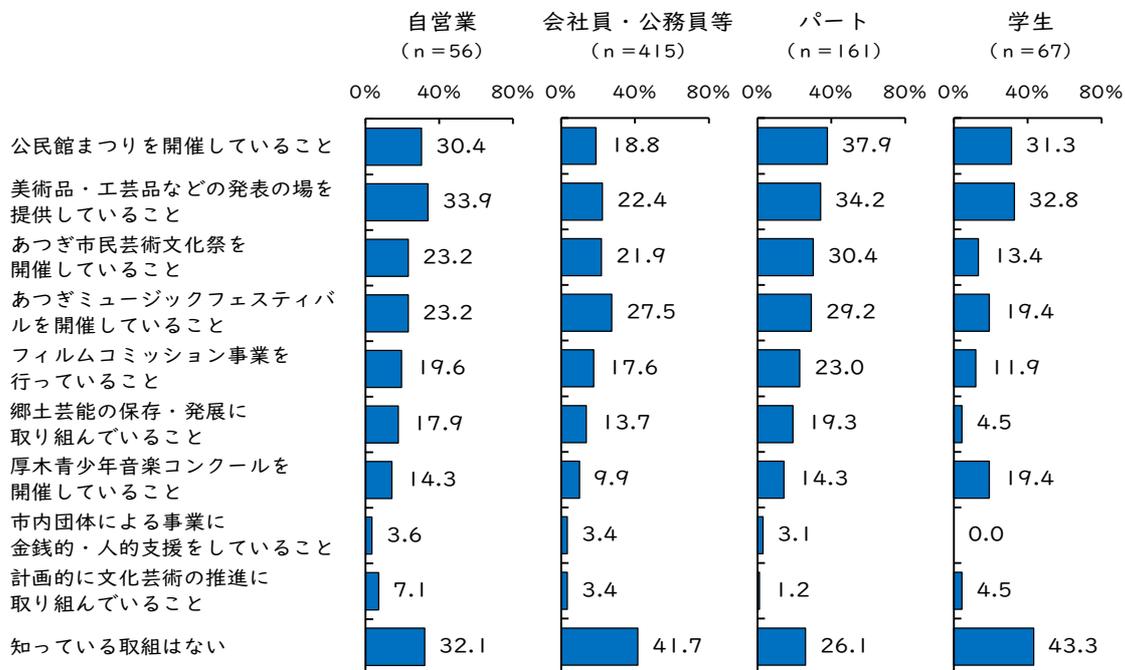
性別で見ると、男性において「知っている取組はない」が女性より多く、女性において「公民館まつりを開催していること」、「美術品・工芸品などの発表の場を提供していること」、「あつぎ市民芸術文化祭を開催していること」、「あつぎミュージックフェスティバルを開催していること」、「フィルムコミッション事業を行っていること」などが男性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



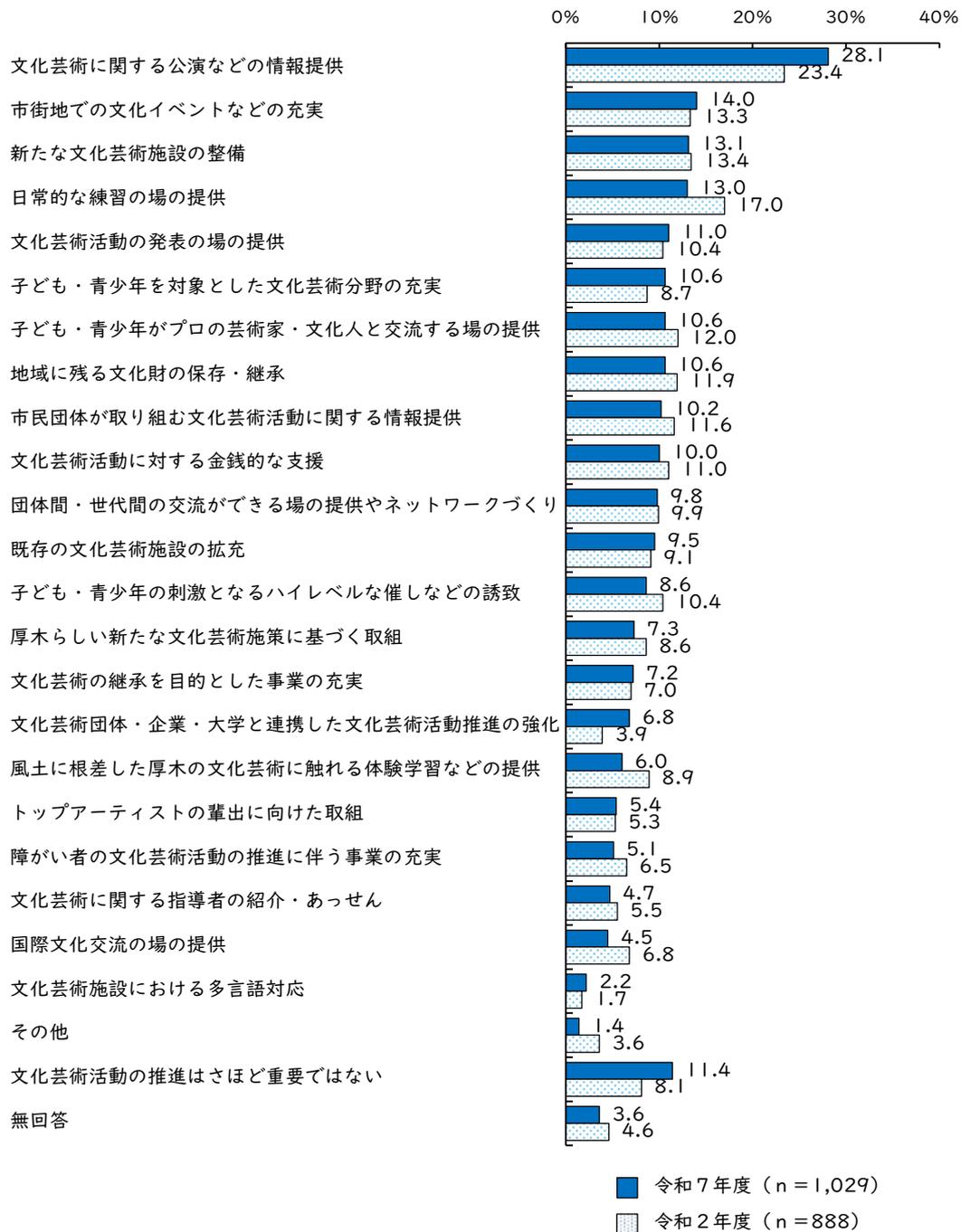
年代別でみると、20～29歳において「知っている取組はない」が半数を超えて他の年代より多く、20～39歳において「公民館まつりを開催していること」が2割を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



職業別で見ると、専業主婦・主夫において「公民館まつりを開催していること」、「美術品・工芸品などの発表の場を提供していること」、「あつぎ市民芸術文化祭を開催していること」、「あつぎミュージックフェスティバルを開催していること」、「郷土芸能の保存・発展に取り組んでいること」などが他の職業より多く、「知っている取組はない」が2割を下回って他の職業より少なくなっています。

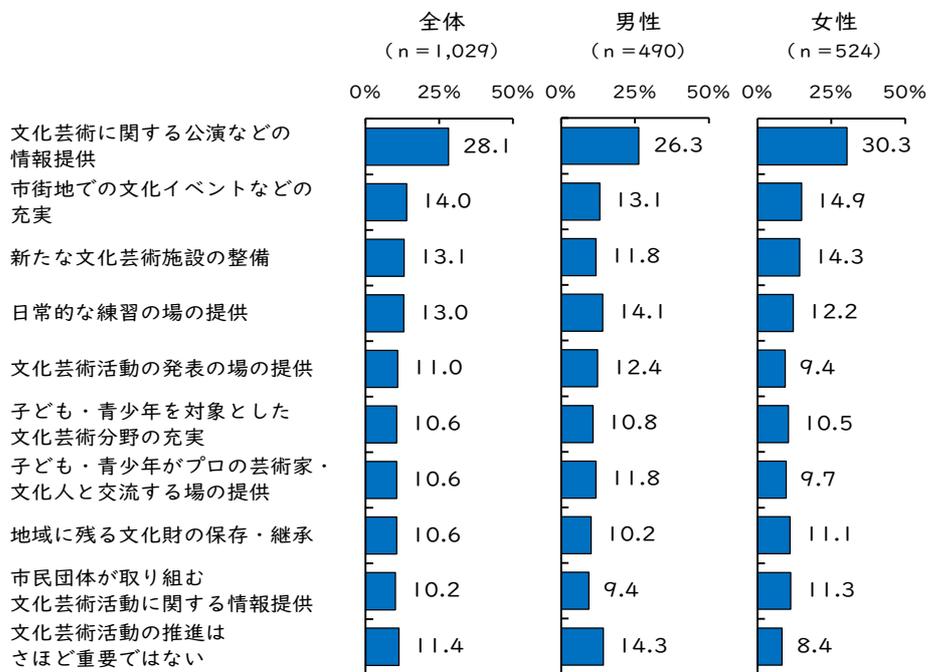
Q11 あなたは、文化芸術のまちづくりを進めるために、厚木市行政にはどのようなことが求められると思いますか。（複数回答可：3つまで）



文化芸術のまちづくりを進めるために厚木市行政に求められると思うことは、「文化芸術に関する公演などの情報提供」が 28.1%と最も多く、次いで「市街地での文化イベントなどの充実」が 14.0%、「新たな文化芸術施設の整備」が 13.1%などとなっています。

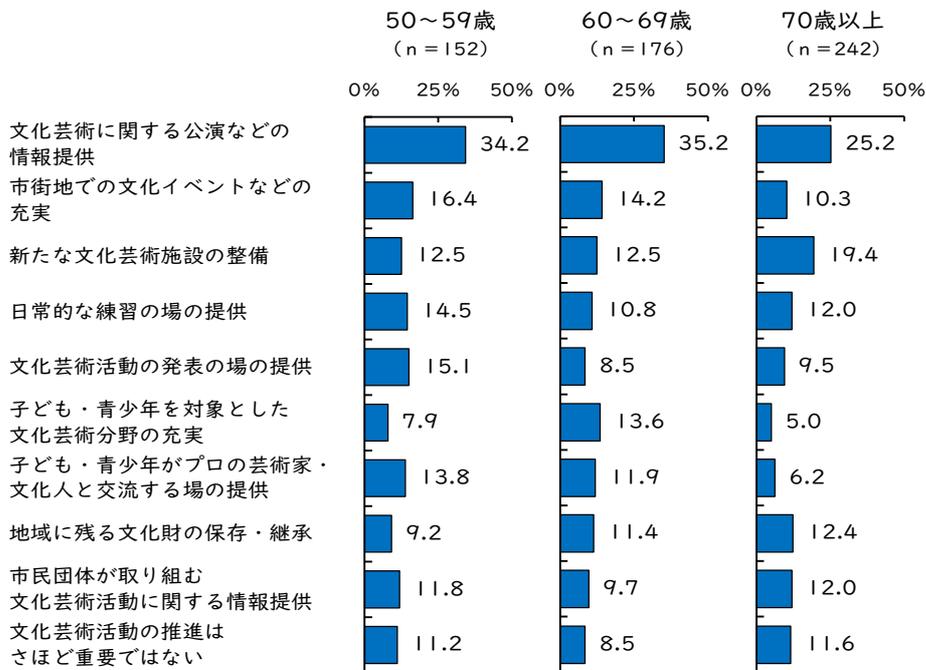
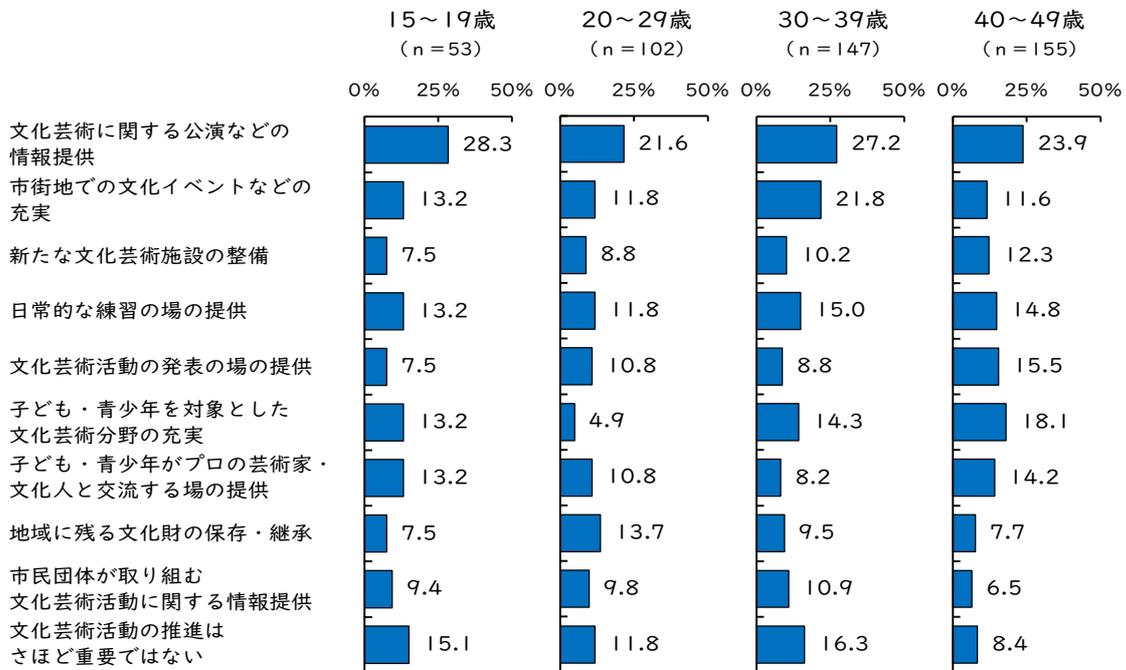
経年比較すると、大きな差異はみられません。

《全体・性別》（上位10項目のみ）



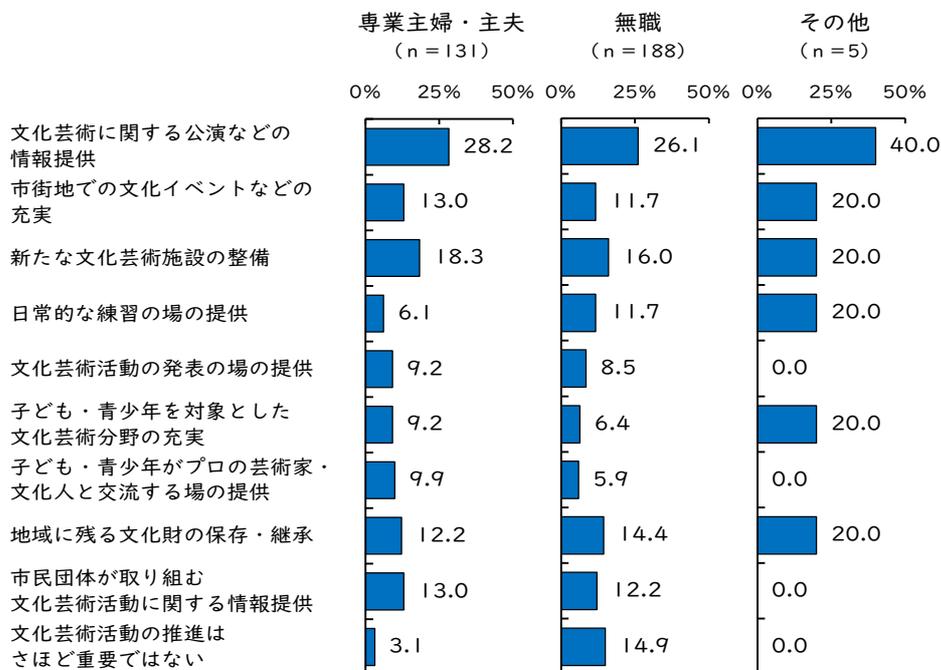
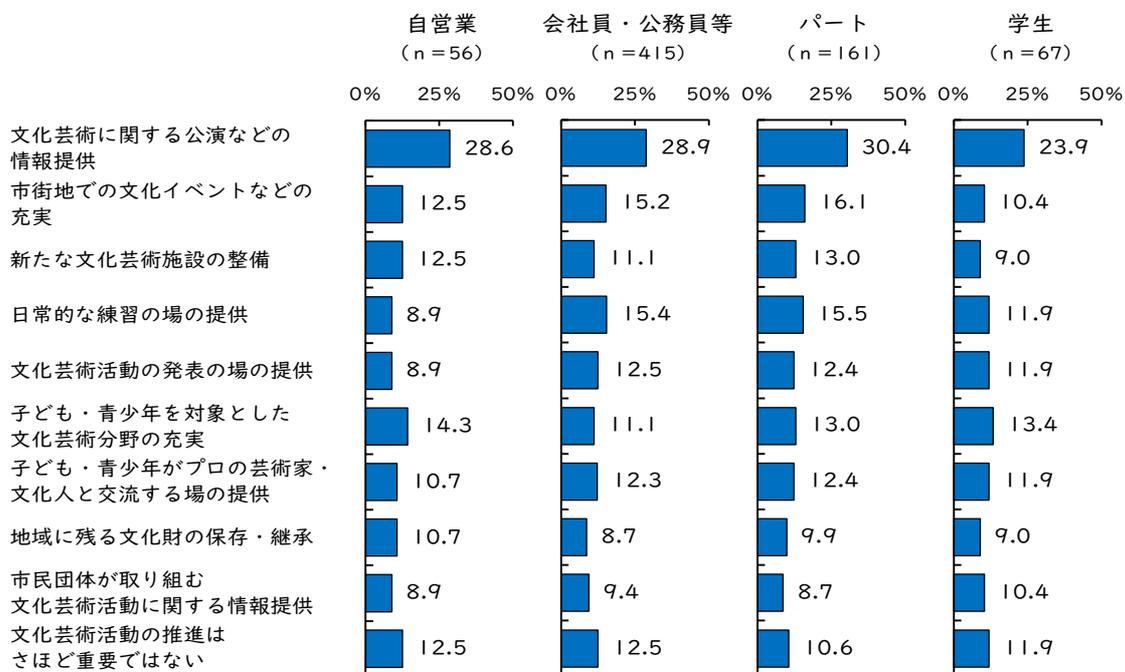
性別で見ると、男性において「文化芸術活動の推進はさほど重要ではない」などが女性より多くなっています。

《年代別》（上位10項目のみ）



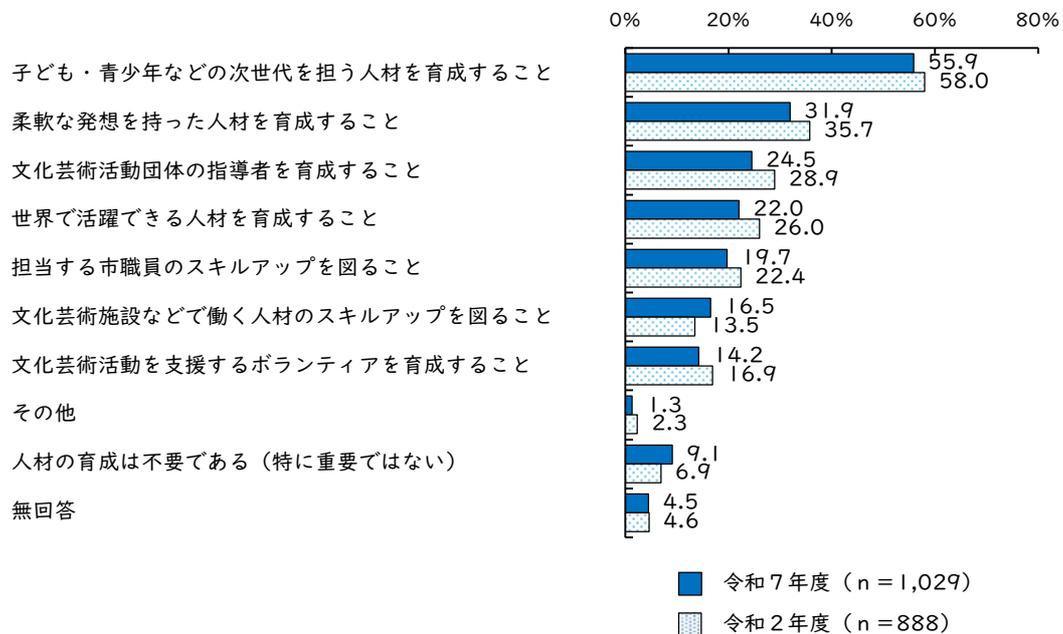
年代別でみると、20～29歳、50～59歳、70歳以上において「子ども・青少年を対象とした文化芸術分野の充実」が1割を下回って他の年代より少なく、50～59歳において「文化芸術に関する公演などの情報提供」が3割を超えて他の年代より多くなっています。

《職業別》（上位10項目のみ）



職業別でみると、自営業、専業主婦・主夫において「日常的な練習の場の提供」などが1割を下回って他の職業より少なく、専業主婦・主夫において「文化芸術活動の推進はさほど重要ではない」などが1割を下回って他の職業より少なくなっています。

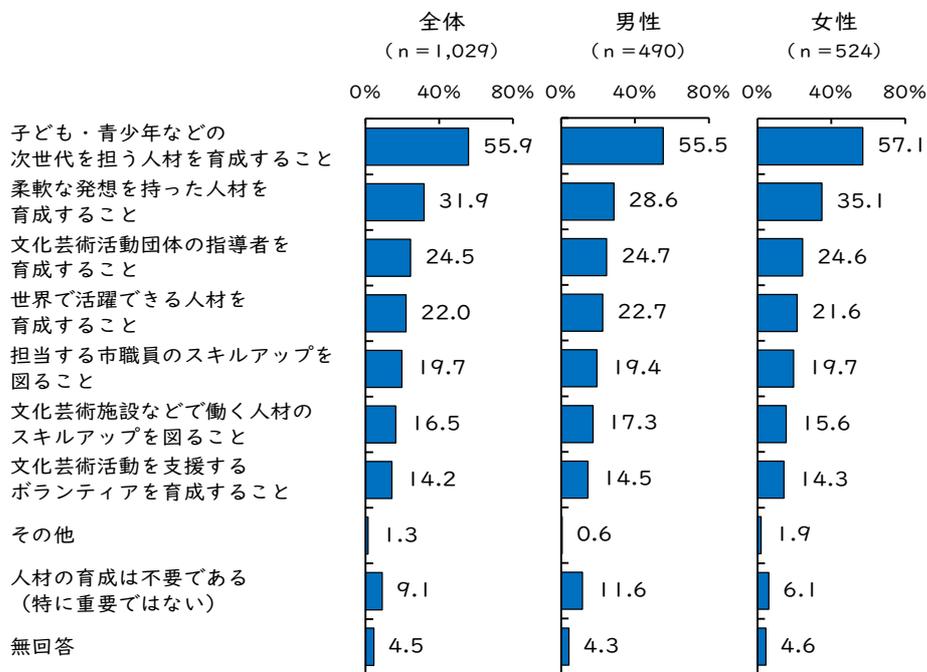
Q12 あなたは、厚木市の文化芸術活動を発展させるために、どのような人材の育成が必要だと思いますか。（複数回答可：3つまで）



厚木市の文化芸術活動の発展のために必要だと思う人材育成は、「子ども・青少年などの次世代を担う人材を育成すること」が55.9%と最も多く、次いで「柔軟な発想を持った人材を育成すること」が31.9%、「文化芸術活動団体の指導者を育成すること」が24.5%などとなっています。

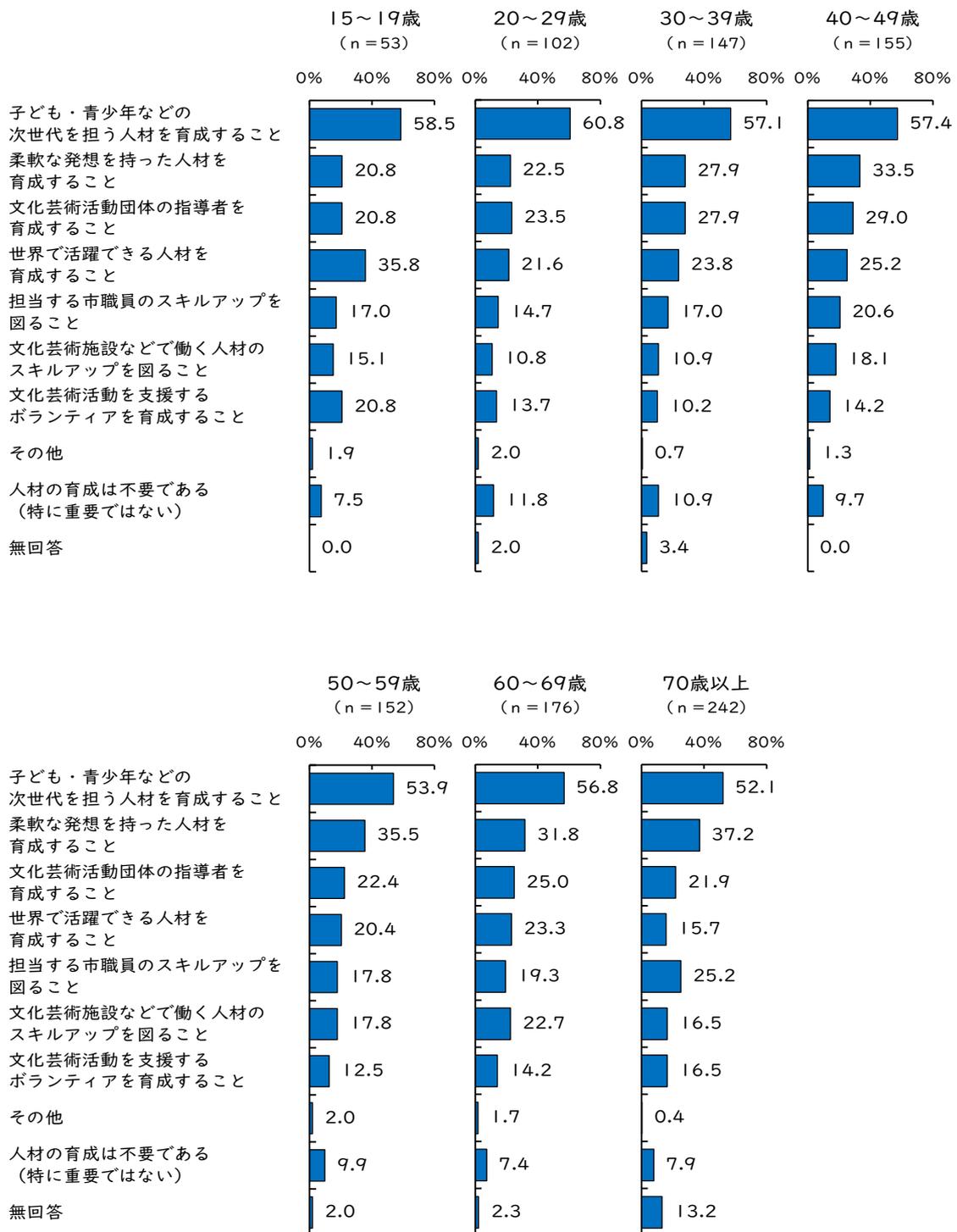
経年比較すると、大きな差異はみられません。

《全体・性別》



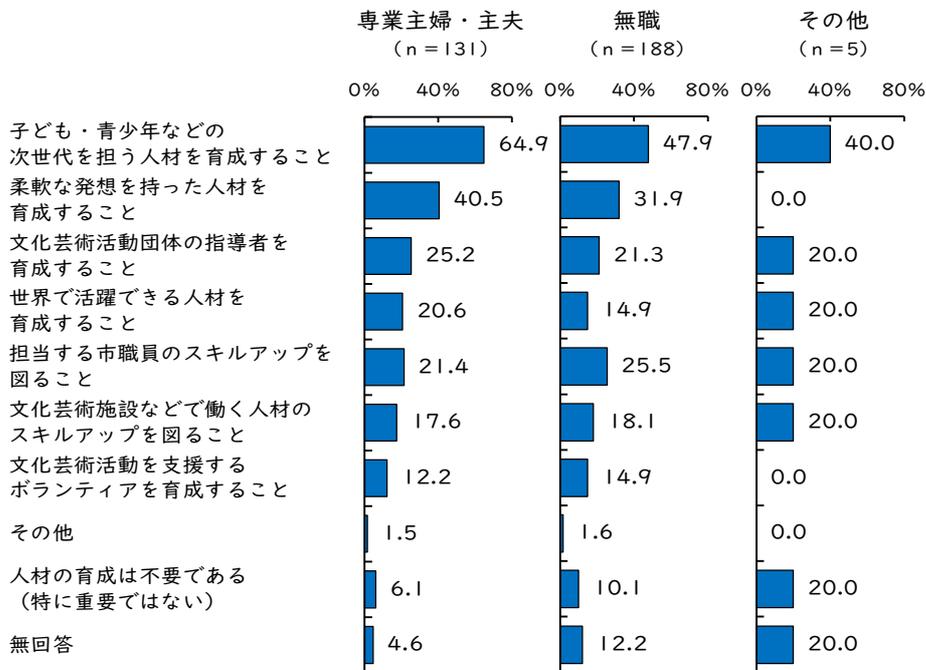
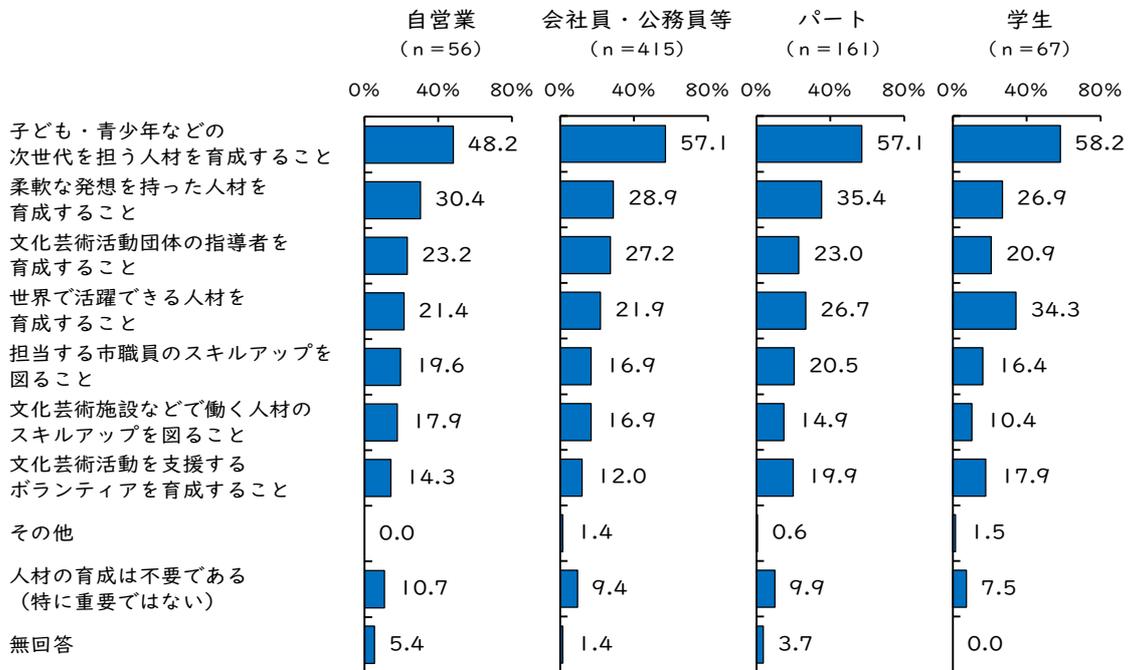
性別で見ると、男性において「人材の育成は不要である（特に重要ではない）」などが女性より多く、女性において「柔軟な発想を持った人材を育成すること」などが男性より多くなっています。

《年代別》



年代別でみると、15～19歳において「世界で活躍できる人材を育成すること」が3割を超えて他の年代より多く、40歳未満において「柔軟な発想を持った人材を育成すること」が3割を下回って他の年代より少なくなっています。

《職業別》



職業別でみると、学生において「世界で活躍できる人材を育成すること」が3割を超えて他の職業より多く、専業主婦・主夫において「子ども・青少年などの次世代を担う人材を育成すること」、「柔軟な発想を持った人材を育成すること」が他の職業より多くなっています。

Q13 あなたは、文化芸術活動への取組はなぜ必要だと思いますか。（自由意見）

分類名	件数
01. 心や人生を豊かにするため、幸福度を高めるため	88
02. 厚木市の活性化や発展、魅力向上のため	36
03. 創造性や感性を育むため、人間として成長するため、人格を形成するため	31
04. 次世代への継承や教育のため	22
05. 生活を豊かにするため	21
06. 生きがいの創出のため、生きる楽しみのため	21
07. まちづくりのため	21
08. 厚木市をPRするため、認知度向上のため	17
09. 子ども・若者の将来ため	12
10. 人と人との交流のため	12
11. 健康のため、癒しのため	11
12. インターネット社会であるため	9
13. 生きていくために必要であるため	7
14. 人材の発掘・育成のため	3
15. ふるさとへの愛着を持たせるため	3
16. 自己表現のため	3
17. その他文化芸術活動について	35
18. 必要ない・興味がない	21
19. その他	11
総 計	384

自由意見（抜粋）

01. 心や人生を豊かにするため、幸福度を高めるため

- ・ 芸術は、正解のない精神活動だと思います。生活が豊かになって幸福度が向上するので、文化芸術活動への取組は必要不可欠だと思います。
- ・ 文化芸術活動への取組は、我々の人生を豊かにします。地域社会において人間関係を深めるために必要だと思います。
- ・ 豊かな感性を身に付けることで、人生がより豊かになると考えるため。
- ・ 人には心の豊かさや優しさ、想像力が必要だと思います。文化芸術活動によって、少しでも希望につながれば良いと思います。
- ・ 文化芸術活動は心を豊かにするとともに、癒しにもなります。厚木市が取り組むことで、市民の暮らしを彩り、豊かにします。その活動をもっと広く拡散することで、市外から来る人の流れをつくり、厚木市がより活性化すると思います。
- ・ 仕事等で疲れていても文化芸術に触れると癒されたり、心が豊かになったりするため。
- ・ 人生 100 年と言われる時代なので、穏やかに心豊かに過ごすことができる文化芸術は必要だと思います。
- ・ 文化芸術は、人生を豊かにしてくれると考えます。私にも、文化芸術は欠かせません。タイムパフォーマンスやコストパフォーマンス等といった効率の良さが重視されやすい時代だからこそ、時間やお金で測れない価値のある文化芸術を大切に守り、育てていきたいと思っています。
- ・ 心を豊かにしたり、物事を見る目や思考力、判断力を養ったりするために必要だと思います。
- ・ 昔から引き継がれてきたものや新しく生まれるもの等と関わりをもつことで、知見を広げたり、多様な表現に様々な印象を抱いたりして、人生がより豊かになるため。
- ・ 文化芸術活動は、人々の暮らしを豊かにする力があると思います。活動を通じて充実感や達成感、一体感、連帯感等を感じることは、人生を送る上でとても大切なことだと思います。
- ・ 人としての心の豊かさと今までと異なる価値観を見付ける。
- ・ 行政が文化振興を行う理由は、市民の暮らしの幸福度を上げるためではないでしょうか。余暇活動がない自治体は暮らしにくく、暗いイメージになると思います。
- ・ 昨年子どもが生まれたので、今は時間に余裕がない。それでも、文化芸術に触れる機会があれば安らぎを感じるし、心が豊かになる。
- ・ 人々の心を豊かにし、協調性や連帯感等を培うことができると思います。

02. 厚木市の活性化や発展、魅力向上のため

- ・ 魅力的なまちづくりが必須であり、その一面として重要だと思うため。
- ・ 町の活性化として必要だと思う。
- ・ 厚木市には美術館がなく、市民団体レベルでの文化芸術活動ぐらいいろくも行われていません。広い視野で文化芸術に関心をもつことで、地域の文化レベルが向上します。
- ・ 厚木市の将来の発展のため。少子化社会なので、厚木市から人口の流出を防ぐため。
- ・ 若者が転入してくる魅力的な厚木市にするため。
- ・ 経済や社会の活性化につながるため、必要だと思います。
- ・ 文化芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われていない自治体は、面白い自治体とは思えないため。生産性とは真逆だが、文化芸術活動に力を入れることが他の自治体にはない魅力になる可能性を秘めていると考える。
- ・ 厚木市の価値が向上する。市民の生活レベルが向上し、市民の連帯感が生まれる。
- ・ 自治体の魅力度を向上させる。面白いことがない場所には、行きたい・住みたいと思わない。
- ・ イベントによる町の活性化。厚木市の魅力度向上。住民の満足度向上。
- ・ 文化芸術が栄えることは、その地域の環境が豊かな証拠であるため。
- ・ 人との交流の場が増えて、厚木市がより活性化されるため。

03. 創造性や感性を育むため、人間として成長するため、人格を形成するため

- ・ 机上の勉強やスマホだけでは得られない学びをもたらしてくれるため。人としての感性や想像力を培うことは、今後ますます必要になってくるため。
- ・ 情操の育成。豊かな感情の育成。
- ・ 特に若者の総合的な人間性の形成のために必要だと思います。
- ・ スポーツ等の身体的な活動だけではなく、感情を高める文化芸術活動は、バランスのとれた人間を育てるために必要だと思う。
- ・ 若者には、文化芸術に触れることで豊かな人間性を涵養するとともに、感性や他者を尊重する心を育むことで、実りある人生を送ってほしい。子どもが未来に希望をもつ手助けになると思う。
- ・ 文化芸術活動によってもたらされる楽しさや感動から、心豊かな人間性を育むことができると思います。
- ・ 偏見や差別等の凝り固まった思想から柔軟で自由な発想が生まれると思うため。
- ・ 感性を磨くことは、人間力を高めることにつながる。経済の活性化につながり、犯罪が減る。豊かな人生を送る人が増えれば、次世代への良い循環になる。
- ・ 人格形成に良い影響を与えると信じている。様々な活動をしている専門家を見出したり、必要に応じて呼び寄せたりして、活発な活動ができれば良いと思う。
- ・ 文化芸術活動への取組は創造力や表現力を育み、心を豊かにしたり、感性を高めたりすることができる。ストレス解消や心身の健康にもつながる。地域や世代を超えた交流を促すことができる。
- ・ 感性を刺激して考え方・感じ方に影響を与え、人生に変化をもたらすため。
- ・ 子どもの五感を育てるために良いと思うため。

04. 次世代への継承や教育のため

- ・ 受け継がれてきた活動を後世に残すため。
- ・ 日本人の文化を継承することが大切であるため。
- ・ 文化芸術は一朝一夕で完成・成熟するものではないので、世代間の継承が必要です。先人が生み出した有形無形の技を受け継ぐ人がいなければ、消滅してしまいます。最新のものでも、必ず先人が成したベースの上に成立していると思います。世代間の継承を行政が支援することは、地域にとっても有益だと思います。
- ・ 文化芸術が廃れてしまうことがないように、若者に伝えていかななくてはいけないと思うため。
- ・ 地域に残る歴史の今昔を知るため。
- ・ 厚木市で生まれた文化芸術を廃れさせないため。
- ・ 白龍太鼓等の歴史的背景のある文化芸術活動を次世代に引き継ぎたいため。歴史に興味を感じながら学んでほしいと思うため。

05. 生活を豊かにするため

- ・ 生活を豊かにするため。
- ・ 生活の質を向上させるため。
- ・ 生活に彩りを与え、幸せな時間を過ごすことができると思います。
- ・ 衣食住が満たされた上で、更に楽しむゆとりがあることを確認するため。
- ・ 文化芸術は人の暮らしに潤いを与えて、豊かにしてくれるものだと思います。その潤いは仕事や勉強、家事といった日常を過ごしていく上でのエネルギーとなり、楽しい日々を過ごす原動力になると思います。このような理由から、活動への取組が必要だと思います。
- ・ 心のゆとりがある豊かな生活を送ることができる気がします。文化芸術活動が盛んな町は、経済的に豊かで治安も良く、住みやすいというイメージがあります。

06. 生きがいの創出のため、生きる楽しみのため

- ・ 住民の生きがいづくりのために必要だと思う。
- ・ 観ることで幸せな気分になるため。
- ・ 楽しみの1つとしている人には必要だと思うため。
- ・ 日々の単調な暮らしから一転、文化芸術に携わったり、鑑賞したりすることにより、感動したり、泣いたり、笑ったりと五感が刺激される。それが、生きていく上での活力になる。
- ・ 文化芸術は、心の栄養だと思います。なくても生きていけるのかもしれませんが、あると感動したり、次の日からの励みになったり、生きがいを得たりすることができます。人としてレベルアップできるように感じます。
- ・ 文化芸術に限ったことではないかもしれないが、自分の好きなことがあることは重要であるため。

07. まちづくりのため

- ・ 相模原市や平塚市に比べて文化施設が少ないため。
- ・ コロナ渦では、文化芸術は不要不急と言われていた。実際には、文化芸術は生活の潤いや心の安定に必要なものであり、人類が長い時間をかけて築いてきた失くしてはならない文明の1つだとわかった。人と人が触れ合い、感動を分かち合える文化芸術は、必須の活動だと思う。次の非常時には、文化芸術を続けられる厚木市であってほしい。アミューあつぎや公民館等の公共の場を止めないことも大切だと思う。
- ・ 文化芸術は、障がいの有無に関係なく老若男女が楽しめるものなので、子どもにも触れさせたいと思うため。自分の老後を心豊かに過ごすことができる厚木市であってほしいため。
- ・ 年代や性別、国籍等に関係なく、厚木らしいまちづくりに取り組む。県内でも差別化しやすい。
- ・ 駅前の開催が多いことは良いが、駅前の交通渋滞が多くて行く気がなくなってしまう。渋滞でバスが何台も連なっているので、無駄にバスの本数を増やすより、渋滞緩和を目指してほしい。それが文化・町の発展や人口増加に大きく貢献することに早く気が付いてほしい。

08. 厚木市をPRするため、認知度向上のため

- ・ 厚木市のアピールになる。子どもから高齢者まで興味をもてるものだと思う。文化芸術を通して、厚木市の良さを地元の人や市外の人にも知ってもらいやすい。
- ・ 厚木市の良いところをアピールするため。
- ・ 厚木市の文化芸術活動と取り組んでいる内容を内外にアピールするため。
- ・ 厚木市の文化を沢山のの人に知ってもらうため。
- ・ 厚木市の魅力を発信することで、会社誘致等を通じた発展や人口増加につながるため。
- ・ 自分が厚木市に住んでいると自己紹介する時に、胸を張って紹介できることがあれば良いです。

09. 子ども・若者の将来ため

- ・ 小さい頃に触れた文化芸術は、大人になっても心の栄養になるでしょう。年をとっても忘れることはないでしょう。
- ・ 仕事として文化芸術活動を行うことができるので、子どもに将来の選択肢として周知させることは必要だと考える。
- ・ 子ども時代に触れる地域社会の在り方が、その人の人生を大きく左右すると思います。
- ・ 子どもや若年層が文化芸術に触れる機会が増えて、経験の幅が広がるため。
- ・ 強要されるものではないが、選択肢が広がる。誰かが興味をもてば、その文化は途絶えない。
- ・ 子どもの未来に希望を与えるものであるため。

10. 人と人との交流のため

- ・ 定年退職した人や子育てが終わった人等、大きな役割を終えて生きる目的を見失い、疎外感を味わう中高年や高齢者は多いのではないかと思います。地域と関わるのが難しくなっていますが、人と人が交流したり、人と触れ合うことが楽しいと思えたりするきっかけが、文化芸術活動にあると思います。認知症等の予防にもなり、健康に長生きすることにつながると思います。
- ・ 文化芸術活動を通じて市民相互のつながりが活性化し、地域のアイデンティティ育成に資することになる。個人の生活の幅が広がり、情緒性を高めることになる。
- ・ 文化芸術活動を通して様々な人と関わり、より広い視野で生きていくため。
- ・ 地域の伝統文化を継承して新たな価値を創造することで、活力あるコミュニティの形成につながるため。
- ・ 人々がつながるチャンネルを多様化することによって、孤立する人を減らすことができるので、安心・安全な社会を創出することにつながる。
- ・ 芸術に癒しや新たな気付きがあること、そこから横につながりが広がるのが、高齢化社会が加速している中で助けになると考えているため。

11. 健康のため、癒しのため

- ・ 老若男女を問わず、文化芸術活動は心身のリフレッシュを図る上で欠くことのできないものである。厳しい生活環境の中でも、心にエネルギーを与えてくれる貴重な活動である。
- ・ 文化芸術活動は人間らしく生きるための必要なゆとりを生む。
- ・ 心のゆとりをもつため。
- ・ ストレス発散になるため。気分が晴れるため。
- ・ 文化活動に触れることは、精神の安定や自分らしい時間づくりにつながる。子育てしやすくして沢山の子育て世代が住む厚木市だが、子育て中は経済的にも時間的にも余裕がなく、文化に触れることができない。親子で一緒に触れることができる文化活動があれば、母子の精神の安定や穏やかな時間を過ごす機会になると思う。
- ・ 仕事のストレス軽減や自己実現の機会となり、メンタルヘルスに良い影響を与えるため。コミュニティの結束を強め、相互理解を深める機会になるため。
- ・ 文化的で最低限度の生活をする上で、文化面が発達することが心の安定につながると思うため。

12. インターネット社会であるため

- ・ SNSが普及している今だからこそ、生で観る・聴く・触る体験が必要だと思う。
- ・ 人と対面しなくても交流できるSNS時代だからこそ、文化芸術活動に力を入れてほしいです。
- ・ AI技術の発展により、イラストの仕事を奪われたり、AI学習を回避するために公開をやめたイラストレーターがいます。人の努力の結晶を無許可でAIに取り込み、利益を得ている人間は許しがたく、そのようなことが罷り通って良いはずがありません。新しい文化芸術も素敵だと思いますが、まずは今あるものを守ること、失わないことが大事だと思います。個人では難しいことなので、行政に担ってもらうことが最も効率的かつ効果的だと思います。
- ・ AI時代やインターネット社会では、文化芸術が人間性を育むと思います。

13. 生きていくために必要であるため

- ・ なぜ必要かという設問は、おかしいと思います。食べるものが必要なのと同様に必要です。
- ・ 「人はパンのみにて生きるにあらず」であるため。文化芸術は、スポーツと同様に、充実した人生を送るために必須であるため。
- ・ 健康で文化的な生活を願うことは、人として基本的な欲求だと考えます。

14. 人材の発掘・育成のため

- ・ 文化芸術活動の指導者を育成するため。
- ・ 人材育成のため。
- ・ 教養豊かな人材を育成するため。

15. ふるさとへの愛着を持たせるため

- ・ 文化は個人の人生を充実させるものであると同時に、共通の文化によって共同体に対する思い入れや帰属意識をもたせるものでもある。それは、共同体の成長・持続を促したり、異なる共同体に触れるきっかけになったりし得る。人の営み全体に必要なものだと思う。
- ・ 地域に根差した取組を行うことで、郷土愛が高まると思います。都心に出なくても、地元で文化芸術に触れることができれば大変助かります。

16. 自己表現のため

- ・ 自分を表現するための手段として必要であるため。
- ・ 自身を表現する方法の1つであり、精神的にも良いと思うため。

17. その他文化芸術活動について

- ・ 昔からの芸術や本物を大切にすれば、おのずと人は集まる。
- ・ 高度な知的活動が必要であり、取り組むことでそのレベルアップにつながる。結果的に文化芸術活動の活性化に貢献すると思う。
- ・ 市民の素養を高めるためにも、厚木市が音頭をとることは良いと思う。
- ・ 文化芸術は言語の垣根を超えて、感動と感激、希望と勇気を与えてくれる。
- ・ 生きるためだけに仕事をして食事をする生活は心に潤いがなくてつまらないので、文化芸術活動への取組は必要だと感じている。しかし、今のご時世では物価が上がり、教育費は嵩んでいる。はっきり言って、文化芸術活動に取り組もうと思えるほど、時間も金も余裕はない。
- ・ 年齢に関係なく、平等に取り組むことができるものだと思う。古き良き文化と変わっていく芸術の価値や発想が掛け合わされば、とても素敵なものになると思う。

18. 必要ない・興味がない

- ・ なぜ厚木市でこの活動に注力するのかを説明してほしい。そのために市民税等が増えるのであれば、どうかと思う。
- ・ 厚木市の人々が心身ともに幸せだと感じることができると社会づくりが先決である。心や生活に余裕がなければ、文化芸術等に何の意味もない。
- ・ 以前は必要だと思っていたが、物価高や少子高齢化社会なので、厚木市でないといけないものなのかを考えてしまう。
- ・ 今のこの国の状況下では、文化芸術活動等はどうでも良い話に感じます。なので、今は必要性を感じられません。文化芸術活動は、経済が安定している上で楽しめるものだと思います。
- ・ 文化芸術活動への取組は興味をもつ個人が行うべきで、厚木市や国が支援する必要はない。

Q14 あなたは、「厚木らしい文化芸術」を推進していくために、どのような取組が必要だと思いますか。（自由意見）

分類名	件数
01. 身近で文化芸術に触れる機会	34
02. 情報発信・広報	34
03. 厚木らしさを活かした取組	30
04. 子ども・青少年を対象とした取組	29
05. 人材育成・発掘	17
06. 文化施設の整備・充実	16
07. 既存イベントの継続・充実	15
08. 自然を活用した取組	14
09. イベントの開催・誘致	13
10. まちづくり	12
11. 活動・発表の場	11
12. 公共交通機関の利便性向上	8
13. 文化の保全・継承	7
14. 経済的な支援	6
15. ニーズを知ること	5
16. 学校等との連携	4
17. その他必要なこと	29
18. 厚木らしさがわからない、厚木らしさにこだわらなくて良い	19
19. 必要ない・興味がない	5
20. その他	38
総 計	346

自由意見（抜粋）

01. 身近で文化芸術に触れる機会

- ・ 働いている人も参加できるように、夜間にも講座を開いてほしい。
- ・ 気軽に体験しやすく、誰でも参加できるイベントの開催。
- ・ 予約なしで年齢に関係なく芸術を楽しむことができれば、もっと良いと思います。
- ・ 高齢者がいきいきと過ごすことができる取組が必要である。
- ・ 路面から見える場所でも色々な個展や展示会等をもっと開催しても良いと思います。
- ・ コロナ渦のような非常時でも、文化芸術を続けられる取組を行ってほしい。公園や公共施設で活動を続ける工夫が必要だと思う。
- ・ 大人と子どもと一緒に活動できる文化芸術に取り組んでいけば、次の世代につながる。
- ・ 障がいの有無にかかわらず、老若男女が参加しやすい取組が必要だと思います。
- ・ あつぎ鮎まつりのように、市内で季節イベントが開催されれば参加しやすくてありがたい。
- ・ 誰でも観たり、行ったりすることができるよう、ハードルを低くしてほしい。誰でも知ることができるよう、宣伝のネットワークを広げてほしい。
- ・ 社会全体を活性化し、皆で取り組むことができる地元の伝統行事が沢山あれば良いと思う。
- ・ 豊かな緑の環境を活かした釣りや川沿いでの屋台イベント、親子で楽しめるお絵描きイベント、音楽やミュージカルに触れる機会があれば良い。
- ・ 無料で気軽に芸術に触れることができる機会を増やすべきである。入場料を必要とする施設での活動ではなく、講演やストリートで活動すべきである。

02. 情報発信・広報

- ・ チラシ等で情報発信し、知ってもらえる機会を増やす。
- ・ 広報や情報発信を工夫する。すべての人が無関心ではない。知りたいのに、知る術が少ない。
- ・ 人々が興味・関心をもつための情報発信が必要だと思います。YouTube や SNS 等で発信しているかもしれませんが、再生回数等が伸びない限り、人の目には留まりません。もっと色々な情報を発信すれば良いと思います。
- ・ もっと厚木市全体でアピールする。自治体レベルでのアピールが必要だと感じる。
- ・ あつぎジャズナイトや中央公園での催しがあるが、周知できていない。ルリエで働いているが、何かイベントをやっているなどは思っても、何が行われているかはわからない。もっと周知してほしい。
- ・ 私は 30 代ですが、厚木市で文化芸術に触れる機会が少ないことを残念に思っています。働く世代も関わりやすい取組があれば良いと思います。アパートにひとり暮らしなので、広報等を目にする機会が少ないです。SNS や公式 LINE 等でも情報が得やすくなれば良いと思います。
- ・ もっと早い段階で情報をインターネットで公開した方が、事前に予定を立てられると思う。
- ・ もっと全国的なメディアへの露出を増やしてはどうか。半ば強制的に興味・関心のない人の目に触れさせることで、興味をもたれるかもしれない。
- ・ 自分の興味がある分野のことしか調べないので、厚木市の LINE で知ることもあります。なので、厚木市の LINE や駅前等の人通りのある場所で色々広報することができれば、新たに文化芸術に興味をもつ人がいるかもしれないと思います。
- ・ マスメディアや SNS 等を通じた情報発信。予算確保。厚木市出身の著名人に協力してもらおうイベント等の実施。
- ・ 市民だけでなく、周辺市町村や近隣県にも活動状況を発信したり、宣伝したりすることが必要だと思う。
- ・ SNS の更新を活発にして、若者に情報が届くようにする。

03. 厚木らしさを活かした取組

- ・ 厚木市ならではの文化芸術の体験ができるようにする。
- ・ 古き良き時代の厚木市を見直す。田畑や農業も文化となりつつある。相模川の渡しの復活や川床の作製、鮎を活かした文化体験、和装での文化財巡り、華道・茶道体験、人力車導入等。
- ・ 厚木市から見た大山の絵・写真の展覧会等、厚木市特有の景色や物事等に特化した専門イベントを開く。
- ・ 厚木市の歴史や自然、独特の文化等に注目し、市内各所で触れる機会を増やす。
- ・ バスセンター上の広場や地下通路を活用する。季節ごとにイルミネーション等の飾り付けをし、市民から募ったポスターや写真、立体物等を展示する。
- ・ 厚木らしさを推進するなら、温泉街をもっと活用する。温泉郷として洗練させるとともに、花街を復活させて舞妓や芸者が行き交う町並みにする。国内はもちろん、質の良い海外観光客を呼び込んでみてはどうかと思う。
- ・ あつぎ鮎まつりや相模川といった自然・伝統を題材にした芸術作品やイベントを創出したり、厚木市の温泉や伝統工芸等を題材にした展示やワークショップを開催したりすれば良いと思う。
- ・ 市外の人を入れるのではなく、文化芸術に長けている市内の人を支援しないと厚木らしいとは言えないのではないか。

04. 子ども・青少年を対象とした取組

- ・ 未就学児や小学生の頃から、身近に触れるチャンスがあれば良いと思います。学校等で観ることができれば良いです。そこに近隣の人も参加できれば良いです。
- ・ 厚木市は、子育てに力を入れているイメージが強いです。子どもの文化芸術に力を入れて、発表する場があれば良いと思います。また、気軽に様々な文化芸術にチャレンジして、その中から自分に合う文化芸術を見付けることができるシステムがあれば良いと思います。
- ・ 若い世代に厚木市の伝統を知ってもらうこと。
- ・ 厚木市で生まれた文化芸術を大切に、イベントや学校教育の中に組み込みながら、次世代をメインとする市民へ積極的に普及していくべきだと思います。
- ・ 小中学校等で厚木市の文化芸術を知る機会を設ける。
- ・ どの種類の文化芸術であっても、若い世代を育成するための環境を整える取組が必要である。特に部活動は教員の負担が非常に大きく、専門外の分野や活動時間等の様々な課題も考えられる。学校に通っている間に文化芸術に触れることが将来の選択肢につながることもあるので、まずは若い世代の育成が大切だと考える。
- ・ 今ある厚木市の文化財や歴史等をきちんと子どもに学ばせることに、もっと力を入れてほしい。子どもが厚木市の魅力をあまり知らない。
- ・ 既存の活動である地元の小中学校における文化芸術の公演・発表を、もっと積極的に行うべきだと考える。生徒にとって質の良い文化芸術に触れる機会になるとともに、厚木市の文化への理解・関心を高める機会にもなると思う。

05. 人材育成・発掘

- ・ 見識をもった人や地元大学生を含めた人材育成が必要だと思う。
- ・ 柔軟な発想をもった人材を育成すること。
- ・ 厚木らしさを目指すのではなく、さすが厚木市という印象を人々に与える厚木市育ちの人材や育成方針が必要である。
- ・ 枠にとらわれない人材の発掘。
- ・ 人材育成の支援に力を入れ、能力のある人材の育成と研修が必要だと思います。
- ・ 文化芸術活動を行うための人材・資金・設備の確保。

06. 文化施設の整備・充実

- ・ 自然を活かした場所に美術館等を開設する。市役所跡地に建設を予定しているアリーナの推進委員会を幅広い年齢層の人で構成し、枠にとらわれない斬新で自由な発想で取り組む。
- ・ 厚木市の郷土博物館が、本厚木駅から遠い。図書館と科学館は駅に近いが、もう少し広くても良いのではないかと思う。図書館は新しい本が多くてとても良いが、車では立寄りにくい。
- ・ 文化会館が遠過ぎるので、高齢者は文化活動に関心があっても参加が難しい。立地を再考してほしい。
- ・ 郷土博物館が不便である。川の側という立地が最悪で、浸水する可能性がある。駅から近い場所に移転すべきだと思う。子どもが行けないので、誰のための施設かわからない。収蔵庫なのか。
- ・ もっと市民が使いやすい公共施設にする。公共事業でホール等が埋まっていて、一般の予約が取り辛くなっている。
- ・ いつでも文化芸術に触れることができる美術館等の常設施設が身近にあれば良い。
- ・ 駅近くにそれなりの文化施設やホールが必要ではないでしょうか。文化会館を改修していますが、新しい良い設備が入ったのでしょうか。老朽化の改修なら、使えれば古い設備のままという感じがします。それでは演者側はホールを使いたいと思わないのではないのでしょうか。予算に限りがある状況は理解できますし、市庁舎新設のために新しい箱物をつくれないう状況も理解できますが、今後は文化会館の建て替えを検討してはいかがでしょうか。

07. 既存イベントの継続・充実

- ・ 今あるイベントをもっと盛り上げる。
- ・ 大道芸イベントの拡充。
- ・ あつぎジャズナイトや厚木オクトーバーフェスト、大道芸を確実に継続し、更に盛り上げてほしい。
- ・ あつぎミュージックフェスティバルは、とても良い活動だと思います。有名人目当てで集まった人の目に触れることで、アーティストはもちろん、厚木市の発展にもつながると思います。
- ・ あつぎ鮎まつりを通して、厚木市の名産品に触れる機会があれば良いと思います。
- ・ あつぎジャズナイトやナイトマーケット等を開催することで、少しでも賑やかになれば嬉しいです。

08. 自然を活用した取組

- ・ 温泉や山、川等の自然に恵まれているが、自然を利用した施設が少なく規模も小さい。
- ・ 厚木市は温泉やきれいな山、川、水田がある町なので、それらを活動の場の一部として利用した文化芸術を広め深める企画ができれば、他の自治体との差別化ができるのではないかと思う。
- ・ 夕焼けや朝焼け、星空がきれに見える市内マップ等をつくってほしい。

09. イベントの開催・誘致

- ・ 宝塚や劇団四季等の公演を厚木市で開催してほしい。
- ・ ジャンルにこだわらないで、プロのアーティストを多く呼んでほしいです。
- ・ 賛否はあるだろうが、厚木市で行っているあつぎジャズナイトや大道芸等は楽しみにしている市内外の人が多いので、不特定多数が楽しむことができる芸術イベントがあれば良いのではないかと思う。
- ・ 大道芸やあつぎジャズナイト等と同様、市外の人を積極的に受け入れる。
- ・ フジロック等のように開催地として利便性を高めて市外の人をもっと集めて、対外的にイベントを大きく見せる。それによって、厚木市という地域名がブランド化できる。

10. まちづくり

- ・ 今の充実した図書館を継続してほしい。
- ・ 公園や野外ステージを活用する。はとぼっぼ公園だけでなく、他の公園の野外ステージを活用しても良いと思う。
- ・ 市役所跡地へのアリーナ建設とアリーナまでの導線としてなかちよう大通りや一番街の整備をしてほしいです。自然と人が集まり、交流が深められる場所が構築されれば良いと思います。
- ・ 誰もが利用できる厚木市のトレードマークになる施設があれば良いと思いました。町が活気付くと思います。

11. 活動・発表の場

- ・ 若者や高齢者が自身の能力を伸ばして活躍できる場を提供する必要があると思います。
- ・ 沢山の団体・個人が日常的に活動していると思うので、場所と活動費の援助が必要なのではないかと思います。
- ・ 自由で豊かな表現活動の場やコミュニティを創造する。人を育てる場所や居場所をつくる。
- ・ どのような芸術でも、発表の場を沢山用意することが大切だと思う。特定の期間だけでもインターネットで観ることができれば嬉しい。
- ・ 個人が発表できる機会を定期的につくるべきだと思う。経済的に余裕がないアーティストも沢山のいると思うが、有料だと発表できないので、世に出すことができていない作品も多々あると思う。厚木市出身または厚木市在住の人限定で厚木市が出資して展覧会や個展を行えば、更に厚木市の文化芸術が促進されると思う。

12. 公共交通機関の利便性向上

- ・ 国道 246 号線・水引交差点を中心とした渋滞の解消や相模大橋前後の 4 車線化、愛甲石田駅周辺の渋滞の解消によって、物流が改善されたり、時間のロスが削減されたりすることで、時間に余裕が生まれ、文化芸術活動を向上させると思う。
- ・ 駅周辺にある会場に行くコミュニティバスが必要だと思います。バスは走っています。細い道を奥へ入った場所まで行ってほしいです。
- ・ 小田急線に本厚木駅と厚木駅があるが、特に外国人はどちらが厚木市なのか分からない。このまま放置することは良くないと思う。
- ・ 首都圏から厚木市へ電車でのアクセスを良くすることが一番大事だと思う。駅が少な過ぎる。

13. 文化の保全・継承

- ・ 地域に残る歴史的文化的文化財の保護・保存・継承。
- ・ 様々な団体を招致することはもちろんですが、厚木市独自の文化活動も一層支援してほしいと思います。特に人形浄瑠璃のあつぎひがし座は素晴らしいので、観に行っています。練習場所の確保や人形の維持等に苦勞されてるようなので、厚木市が保存・発展に尽力すべきではないかと思います。世界に誇ることができる文化だと思うので、もっと PR 等が必要ではないでしょうか。
- ・ 各地区に伝わる古くからの文化芸術や歴史を継承するためには、地区の活動を続けることが大事だと思う。コロナ禍以降、祭り等の地区の活動がなくなっている。コロナ禍前に比べると、とにかくコミュニティが皆無に等しい。面倒な集団活動を避ける風習になっている感じがする。少子化で子ども会の存続すら危ういという話も耳にする。
- ・ 市内には古い家屋が残っています。その多くがリノベーション等で外観ごと大きく変化しており、大変残念に思います。高齢者も多い町なので、長く住み続けるための対策としては避けられない部分もあると思います。倉敷市や川越市のようにはいかなくとも、もう少し昔の景観を保持できる施策があれば、厚木市の豊かな自然と併せて強い観光資源になるのではないのでしょうか。

14. 経済的な支援

- ・ 施設ではなく、人の活動に予算を活用する。
- ・ 経済的な支援を充実する。ボランティアだけでは活動が限られる。

15. ニーズを知ること

- ・ 若者が興味をもっていることを知るために、常にアンテナを張っておく必要があります。昔からある文化芸術に興味をもってもらうためには、伝え方・見せ方に工夫が必要だと思います。
- ・ 世の中の人々が今どのような文化芸術を求めているのかを知る。
- ・ 市民のニーズを聞き取って、やると決めたら大胆に展開する。
- ・ 思いもよらぬところにあるニーズに気が付くこと。
- ・ 文化芸術に取り組んでいる市民から希望や要望を沢山ヒアリングする取組から実施してほしい。

16. 学校等との連携

- ・ 子どもが参加しやすくなるよう、教育現場に宣伝する。子どもは人形芝居や神楽等を全く知らないと言っている。もっと市内で広める必要があるのではないかと思う。
- ・ 大学や企業との協力・連携。

17. その他必要なこと

- ・ 良いなあ！厚木市に住んでみようかなと思える他にはない取組が必要だと思います。
- ・ 遊び心が必要かもしれない。
- ・ 人を増やすことが必要だと思います。人が増えれば多少なりとも作り手も増えるでしょうし、何より人に認知されることで初めて芸術が完成すると思います。あつぎ鮎まつりには多くの人が集まるので、そこで住み良い町をアピールすれば良いと思います。
- ・ 身近・地元と同じ取組をする仲間がいることは重要だと思うので、地域レベルの交流が増えれば良いと思います。
- ・ 厚木市の文化芸術活動の中心はアマチュア（趣味の人）であり、彼らが幅を利かせていることと、行政が彼らをヨイショしていることが問題です。芸術を生業にしているプロフェッショナルが気持ちよく活躍できる環境にすることが、厚木らしい文化芸術を推進するために必要です。
- ・ ファミリー層にはワークショップや工場見学等、シニア層には美味しい食事や酒蔵巡り等、シングル層にはじっくり楽しむことができる美術鑑賞・映画鑑賞等といったように、主にどの層に向けた取組かがわかりやすいと寄りやすい気がします。

18. 厚木らしさがわからない、厚木らしさにこだわらなくて良い

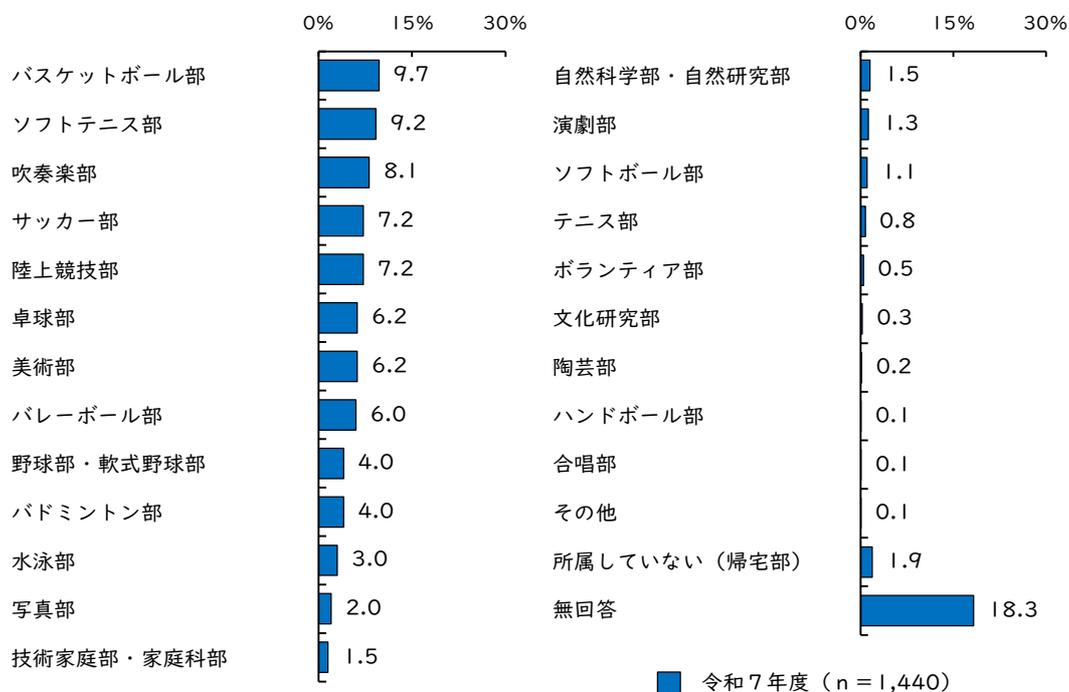
- ・ 厚木市にこだわり過ぎない。既存にとらわれず、新しいものを入れてみる。それが駄目ならまたやり直す。良ければ、継続する。PDCAを繰り返して、沢山の可能性を見出してほしいと思う。
- ・ 特に厚木らしさを前に出さなくても良いのではないかと思います。
- ・ 厚木らしさと言う概念が、今ひとつピンと来ません。各方面で活躍している厚木市出身の人々も、スポーツや芸術等と多岐の分野に渡ります。厚木らしさにこだわるよりも、才能のある若者が技量を高められるよう、継続的に支援できれば良いです。
- ・ 市民になって3年半が経つが、厚木らしい文化芸術を推進すると記載されても、厚木らしさを感じられるものが思い浮かばない。市民の認知だけでなく、市外の人からも認知されるものをつくることから始めるべきだと思う。

19. 必要ない・興味がない

- ・ 文化芸術活動への取組は不要とは思いませんが、残念ながら個人的には興味がありません。
- ・ 特に必要だと思わない。
- ・ 推進しなくて良い。
- ・ 厚木市に文化芸術は必要だと思っていない。

Ⅲ 調査結果（小中学生対象調査）

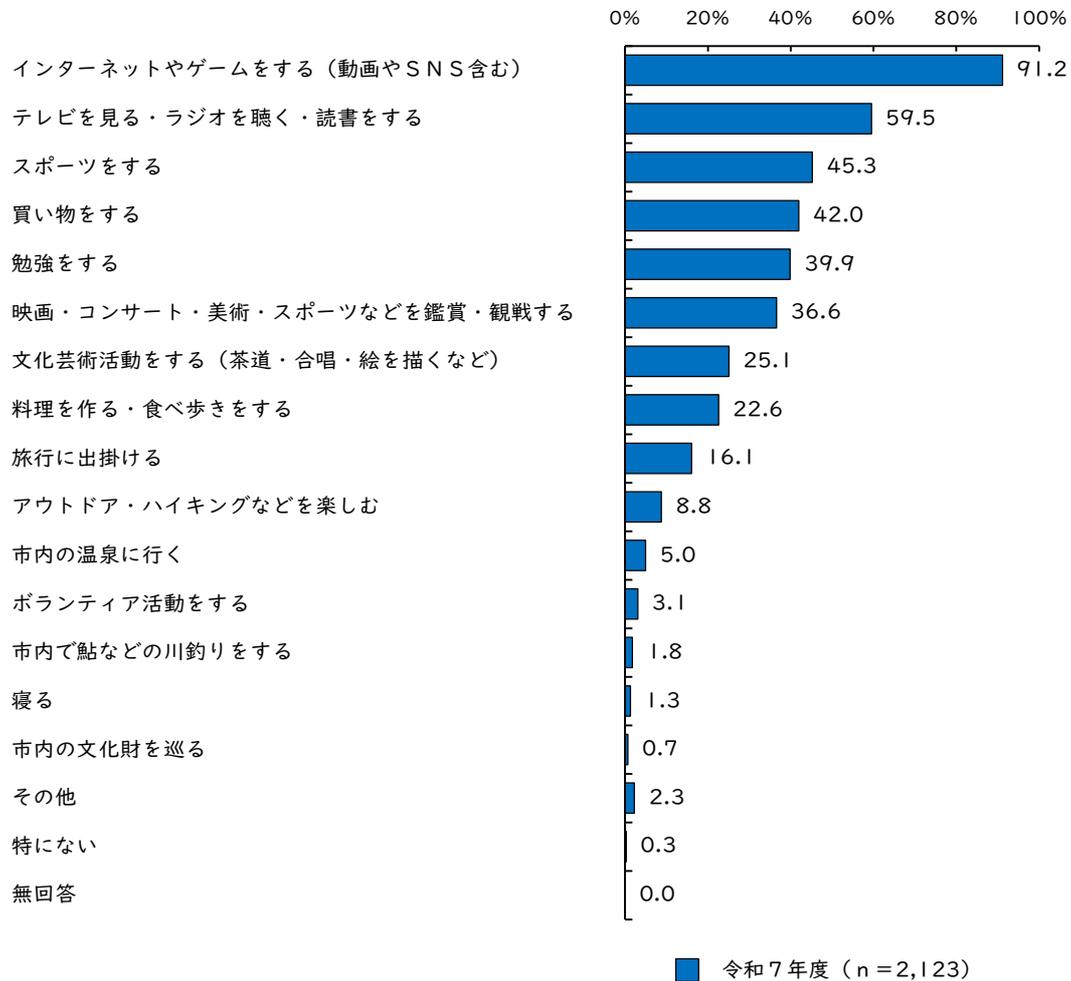
Q1 部活動に所属している場合、部活動名を入力してください。（複数回答可）



※この問は、中学生のみ実施しました。

所属している部活動は、「バスケットボール部」が9.7%と最も多く、次いで「ソフトテニス部」が9.2%、「吹奏楽部」が8.1%などとなっています。

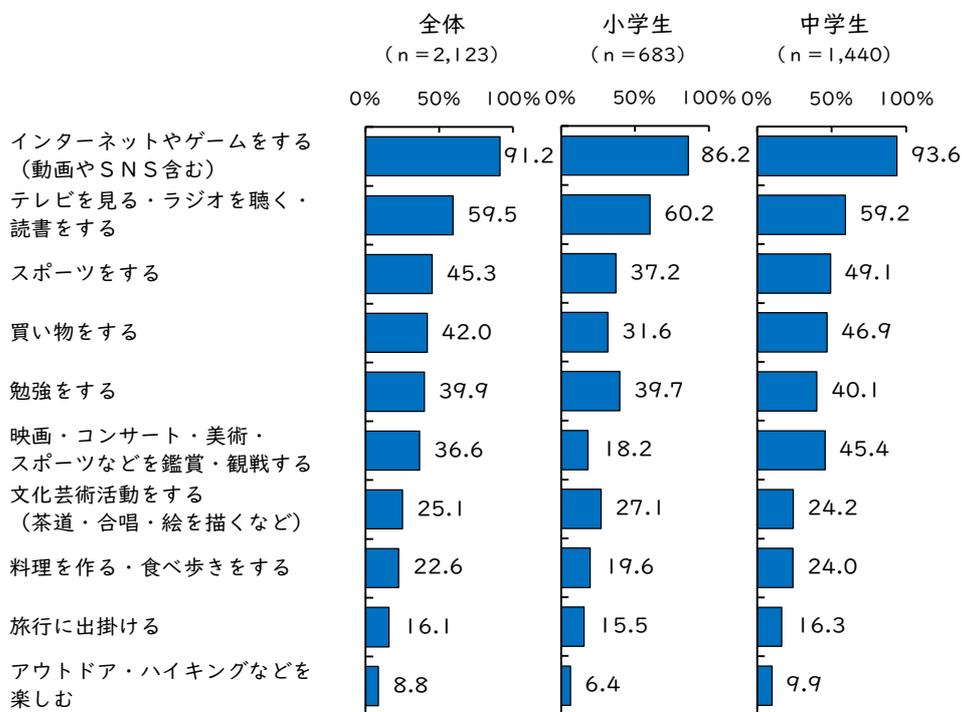
Q2 あなたは、自分の自由時間をどのように過ごしていますか。（複数回答可）



※「寝る」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢です。

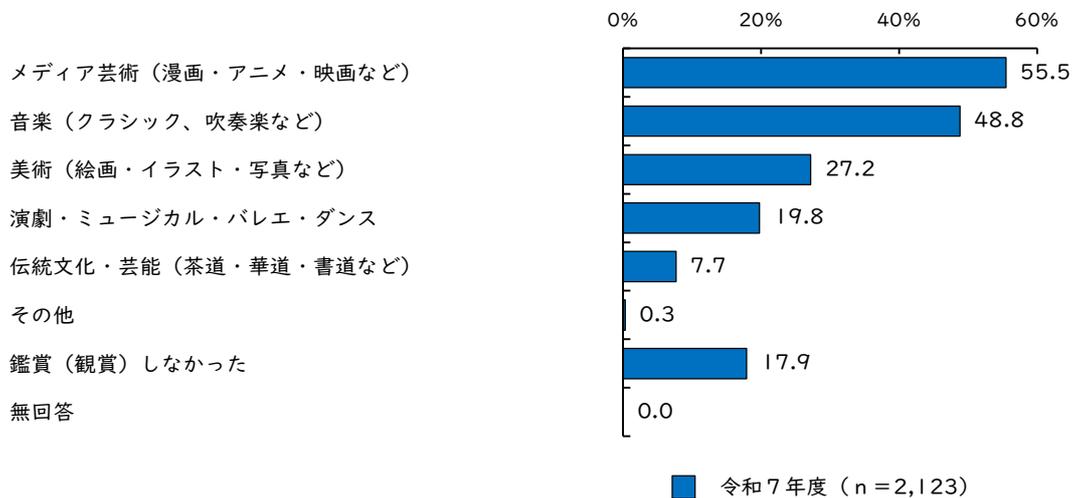
自分の自由時間の過ごし方は、「インターネットやゲームをする（動画やSNS含む）」が91.2%と最も多く、次いで「テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする」が59.5%、「スポーツをする」が45.3%などとなっています。

《全体・対象別》（上位10項目のみ）



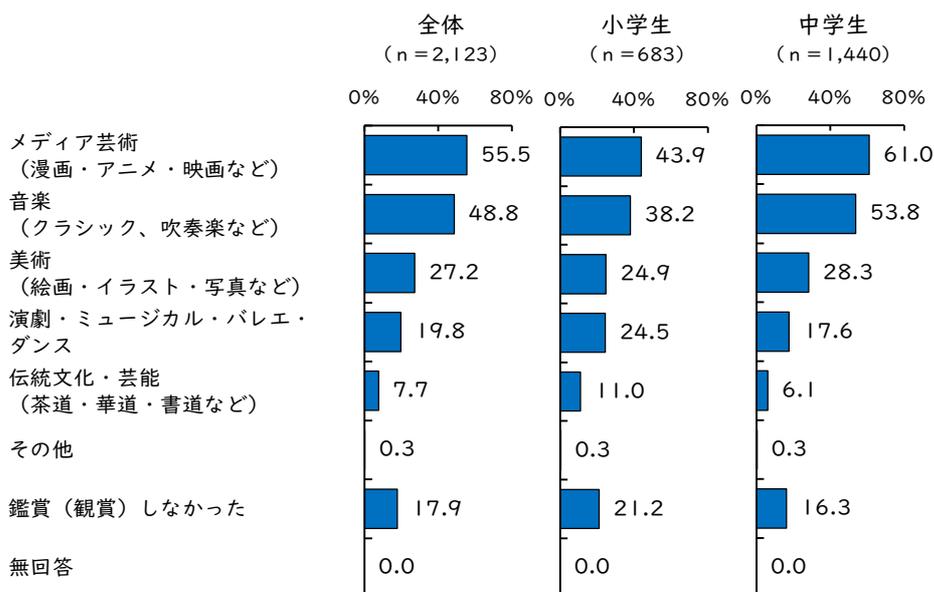
対象別で見ると、中学生において「インターネットやゲームをする（動画やSNS含む）」、「スポーツをする」、「買い物をする」、「映画・コンサート・美術・スポーツなどを鑑賞・観戦する」などが小学生より多くなっています。

Q3 あなたは、この1年間、学校の授業以外（部活動も除く）で、どのような文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。（複数回答可）



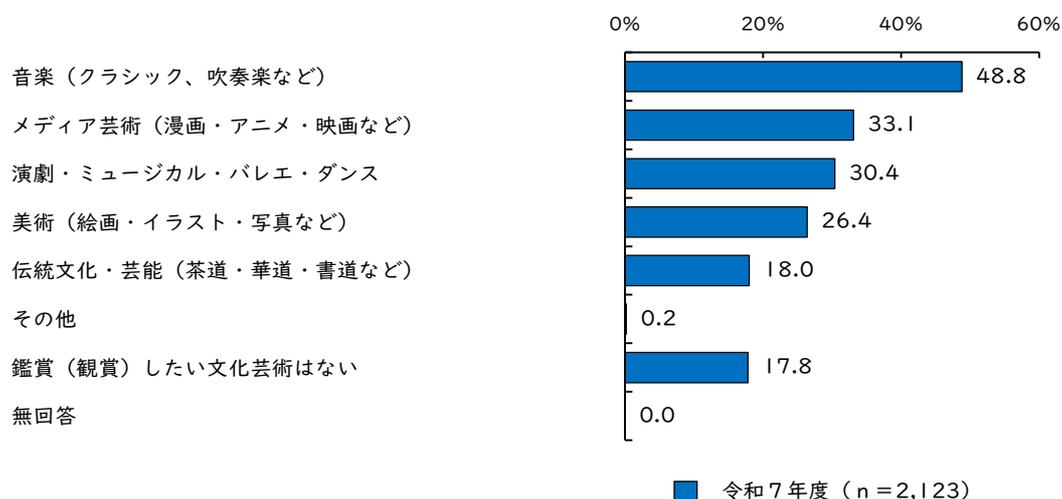
この1年間、学校の授業以外（部活動も除く）で鑑賞（観賞）した文化芸術は、「メディア芸術（漫画・アニメ・映画など）」が55.5%と最も多く、次いで「音楽（クラシック、吹奏楽など）」が48.8%、「美術（絵画・イラスト・写真など）」が27.2%などとなっています。

《全体・対象別》



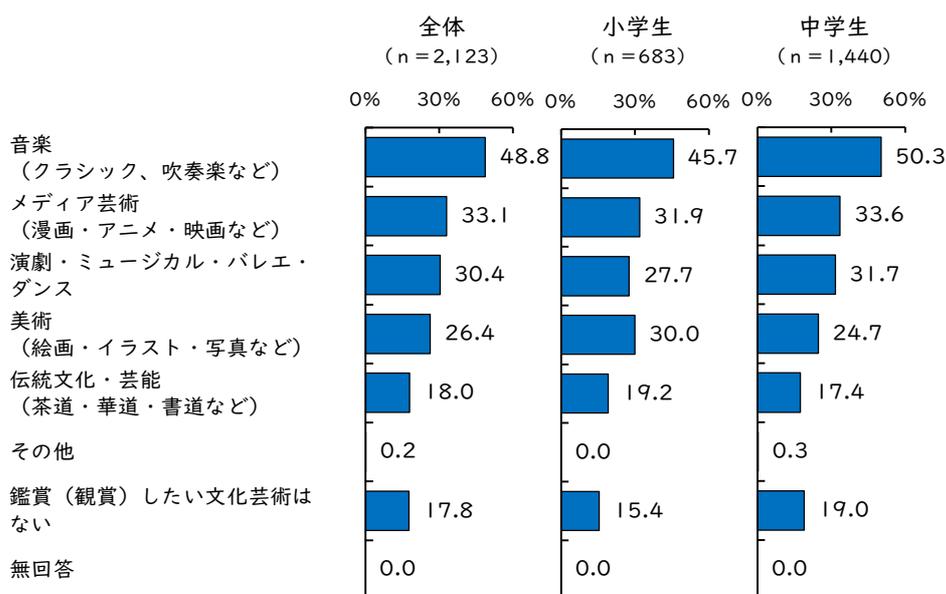
対象別で見ると、小学生において「演劇・ミュージカル・バレエ・ダンス」などが中学生より多く、中学生において「メディア芸術（漫画・アニメ・映画など）」、「音楽（クラシック、吹奏楽など）」などが小学生より多くなっています。

Q4 あなたは、学校の授業以外（部活動も除く）で、どのような文化芸術を鑑賞（観賞）してみたいと思いますか。（複数回答可）



学校の授業以外（部活動も除く）で鑑賞（観賞）してみたいと思う文化芸術は、「音楽（クラシック、吹奏楽など）」が48.8%と最も多く、次いで「メディア芸術（漫画・アニメ・映画など）」が33.1%、「演劇・ミュージカル・バレエ・ダンス」が30.4%などとなっています。

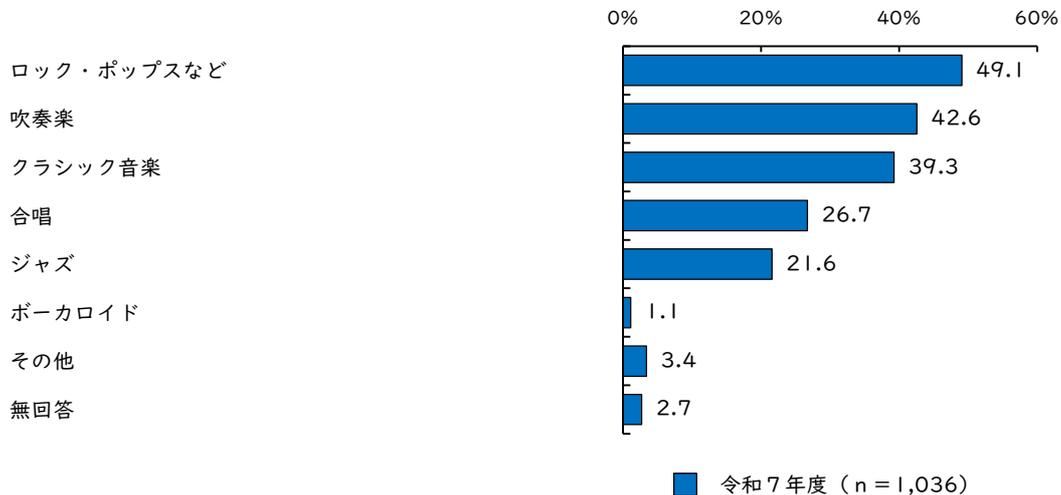
《全体・対象別》



対象別でみると、小学生において「美術（絵画・イラスト・写真など）」などが中学生より多くなっています。

Q4で「音楽（クラシック、吹奏楽など）」を選んだ場合のみ、教えてください。

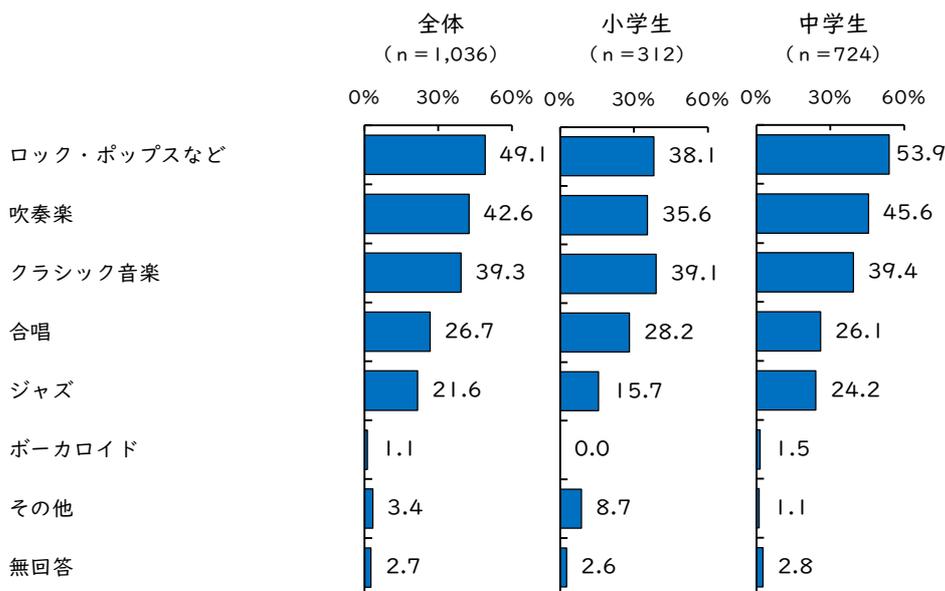
Q4-1 あなたは、学校の授業以外（部活動も除く）で、どのような分野の音楽を鑑賞（観賞）してみたいと思いますか。（複数回答可）



※「ボーカロイド」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢です。

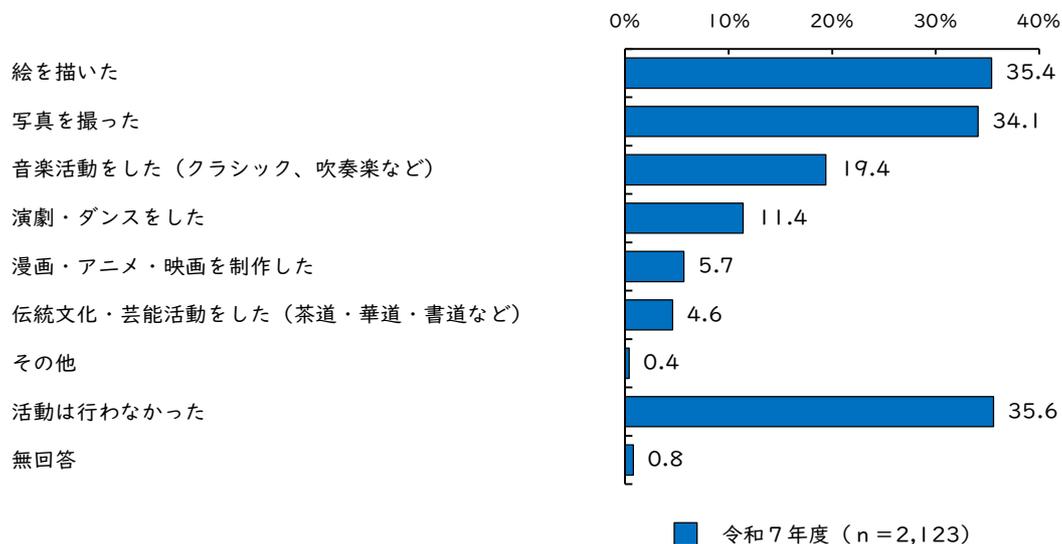
学校の授業以外（部活動も除く）で鑑賞（観賞）してみたいと思う音楽の分野は、「ロック・ポップスなど」が49.1%と最も多く、次いで「吹奏楽」が42.6%、「クラシック音楽」が39.3%などとなっています。

《全体・対象別》



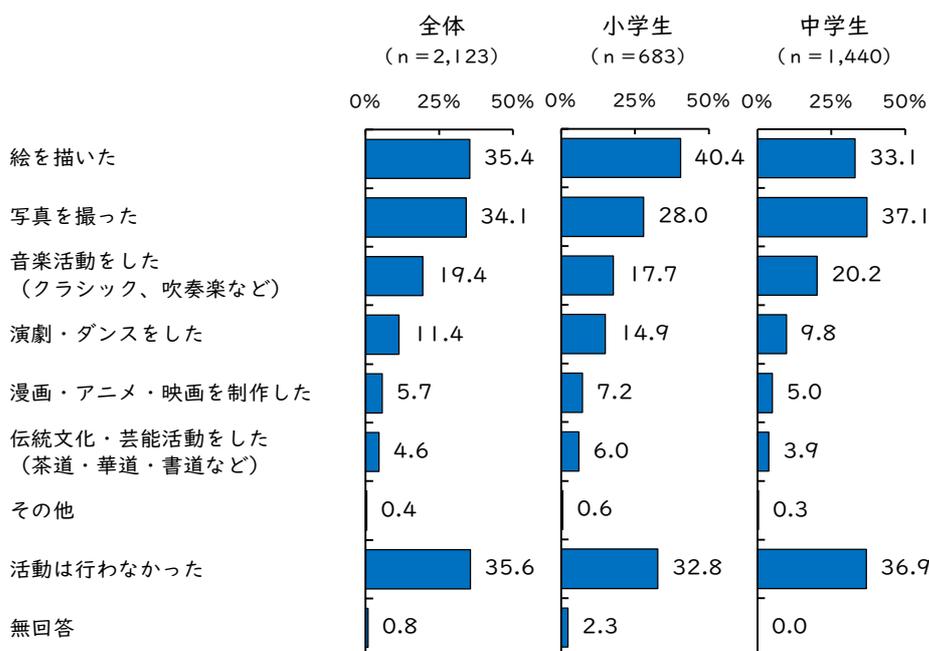
対象別で見ると、中学生において「ロック・ポップスなど」、「吹奏楽」、「ジャズ」などが小学生より多くなっています。

Q5 あなたは、この1年間、学校の授業以外（部活動も除く）で、どのような文化芸術に関する活動を行いましたか。（複数回答可）



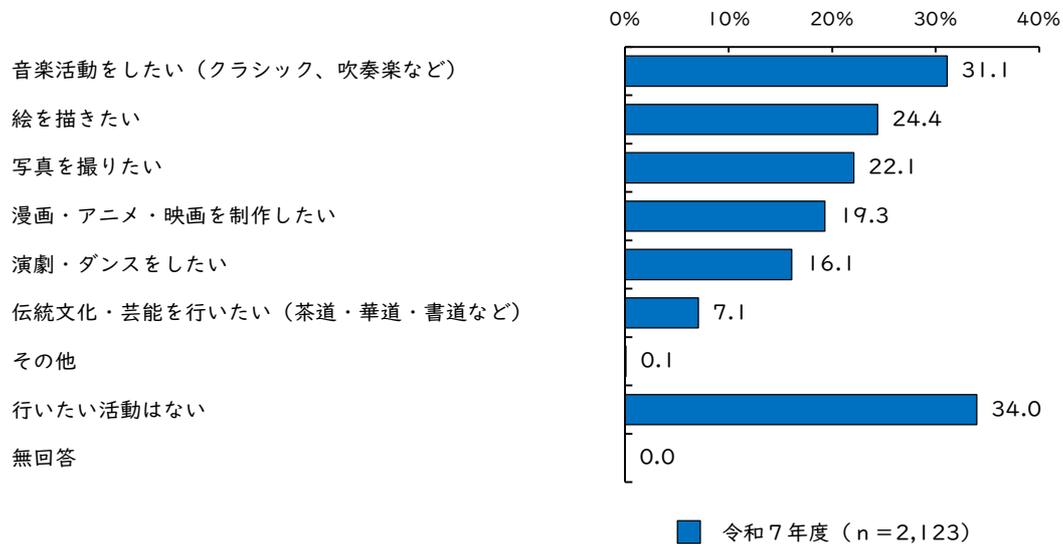
この1年間、学校の授業以外（部活動も除く）で行った文化芸術に関する活動は、「活動は行わなかった」が35.6%と最も多く、次いで「絵を描いた」が35.4%、「写真を撮った」が34.1%などとなっています。

《全体・対象別》



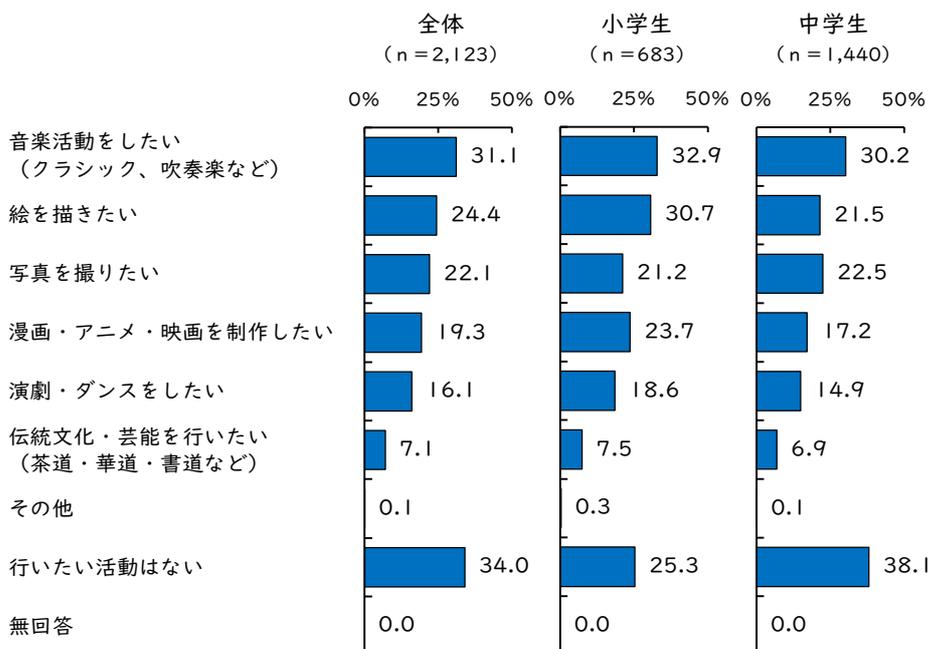
対象別で見ると、小学生において「絵を描いた」、「演劇・ダンスをした」などが中学生より多く、中学生において「写真を撮った」などが小学生より多くなっています。

Q6 あなたは、学校の授業以外（部活動も除く）で、どのような文化芸術に関する活動を行いたいと思いますか。（複数回答可）



学校の授業以外（部活動も除く）で行いたいと思う文化芸術に関する活動は、「行いたい活動はない」が34.0%と最も多く、次いで「音楽活動をしたい（クラシック、吹奏楽など）」が31.1%、「絵を描きたい」が24.4%などとなっています。

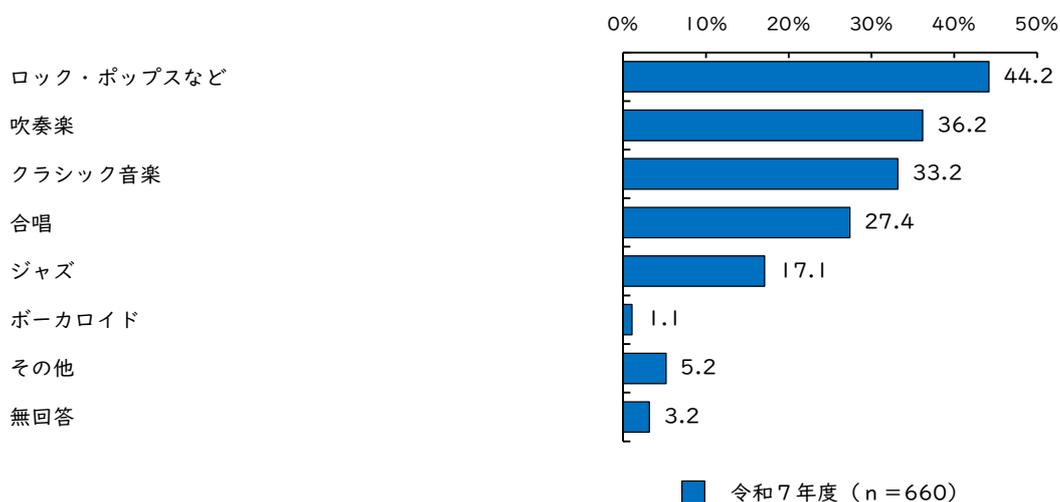
《全体・対象別》



対象別でみると、小学生において「絵を描きたい」、「漫画・アニメ・映画を制作したい」などが中学生より多く、中学生において「行いたい活動はない」などが小学生より多くなっています。

Q6で「音楽活動をしたい(クラシック、吹奏楽など)」を選んだ場合のみ、教えてください。

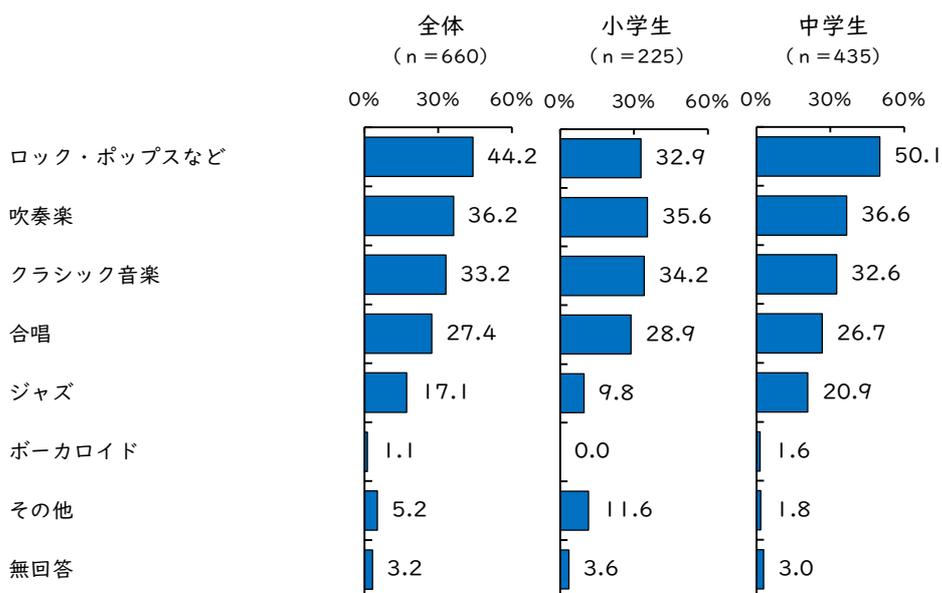
Q6-1 あなたは、学校の授業以外(部活動も除く)で、どのような分野の音楽活動をしてみたいと思いますか。(複数回答可)



※「ボーカロイド」は、その他の具体的内容として多く記載されていたため、集計時に追加した選択肢です。

学校の授業以外(部活動も除く)でしてみたいと思う音楽活動の分野は、「ロック・ポップスなど」が44.2%と最も多く、次いで「吹奏楽」が36.2%、「クラシック音楽」が33.2%などとなっています。

《全体・対象別》



対象別で見ると、中学生において「ロック・ポップスなど」、「ジャズ」などが小学生より多くなっています。

Q3 あなたは、この1年間でどのような文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1	クラシック音楽	2	吹奏楽
3	ロック・ポップスなど	4	ジャズ
5	合唱	6	演劇
7	ミュージカル	8	バレエ・ダンス
9	落語・漫才などの話芸		
10	茶道・華道・書道などの生活に係る文化		
11	歌舞伎・日本舞踊などの伝統芸能		
12	相模人形芝居・相模屋神楽・ささら踊りなどの民俗芸能		
13	絵画・イラスト・写真などの美術		
14	映画・アニメ・漫画などのメディア芸術		
15	小説・詩・短歌・俳句などの文学		
16	神社・仏閣などの文化財		
17	その他 ()		
18	鑑賞（観賞）しなかった ⇒ Q4へ		

Q3で「1 クラシック音楽」～「17 その他」とお答えの方におうかがいします。
→ Q3-1 あなたは、この1年間でどのような媒体・手段を通じて文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1	劇場・コンサート会場などの現地での鑑賞
2	冊子・雑誌などの紙媒体
3	テレビ・ラジオ
4	インターネット
5	その他 ()



Q4 あなたは、これからどのような文化芸術を鑑賞（観賞）してみたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	クラシック音楽	2	吹奏楽
3	ロック・ポップスなど	4	ジャズ
5	合唱	6	演劇
7	ミュージカル	8	バレエ・ダンス
9	落語・漫才などの話芸		
10	茶道・華道・書道などの生活に係る文化		
11	歌舞伎・日本舞踊などの伝統芸能		
12	相模人形芝居・相模屋神楽・ささら踊りなどの民俗芸能		
13	絵画・イラスト・写真などの美術		
14	映画・アニメ・漫画などのメディア芸術		
15	小説・詩・短歌・俳句などの文学		
16	神社・仏閣などの文化財		
17	その他 ()		
18	鑑賞（観賞）したい文化芸術はない		

Q5 あなたは、この1年間でどのような文化芸術に関する活動を行いましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1	音楽活動(クラシック音楽)をした	2	音楽活動(吹奏楽)をした
3	音楽活動(ロック・ポップスなど)をした	4	音楽活動(ジャズ)をした
5	音楽活動(合唱)をした	6	演劇・ダンスなどをした
7	小説の執筆や短歌・俳句などを作成した	8	絵を描いた
9	写真を撮った		
10	映画・アニメ・漫画などのメディア芸術を制作した		
11	歌舞伎などの伝統芸能に取り組んだ		
12	茶道・華道・書道などの生活に係る活動に取り組んだ		
13	相模人形芝居・相模屋神楽・ささら踊りなどの民俗芸能に取り組んだ		
14	落語・漫才などの話芸に取り組んだ		
15	囲碁・将棋などの娯楽に取り組んだ		
16	神社・仏閣などの文化財を巡った		
17	その他 ()		
18	活動は行わなかった		

Q6 あなたは、これからどのような文化芸術に関する活動を行いたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 音楽活動(クラシック音楽)をしたい | 2 音楽活動(吹奏楽)をしたい |
| 3 音楽活動(ロック・ポップスなど)をしたい | 4 音楽活動(ジャズ)をしたい |
| 5 音楽活動(合唱)をしたい | 6 演劇・ダンスなどをしたい |
| 7 小説の執筆や短歌、俳句などを作成したい | 8 絵を描きたい |
| 9 写真を撮りたい | |
| 10 映画・アニメ・漫画などのメディア芸術を制作したい | |
| 11 歌舞伎などの伝統芸能に取り組みたい | |
| 12 茶道・華道・書道などの生活に染る活動に取り組みたい | |
| 13 相模人形芝居・相模重神楽・ささら踊りなどの民俗芸能に取り組みたい | |
| 14 落語・漫才などの話芸に取り組みたい | |
| 15 囲碁・将棋などの娯楽に取り組みたい | |
| 16 神社・仏閣などの文化財を巡りたい | |
| 17 その他 () | |
| 18 行いたい活動はない | |

Q7 あなたが、文化芸術に関する活動をこれから始める、または、現在行っている上での課題はどのようなことですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|--|
| 1 活動するための施設・場所が身近にないこと |
| 2 公共施設の使用料が高いこと |
| 3 楽器など必要な用具が高いこと |
| 4 一緒に活動する仲間が少ないこと(人材・後継者不足) |
| 5 時間のゆとりがないこと(仕事・家族の事情) |
| 6 文化芸術活動に取り組むための情報が不足していること |
| 7 団体などに所属せずに、個人で継続して活動していきける支援・仕組みが乏しいこと |
| 8 その他 () |
| 9 課題はない(活動を始める・行うつもりはないを含む) |

5

Q8 あなたは、厚木市内で開催される文化芸術に関するイベント情報を、どこで得ていますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|--|
| 1 テレビ・ラジオ |
| 2 新聞・雑誌 |
| 3 広報あつぎ |
| 4 公共施設の掲示板 |
| 5 チラシ |
| 6 市ホームページ |
| 7 駅前などのデジタルサインエージ(電子看板) |
| 8 家族・知人 |
| 9 市SNS(エックス・イン스타그램・ライン・フェイスブック・ユーチューブ) |
| 10 市以外のSNS(エックス・イン스타그램・ライン・フェイスブックなど) |
| 11 その他 () |
| 12 イベント情報は得ていない |

Q9 あなたは、厚木市はどのようなことをPRできると思えますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1 山・川などの自然が豊かなこと |
| 2 温泉などの観光資源が豊かなこと |
| 3 市の特産品などを「あつぎ舎ブランド」として認定していること |
| 4 大きな公園が整備されていること |
| 5 公民館施設などが整備されていること(集会所・体育館など) |
| 6 文化芸術施設が整備されていること(市民交流プラザ・文化会館など) |
| 7 文化財などの厚木らしい歴史があること |
| 8 文化芸術・スポーツ・生涯学習活動が活発なこと |
| 9 F1のアーチェリスト・アスリートを輩出していること |
| 10 大学などの教育機関が立地していること |
| 11 企業の外資研究施設が立地していること |
| 12 中心市街地にぎわっていること |
| 13 あつぎまつりなどの四季折々のイベントが楽しめること |
| 14 道路交通網が発達し、都心・郊外へのアクセスが良いこと |
| 15 子育て環境が充実していること |
| 16 安心・安全に暮らせる取組が充実していること |
| 17 その他 () |
| 18 PRできることはない |

6

Q10 厚木市で行われている文化芸術に関する取組のうち、あなたはどの取組を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市民参加型イベントとして「あつぎ市民芸術文化祭(市民文化祭・野外彫刻造形展・市民芸術祭)」を開催していること
- 2 青少年を対象に「厚木青少年音楽コンクール」を開催していること
- 3 青少年を対象に「あつぎミュージックフェスティバル(新人歌唱オーディション)」を開催していること
- 4 市内の文化芸術団体が実施する事業に対して金銭的(人的)支援をしていること
- 5 市内でのテレビ、映画、撮影などを支援するフィルムコミッション事業を行っていること
- 6 市内で伝承される郷土芸能の保存・発展に取り組んでいること
- 7 身近な地域での文化発表の場として、公民館まつりを開催していること
- 8 市民交流プラザ(アートギャラリー)などで、随時、美術品・工芸品などの発表の場を提供していること
- 9 厚木市文化芸術振興条例に基づき、「文化芸術振興計画」を策定し、計画的に文化芸術の推進に取り組んでいること
- 10 公益財団法人厚木市文化振興財団が実施する文化芸術の推進を図るための事業に対して金銭的支援をしていること
- 11 知っている取組はない



Q11 あなたは、文化芸術のまちづくりを進めるために、厚木市行政にはどのようなことが求められると思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- 1 文化芸術に関する公演などの情報提供
- 2 市民団体が取り組む文化芸術活動に関する情報提供
- 3 日常的な練習の場の提供
- 4 文化芸術活動の発表の場の提供
- 5 文化芸術活動に対する金銭的な支援
- 6 文化芸術に関する指導者の紹介・あっせん
- 7 団体間・世代間の交流ができる場の提供やネットワーキングづくり
- 8 市街地での文化イベントなどの充実
- 9 子ども・青少年を対象とした文化芸術分野の充実(ヒップホップダンス・チャリティー・バンド演奏など)
- 10 障がい者の文化芸術活動の推進に伴う事業の充実
- 11 国際文化交流の場の提供
- 12 子ども・青少年を対象にしたプロの芸術家・文化人と交流する場の提供
- 13 地域に誇る文化財の保存・継承
- 14 厚木らしい新たな文化芸術提供に基づく取組
- 15 新たな文化芸術施設(美術館・音楽堂・多目的ホールなど)の整備
- 16 既存の文化芸術施設(文化会館大ホール・アミュニクスなど)の拡充
- 17 文化芸術の継承を目的としたワークショップによる体験教室の開催など(子ども・青少年を対象としたワークショップに)
- 18 風土に根差した厚木の文化芸術に馴染める体験学習などの提供
- 19 子ども・青少年の刺激となる世界大会などのハイレベルな催しなどの誘致
- 20 トップアーティストの輩出に向けた取組
- 21 文化芸術施設における多言語対応(案内表示など)
- 22 文化芸術団体・企業・大学と連携した文化芸術活動推進の強化
- 23 その他()
- 24 文化芸術活動の推進はさほど重要ではない(もっと他の取組に専念してほしい)



Q12 あなたは、厚木市の文化芸術活動を発展させるために、どのような人材の育成が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- 1 世界で活躍できる人材を育成すること
- 2 子ども・青少年などの次世代を担う人材を育成すること
- 3 文化芸術活動団体の指導者を育成すること
- 4 文化芸術活動を支援するボランティアを育成すること
- 5 担当する市職員のスキルアップを図ること
- 6 文化芸術施設などで働く人材のスキルアップを図ること
- 7 分野の垣根を越えて新たな文化芸術を創出するなど、柔軟な発想を持った人材を育成すること
- 8 その他 ()
- 9 人材の育成は不要である(特に重要ではない)

Q13 あなたは、文化芸術活動への取組はなぜ必要だと思いますか。自由に御記入ください。

Q14 あなたは、「厚木らしい文化芸術」を推進していくために、どのような取組が必要だと思いますか。自由に御記入ください。

御協力ありがとうございました。

御記入いただいた調査票は、10月31日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに御投函ください。

文化芸術についてのアンケート(小学生対象)

質問1 あなたは、自分の自由時間をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 テレビを見る、ラジオを聴く、読書をする
- 2 インターネット(動画やSNSの閲覧、投稿含む)やゲームをする
- 3 文化芸術活動をする(茶道・華道・書道・絵を描く・ダンスなど)
- 4 スポーツをする
- 5 映画・コンサート・美術・スポーツなどを鑑賞・観戦する
- 6 市内の文化財を巡る
- 7 市内の温泉に行く
- 8 市内で船などの川釣りをする
- 9 旅行に出かける
- 10 アウトドア・ハイキングなどを楽しむ
- 11 買い物をする
- 12 料理を作る・食べ歩きをする
- 13 勉強をする
- 14 ボランティア活動をする
- 15 その他()
- 16 特にない

質問2 あなたは、この1年間、学校の授業以外で、どのような文化芸術を鑑賞(観賞)しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 音楽(クラシック、吹奏楽、ロック、ポップス、ジャズ、合唱など)
- 2 演劇・ミュージカル・バレエ・ダンス
- 3 伝統文化・芸能(茶道・華道・書道、歌舞伎、^{おどろき}日本舞踊、相模人形芝居、相模盆神楽、ささら踊りなど)
- 4 美術(絵画・イラスト・写真など)
- 5 メディア芸術(漫画・アニメ・映画など)
- 6 その他()
- 7 鑑賞(観賞)しなかった

質問4 あなたは、この1年間、学校の授業以外で、どのような文化芸術に関する活動を行いましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 音楽（クラシック、吹奏楽、ロック・ポップス、ジャズ、合唱など）活動をした
- 2 演劇・ダンスをした
- 3 絵を描いた
- 4 写真を撮った
- 5 漫画・アニメ・映画を制作した
- 6 伝統文化・芸能（茶道・華道・書道、歌舞伎・日本舞踊、相撲人形芝居・相撲
盆踊・さざら踊りなど）活動をした
- 7 その他（
- 8 活動は行わなかった

質問5 あなたは、学校の授業以外で、どのような文化芸術に関する活動を行いたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 音楽（クラシック、吹奏楽、ロック・ポップス、ジャズ、合唱など）活動をしたい
- 2 演劇・ダンスをしたい
- 3 絵を描きたい
- 4 写真を撮りたい
- 5 漫画・アニメ・映画を制作したい
- 6 伝統文化・芸能（茶道・華道・書道、歌舞伎・日本舞踊、相撲人形芝居・相撲
盆踊・さざら踊りなど）を行いたい
- 7 その他（
- 8 行いたい活動はない

質問5-1 質問5で「音楽活動をしたい」を選んだ場合のみ、答えてください。
あなたは、学校の授業以外で、どのような分野の音楽活動してみたいと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 クラシック音楽

2 吹奏楽

3 ロック・ポップスなど

4 ジャズ

5 合唱

6 その他 ()

文化芸術についてのアンケート(中学生対象)

質問1 部活動に所属している場合、部活動名を入力してください。

()部

質問2 あなたは、自分の自由時間をどのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする
- 2 インターネット(動画やSNSの閲覧・投稿含む)やゲームをする
- 3 文化芸術活動をする(茶道・合唱・絵を描く・ダンスなど)
- 4 スポーツをする
- 5 映画・コンサート・美術・スポーツなどを鑑賞・観戦する
- 6 市内の文化財を巡る
- 7 市内の温泉に行く
- 8 市内で観光などの川釣りをする
- 9 旅行に出かける
- 10 アウトドア・ハイキングなどを楽しむ
- 11 買い物をする
- 12 料理を作る・食べ歩きをする
- 13 勉強をする
- 14 ボランティア活動をする
- 15 その他()
- 16 特にない

質問3 あなたは、この1年間、学校の授業以外(部活動も除く)で、どのような文化芸術を鑑賞(観賞)しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 音楽(クラシック、吹奏楽、ロック・ポップス、ジャズ、合唱など)
- 2 演劇・ミュージカル・バレエ・ダンス
- 3 伝統文化・芸能(茶道・華道・書道・歌舞伎・日本舞踊、相撲人形芝居・相撲
皇神祭・さざら踊りなど)
- 4 美術(絵画・イラスト・写真など)
- 5 メディア芸術(漫画・アニメ・映画など)
- 6 その他()
- 7 鑑賞(観賞)しなかった

質問5 あなたは、この1年間、学校の授業以外(部活動も除く)で、どのような文化芸術に関する活動を行いましたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | 音楽(クラシック、吹奏楽、ロック・ポップス、ジャズ、合唱など)活動をした |
| 2 | 演劇・ダンスをした |
| 3 | 絵を描いた |
| 4 | 写真を撮った |
| 5 | 漫画・アニメ・映画を制作した |
| 6 | 伝統文化・芸能(茶道・華道・書道、歌舞伎・日本舞踊、相撲人形芝居・相撲
盆踊・さざら踊りなど)活動をした |
| 7 | その他() |
| 8 | 活動は行わなかった |

質問6 あなたは、学校の授業以外(部活動も除く)で、どのような文化芸術に関する活動を行いたいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1 | 音楽(クラシック、吹奏楽、ロック・ポップス、ジャズ、合唱など)活動をしたい |
| 2 | 演劇・ダンスをしたい |
| 3 | 絵を描きたい |
| 4 | 写真を撮りたい |
| 5 | 漫画・アニメ・映画を制作したい |
| 6 | 伝統文化・芸能(茶道・華道・書道、歌舞伎・日本舞踊、相撲人形芝居・相撲
盆踊・さざら踊りなど)を行いたい |
| 7 | その他() |
| 8 | 行いたい活動はない |

質問 6-1 質問 6 で「音楽活動をしたい」を選んだ場合のみ、答えてください。
あなたは、学校の授業以外（部活動も除く）で、どのような分野の音楽活
動をしてみたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 クラシック音楽

2 吹奏楽

3 ロック・ポップスなど

4 ジャズ

5 合唱

6 その他 ()

第2次厚木市文化芸術振興計画に係る意向調査 報告書

令和8年1月

厚木市 産業文化スポーツ部 文化魅力創造課 文化芸術振興係

〒243-0018 厚木市中町 2-12-15 (アミューあつぎ6階)

TEL 046-225-2508

FAX 046-225-3130